



平成24年度
全国の戦災の追悼施設・追悼式

中部・中国・四国



平成24年11月

平成24年度
全国の戦災の追悼施設・追悼式

中部・中国・四国

平成24年11月



新潟県 長岡市 「長岡市戦災殉難者慰霊祭」



静岡県 浜松市 「浜松市戦災被爆者慰霊碑」



香川県 高松市 「六角堂保存会慰霊事業」



岡山県 岡山市 「岡山市戦災死者供養塔」



愛媛県 今治市 「今治市戦災の碑」



広島県 呉市 「呉市戦没者戦災死者及び旧呉鎮守府管内非戦闘員殉職者合同慰霊祭」 ※写真提供 呉市

平成24年度
全国の戦災の追悼施設・追悼式

注 釈

- 当報告書は、中部・中国・四国地区の空襲や艦砲射撃等の戦災に関する主な追悼施設、追悼式を掲載しています。
(「戦没者」との合同形式も含みます)
- 調査、編集は、平成24年6月より同年11月末に行っています。
- 学校・企業・個人の敷地内にあり、入場に制限がある追悼施設に関しては、掲載を見合わせています。
- 追悼式に関しては、開催時期、開催主旨、参列条件、情報不足等の理由により掲載できなかったものもあります。
- 客観性、公平性を保つため、追悼施設に関しては、所在地や建立年等の事実関係を記した基本情報と碑文の掲載のみに止めています。また、慰霊碑、祈念碑等に「説明文(板)」が付属する場合は併せて掲載しています。なお、碑文、説明文の情報が少ない場合は、関係資料等に記載されているものを「経緯」として掲載しています。追悼式に関しては、主催者、関係者から提供を受けた式次第、式辞または挨拶文を基本的に原文のまま掲載しています。
- 連絡先については、施設の管理者又は式の主催者の許可を得た上で、発行時現在のものを掲載しています。許可を得られなかったもの等は掲載していません。

※掲載写真の無断複写、複製、転載を禁じます。

趣 旨

この報告書は、戦争を知らない若い世代の方々に、地元にも空襲があったということを知っていただき、機会があれば訪れる際の案内として使えるように、どなたでも訪ねることの出来る追悼施設、どなたでも参加することの出来る追悼式を対象に、平成24年度の総務省の委託事業として弊社が行ったものです。

今年度は中部・中国・四国地区を調査対象として実施いたしました。この報告書を契機として、追悼施設や追悼式に込められた深い悲しみに思いを致していただければと、考えております。

なお、許可なく立ち入ることができない個人や学校等の敷地内の追悼施設や事前申込みが必要な追悼式は除外しています。

最後になりましたが、この調査をするに当たってご協力いただいた皆様に、深く感謝いたします。

株式会社 NHKグローバルメディアサービス

岐 阜 県	61
岐阜市	1 平和の鐘	62
	2 萬霊供養塔・戦災者慰霊墓地	64
	3 萬霊供養塔法要	65
大垣市	4 戦災死没者之慰霊碑	66
	5 大垣市戦災遺族会追悼式	67
	6 戦没者・戦災死没者追悼式	68
各務原市	7 慰霊碑	70
	8 平和之塔	72
静 岡 県	75
静岡市 葵区	1 静岡県戦没戦災死者慰霊標	76
	2 静岡県戦没戦災死者春季追悼式	77
	3 静岡市戦禍犠牲者慰霊塔	78
	4 静岡空襲犠牲者日米合同慰霊祭	79
	5 戦争犠牲者追悼碑	80
駿河区	6 静岡市戦没戦災等戦争犠牲者追悼式	82
清水区	7 清水市忠霊塔・平和祈念碑	84
浜松市 中区	8 浜松市戦災被爆者慰霊碑	86
	9 浜松市戦没戦災死者平和祈念追悼式	87
沼津市	10 「戦没者を追悼し平和を祈念する日」の式典	88
島田市	11 平和之礎	90
	12 島田空襲被爆者慰霊のつどい	91
磐田市	13 子どもやくよけ地藏・慰霊碑	92
	14 P T A 戦災被爆者慰霊祭	93
愛 知 県	95
名古屋市 東区	1 殉職者慰霊碑	96
北区	2 飯田 戦災者霊位	98
熱田区	3 慰霊地藏尊	100
	4 物故者慰霊祭	101
	5 殉職者之碑	102
	6 第二次大戦非戦闘員横死者諸霊之追善菩提	104
	7 慰霊之碑	106
名東区	8 平和地藏	108
	9 名古屋空襲犠牲者追悼の夕べ	109
豊橋市	10 豊橋空襲犠牲者 追悼の碑	110
	11 「空襲犠牲者を追悼し平和を誓うつどい」・「灯笼流し」	111
岡崎市	12 岡崎市平和祈念式	112
	13 岡崎空襲の慰霊碑	114
	14 岡崎空襲の市民慰霊祭	115
一宮市	15 空爆殉難記念碑	116
	16 一宮市戦災死没者追悼式	117
	17 平和祈念事業・一宮市戦没者追悼式	118
半田市	18 半田・戦災犠牲者追悼 平和祈念碑	120
豊川市	19 豊川市平和祈念式典	122

目 次

中 部	1
新 潟 県	3
新潟市 中央区	1 平和祈念碑	4
	2 平和祈念碑献花式	5
長岡市	3 長岡市戦災殉難者慰霊塔	6
	4 長岡市戦災殉難者慰霊祭	7
	5 戦災殉難者之墓	8
	6 長岡市戦災殉難者墓前法要	9
	7 平和像	10
	8 非核平和都市宣言市民の集い《平和の誓い・平和祈願祭》	11
	9 鎮魂たむけの花	12
	10 柿川灯笼流し ～平和への誓い～	14
	11 慰霊の花火（白菊）	16
	12 柿川戦災殉難地	18
	13 模擬原子爆弾投下地点跡地の碑	20
	14 母子像「懐い」	22
上越市	15 直江津空襲・黒井被爆の地碑	24
富 山 県	27
富山市	1 伊佐雄志神社	28
	2 富山大空襲戦災殉難者慰霊「伊佐雄志神社例大祭」	29
	3 戦災復興記念像（天女の像）	30
	4 平和祈願之碑	32
氷見市	5 慰霊地藏尊	34
	6 空襲犠牲者慰霊祭	35
福 井 県	37
福井市	1 慰霊碑塔・慈母観音	38
	2 福井市戦災・震災犠牲者追悼式	39
	3 戦災殉難者慰霊観音像（大手観音）	40
敦賀市	4 戦没者戦災死没者追悼式	42
	5 戦災慰霊碑	44
山 梨 県	47
甲府市	1 いしずえ地藏尊	48
	2 戦災殉難者無縁佛供養碑	50
富士吉田市	3 武蔵航空工場被爆殉難者之碑	52
大月市	4 遺髪塚	54
	5 遺髪塚追悼法要	55
長 野 県	57
安曇野市	1 遭難記念	58

四 国	179
徳 島 県	181
徳島市	1 徳島戦災死没者追悼式 182
	2 徳島戦災犠牲者慰霊塔 184
	3 平和之碑 186
香 川 県	189
高松市	1 高松市戦災犠牲者慰霊堂（六角堂）・慰霊之碑 190
	2 六角堂保存会慰霊事業 191
	3 高松市戦争犠牲者追悼式 192
愛 媛 県	195
松山市	1 松山市戦争犠牲者平和祈念碑 196
	2 松山市戦争犠牲者平和祈念追悼式 197
	3 殉職女子学徒追憶之碑 198
	4 戦災復興記念碑 200
今治市	5 戦没者・戦災死没者並びに消防・警察殉職者追悼式 202
	6 今治市忠霊塔 204
	7 今治市戦災の碑 206
	8 殉難者供養塔 208
宇和島市	9 一九四五年宇和島空襲死没者追悼平和祈念碑 210
	10 宇和島市戦没者戦災死者合同追悼式 212
高 知 県	215
高知市	1 高知市平和祈念の碑 216
	2 高知市平和祈念式 217
香南市	3 被爆之碑 218
香美市	4 平和の碑 220
広島原爆関連	223
広島県 広島市 中区	1 平和記念式典（広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式） 224
	2 原爆死没者慰霊碑（広島平和都市記念碑） 226
	3 原爆供養塔 228
	4 原爆死没者慰霊行事 229
	5 原爆の子の像 230
	6 平和記念公園・周辺ガイドMAP 232

中 国	125
岡 山 県	131
岡山市 北区	1 岡山市戦没者追悼式 132
	2 戦災の碑 134
	3 平和の像 136
	4 平和都市宣言記念 平和の像 138
中区	5 岡山市戦災死者供養塔 140
倉敷市	6 平和の鐘 142
	7 平和の鐘 打鐘 143
広 島 県	145
呉市	1 呉市戦没者戦災死者及び旧呉鎮守府管内非戦闘員殉職者合同慰霊式 146
	2 供養地藏菩薩 148
	3 戦災犠牲者追悼会 149
	4 戦災供養地藏尊・供養塔 150
	5 呉空襲犠牲者慰霊祭 151
	6 彼岸堂・此彼岸・供養碑 城家防空壕戦災死者 152
	7 空襲戦災死者供養 153
尾道市	8 因島空襲記念日・東日本大震災復興支援 7.28 ピースコンサート 154
福山市	9 福山市戦災死没者慰霊碑 156
	10 原爆・福山戦災死没者慰霊式 157
	11 福山市戦災死没者慰霊の像（母子三人像） 158
山 口 県	161
下関市	1 下関市戦没者・戦災殉難者合同追悼式 162
	2 清和園の地藏尊（幸せ地藏） 164
岩国市	3 平和記念碑 166
	4 岩国駅前戦災死没者慰霊祭 167
	5 和（爆弾投下中心地） 168
光市	6 光市戦没者追悼式 170
周南市	7 周南市戦没者追悼式 172
	8 太平洋戦争被災復興ここに成る 174
	9 慰霊碑 176

中 部

新潟県

1 平和祈念碑



基本情報

所在地：水戸教公園
 住所：新潟県新潟市中央区雲雀町18
 （JR新潟駅より 新潟交通バス「入舟営業所」下車 徒歩5分）
 連絡先：新潟市 総務部 総務課 総務係 025-228-1000（代表）
 建立者：新潟市
 建立年：平成10年8月10日

碑文

新潟市においては、第二次世界大戦末期の昭和二十年
 新潟港を中心として、艦載機による銃爆撃や触雷により
 連絡船「鉄工丸」、軍用船「宇品丸」、佐渡連絡船「おけさ丸」
 などの多数の船舶や工場民家などに大きな被害を受け
 勤労働員の生徒をはじめ、工具・乗客・船員など
 多くの尊い生命や貴重な財産が失われました。
 さらに、新潟市出身の軍人軍属並びに市民の多くが
 ひたすら祖国の安泰と家族の幸せを念じつつ
 戦争の犠牲となり尊い命を亡くされました。
 また当時、市内の捕虜収容所に収容され
 あるいは強制連行されて来ていた外国の人々の多くも
 異国である新潟の地で亡くなっております。
 あれから五十年余りが経過し、新潟市は今
 市民のたゆみない熱意と粘り強さによって
 中核市として目覚ましい発展を続けております。
 しかし、私たちは、今日の発展が
 多くの尊い犠牲の上に築かれていることを忘れず
 戦争の悲惨さと平和の尊さを
 後世に語り継いでいかなければなりません。
 市域で最も激しい戦禍にあった
 新潟港を望む水戸教公園の丘に、平和の祈念碑を建立し
 戦争の犠牲となられた方々のご冥福をお祈りするとともに
 世界の恒久平和を願うものであります。

平成十年八月十日
 新潟市長 長谷川 義明

2 平和祈念碑献花式



※写真提供 新潟市

開催概要（平成24年度）

歳事名：平和祈念碑献花式
 会場：水戸教公園 平和祈念碑前
 （JR新潟駅より 新潟交通バス「入舟営業所」下車 徒歩5分）
 日時：平成24年8月10日（金） ※例年8月10日開催
 参列者数：約100人
 連絡先：新潟市 総務部 総務課 総務係 025-228-1000（代表）

式次第（平成24年度）

1. 開 会
2. 黙 祷
3. 式 辞：新潟市長
4. 献 花
5. 閉 会

式 辞（平成24年度）

皆さま、本日は暑い中、平和祈念碑献花式にお集まりいただき、誠にありがとうございます。
 67年前の今日、新潟港を中心に本市で最も激しい空襲がありました。
 新潟市は先の戦争において、銃爆撃や機雷により、船舶をはじめ工場や民家が被害を受け、
 多くの市民や外国の方が犠牲になりました。
 この平和祈念碑は、それらの戦災の歴史を後世に伝え、恒久平和を願うシンボルとして、平
 成10年8月10日、ここ水戸教公園に建立され、14年の歳月が経過いたしました。
 地元自治会の皆さまにおかれましては、建立以来、献花式へのご参加、公園の清掃など、多
 大なご協力をいただいております、この場を借りて感謝を申し上げます。
 この碑にもありますように、戦争の悲惨さ、平和の尊さを後世に語り継ぎ、世界の恒久平和
 を今後も願っていきたくと考えております。
 新潟市は、核兵器の廃絶と世界の恒久平和を願い、また日本海が「平和の海」になることを
 強く望み、平成17年10月10日、「新潟市非核平和都市宣言」を行いました。
 また、平成18年度に日本非核宣言自治体協議会、平成20年度に平和市長会議に加盟し、
 昨年は「北東アジア非核兵器地帯化を支持する」声明に対する賛同を行いました。
 これらの取り組みを通じ、北東アジアをはじめ、広く世界への平和の橋渡しになればと思っ
 ております。
 本日は、誠にありがとうございました。

平成24年8月10日
 新潟市長 篠田 昭

3 長岡市戦災殉難者慰霊塔



基本情報

所在地：平潟公園
 住所：新潟県長岡市表町1-6-1
 (JR長岡駅 徒歩10分)
 連絡先：平潟神社 0258-32-1032
 設立者：遺族及び市民有志
 建立年：昭和33年8月1日

碑文

【表】
 長岡市戦災殉難者
 慰霊塔

【左側面】
 建設趣意
 昭和二十年当時の長岡市は戸数一万三千 人口六万七千余でありましたそれが八月一日の戦災で わずか二時間ばかりのうちに 八割二分に当る家屋を焼失し 市長の殉職をはじめ千三百余の市民がその犠牲となりました
 それから十三年 その惨状は昨日のこのように 今なお市民の記憶から離れないのであります
 この塔はその殉難の霊を慰めるとともに このような不幸を再び繰り返さないよう願いをこめて 一般からの寄付金及び県と市の補助金によって これを建設したものであります
 昭和三十三年八月一日
 長岡市戦災
 殉難者慰霊塔 建設委員会

【右側面】
 この塔は 昭和三十三年平潟神社境内地に建設され 長岡市戦災殉難者遺族会により管理されてきた
 その後 歳月の経過とともに老朽化が進んだため 戦災五十周年を機に市民の浄財も得て長岡市が現在地に移転修復したものである
 平成七年八月一日
 長岡市

解説文

長岡市戦災犠牲者慰霊塔

昭和二十年（一九四五）八月一日の夜、長岡市は空襲を受けた。大量の焼夷弾が投下され、旧市街地の約八割が焼失、千四百余名の尊い命が奪われた。なかでも平潟神社境内では多数の人びとが犠牲となった。その惨状は市民の胸奥から消えず、有志たちが發起して 昭和三十三年、平潟神社境内地に慰霊塔を建立した。

その後、歳月の経過とともに老朽化が進んだため、戦災五十周年にあたる平成七年 市民の浄財も得て長岡市がここに移転修復した。塔内には鎮魂と平和の願いをこめ、犠牲者の名簿が収められている

長岡市教育委員会

The Memorial Tower for Victims of the War Disaster on August 1, 1945

4 長岡市戦災殉難者慰霊祭



開催概要（平成24年度）

歳事名：長岡市戦災殉難者慰霊祭
 会場：平潟公園 長岡市戦災殉難者慰霊塔前
 (JR長岡駅 徒歩10分)
 日時：平成24年8月1日(水) ※例年8月1日開催
 参加者数：約120人
 連絡先：平潟神社 0258-32-1032

式次第（平成24年度）

- | | |
|--------------------|--|
| 1. 開式の辞：平潟神社責任役員総代 | 7. 玉串奉奠：平潟神社宮司／平潟神社責任役員総代／遺族会長代理／長岡市長／長岡市議会議長／長岡商工会議所会頭／参加者 順次 |
| 2. 修祓 | 8. 撤饌 |
| 3. 降神の儀 | 9. 昇神の儀 |
| 4. 献饌 | 10. 挨拶：長岡市議会議長／遺族会長代理 |
| 5. 祭詞：斎主 平潟神社宮司 | 11. 閉式の辞 |
| 6. 祭文：長岡市長 | 12. 御神酒 |

祭文（平成24年度）

祭文

本日ここに、戦災殉難者慰霊祭が厳かに執り行われるにあたり、長岡空襲で亡くなられた方々の御霊に謹んで哀悼の意を捧げます。

あの忌まわしい日から六十七年、今年も長岡市民が決して忘れることのできない八月一日を迎えました。長岡空襲は、千四百八十二人の尊い生命を奪っただけでなく、肉親を亡くし、家を焼かれた人々に深い悲しみの傷あとを残しました。

今日の長岡市の復興と繁栄は、戦災殉難者の方々の尊い犠牲の上に築かれたものであり、私たち長岡市民はこのことを決して忘れてはなりません。

しかしながら、歳月が流れ、ともすればあの悪夢のような長岡空襲は、遠い過去の出来事として忘れ去られかねません。

ゆえに、私たち長岡市民は、はからずも空襲で犠牲となった方々の思いを胸に、この地で起こった悲しい出来事を次の世代に語り継ぐ責務を負っていることを強く感じます。

本日ここに、「戦災殉難者慰霊塔」を前に、長岡市及び長岡市民を代表して、世界の恒久平和の実現に向けて粘り強く努力していくことを全ての空襲犠牲者の御霊にあらためてお誓いいたします。

終わりに、戦災で亡くなられた多くの方々の御霊が安らかなることを心からご祈念いたしますとともに、御遺族をはじめ、長岡市民を見守ってくださるよう心からお願い申し上げまして、ごあいさついたします。

平成二十四年八月一日
 長岡市長 森 民夫

5 戦災殉難者之墓



基本情報

所 在：昌福寺
 住 所：新潟県長岡市四郎丸4-6-21
 (JR長岡駅 徒歩9分)
 連絡先：昌福寺 0258-32-4449
 建 立 者：遺族及び市民有志
 建 立 年：昭和22年9月

碑 文

【表】

戦災殉難者之墓

【裏】

昭和二十年八月一日當市戦災
 殉難者市長他千四百四十余名
 茲ニ有志相計リ全市民ノ浄財ヲ以テ永ク菩提ヲ弔フ

 昭和二十二年九月建立

解 説 文

戦災殉難者の墓

昭和二十年（一九四五）八月一日夜
 長岡市はアメリカのB29爆撃機による
 大空襲をうけた。
 一夜にして旧市街地の約八割が焦土
 となり、千四百余名の人びとが尊い命
 を奪われた。
 このうち、身元が確認できない犠牲
 者の遺体は、無縁仏として合同で火葬
 に付され、ここ昌福寺の本堂前に葬ら
 れた。
 昭和二十二年九月、市民の浄財を得
 て、殉難者の墓が建てられた。

長岡市教育委員会

6 長岡市戦災殉難者墓前法要



開催概要（平成24年度）

歳 事 名：長岡市戦災殉難者墓前法要
 会 場：昌福寺 戦災殉難者之墓前
 (JR長岡駅 徒歩9分)
 日 時：平成24年8月1日(水) ※例年8月1日開催
 参列者数：約100人
 連絡先：昌福寺 0258-32-4449

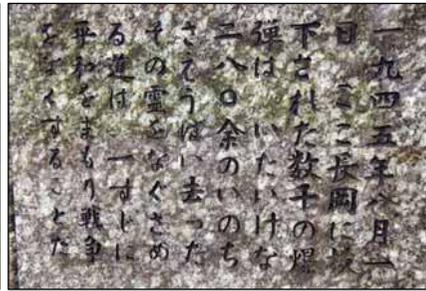
式 次 第（平成24年度）

1. 誂 経
2. 焼 香

式 辞（平成24年度）

なし

7 平和像



基本情報

所 在：平和の森公園
住 所：新潟県長岡市本町3
(JR長岡駅 徒歩15分)
連絡先：新潟県教職員組合 025-281-8141
建 立 者：新潟県教職員組合
建 立 年：昭和26年11月3日

碑 文

【台座 表】

平和像
一九四五年八月一日 こ長岡に投下された数千の爆弾は いたいけな二八〇余のいのちさえうばい去ったその霊をなぐさめる道は 一すじに平和をまもり戦争をなくすることだ

【台座 裏】

一九五一年一月三日
建 設 新潟県教職員組合
群像製作 廣井吉之助
碑面書 齋藤迪信

8 非核平和都市宣言市民の集い《平和の誓い・平和祈願祭》



開催概要 (平成24年度)

歳 事 名：非核平和都市宣言市民の集い《平和の誓い・平和祈願祭》 ※一般戦災死没者を含む
会 場：平和の森公園
(JR長岡駅 徒歩15分)
日 時：平成24年8月1日(水) ※例年8月1日開催
参列者数：約500人
連絡先：長岡市 総務部 庶務課 0258-39-2203 (直通)

式 次 第 (平成24年度)

1. 開 会
2. 黙 と う：～非核平和・悠久の鐘～
3. 宣 言 文 朗 読：平和のための長岡行動実行委員会委員長
4. 放 鳩
5. 主催者あいさつ：長岡市長
6. 平和像の由来：新潟県教職員組合本部執行委員長
7. 献 花：長岡市長／長岡市議会議長／新潟県教職員組合長岡支部執行委員長／越後ながおか農業協同組合代表理事理事長
8. 長岡空襲のお話
9. 折り鶴の依託：～平和の祈りを広島へ～
10. 平和の誓い：平成24年度広島派遣中学生代表
11. 閉 会

挨拶 (平成24年度)

長岡市民にとって永遠に忘れることのできない八月一日を迎えました。今年もまた大勢の皆様のご参加をいただき、「非核平和都市宣言市民の集い」を開催できまして心から感謝申し上げます。六十七年前の今日、私たちのまちは悪夢のような空襲を受け、学童二百八十余名を含む千四百八十二人の尊い命が奪われました。市街地の8割は焼け野原となり、約一万二千戸の家屋が焼失しました。長岡市は、この悲惨な歴史から目をそらすことなく、平和の灯を広げていくため、昭和五十九年八月一日に県内で初めて「非核平和都市宣言」を行いました。そして、これまで「広島平和記念式典」への中学生の派遣や、「平和市長会議」への参画など恒久平和の実現を目指し、市民の皆様とともに活動を続けています。去る七月一日には、「長岡空襲殉難者追悼の集い」を長岡戦災資料館において開催し、長岡空襲で犠牲になった二百八十三人の遺影の前に、亡くなられた方々を偲ぶとともに、戦争の悲惨さを語り継ぎました。この長岡戦災資料館は、実際に空襲に遭われた方々をはじめとした大勢の市民ボランティアの皆様との協働により、知恵とアイデアを絞って手作りで企画・運営されており、戦後世代の方々も多く来館されています。また、本年三月にはハワイ・ホノルル市と姉妹都市を締結しました。今後も戦災を経験した都市同士で交流を続け、平和のために協力していきたいと思っております。空襲から六十七年が経過し、悲惨な記憶が薄れつつある今だからこそ、その記憶を後世に語り継ぎ、平和の尊さを伝える取り組みを、これまで以上に積極的に展開してまいります。市民の集いの開催にあたり、空襲で亡くなられた方々の御冥福を心からお祈りいたしますとともに、世界の恒久平和の実現に向けて、市民の皆様とともにさらに粘り強い努力を続けていくことを誓い、私のごあいさついたします。

平成二十四年八月一日
長岡市長 森 民夫

9 鎮魂たむけの花



開催概要 (平成24年度)

歳事名：鎮魂たむけの花
 会場：アオーレ長岡 西棟1階ホワイエ
 (JR長岡駅 徒歩3分)
 日時：平成24年8月1日(水)～3日(金) ※例年8月1日～3日開催
 参列者数：1,240人
 連絡先：長岡市 総務部 庶務課 0258-39-2203 (直通)

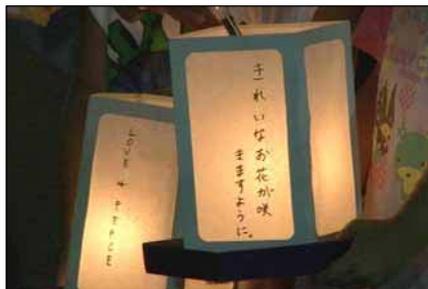
式次第 (平成24年度)

なし

概要

長岡まつりの起源となる長岡の歴史について市民に発信し、長岡空襲で亡くなられた方々への慰霊の気持ちを表すため、毎年8月1日から3日間、市民が花を手向ける場所を設置し、献花を行っています。

10 柿川灯籠流し ～平和への誓い～



開催概要 (平成24年度)

歳事名：柿川灯籠流し ～平和への誓い～
 会場：柿川（一之橋から追廻橋の周辺）長岡市旭町2丁目、南町1丁目、柏町2丁目
 （JR長岡駅 徒歩10分）
 日時：平成24年8月1日（水） ※例年8月1日開催
 参列者数：約2,000人
 連絡先：長岡青年会議所 0258-34-0069

式次第 (平成24年度)

1. 灯籠販売開始（アオーレ長岡、灯籠流し会場）
2. アオーレ及びフェニックスビジョンにて灯籠流しVTR放映
3. セレモニー開始、長岡空襲歴史VTR投影
4. 黙祷、理事長挨拶、市長挨拶、戦災殉難者遺族会代表挨拶
5. 「シンボル灯籠」献灯
6. 柿川灯籠流し開始
7. 柿川灯籠流し終了、片付け開始

概要

（社）長岡青年会議所は、長岡空襲と戦後復興への道のりを伝え、戦争の悲惨さ、平和の尊さと大切さ、戦災殉難者に対する慰霊の想いと平和への誓いを持っていただくことを目的に、第29回柿川灯籠流し～平和への誓い～を行います。

出典：長岡青年会議所ホームページより

11 慰霊の花火（白菊）



※写真提供 長岡市

開催概要（平成24年度）

歳事名：慰霊の花火（白菊）
会場：信濃川河川敷
日時：平成24年8月1日（水） ※例年8月1日開催
参列者数：—
連絡先：長岡まつり協議会事務局 0258-39-2221

式次第（平成24年度）

なし

概要

67年前の長岡空襲の始まった時刻（8月1日午後10時30分）にあわせて慰霊の花火を打ち上げます。

空襲で亡くなられた方々への慰霊、復興に尽力した先人への感謝、恒久平和への願いを込めて、白一色の尺玉3発を打ち上げるとともに、市内寺院の協力を得て同時刻に慰霊の鐘を鳴らします。皆様からも、是非この趣旨をご理解いただき、慰霊の花火打上げに合わせお祈りをいただければ幸いです。

長岡まつり協議会事務局

出典：長岡まつりホームページより

12 柿川戦災殉難地



基本情報

所 在：柳原公園
 住 所：新潟県長岡市柳原町2
 (JR長岡駅 徒歩20分)
 連絡先：長岡市 総務部 庶務課 0258-39-2203 (直通)
 建立者：長岡市、長岡市教育委員会
 建立年：平成7年7月31日

碑 文

柿川戦災殉難地

清き柿川の辺り柳原町神明社境内で
 昭和二十年八月一日夜太平洋戦争に
 於て此の地に空爆死された犠牲者の
 冥福を祈り命日五十回忌を期に哀悼
 の意を捧げる

当日 長岡市内 千四百七名
 周辺住民 五十四名
 柳原神明社 境内中で 百五十三名

荒屋敷	一	本町通	六	神田学区	四
坂下町	四	表町通	十一	四郎丸学区	一
柳原町	三十三	千手学区	五	市外	九
船江町	四十	中島学区	四	県外東京	十七
上田町	十一	坂ノ上学区	三	滋賀県	一
渡里町	二	川崎学区	一	計	百五十二名

平成七年七月三十一日

長 岡 市
 長岡教育委員会

13 模擬原子爆弾投下地点跡地の碑



基本情報

所在：永代橋付近土手
 住所：新潟県長岡市左近
 （JR長岡駅より 越後交通「三和町」下車 徒歩8分、車10分）
 連絡先：長岡戦災資料館 0258-36-3269
 建立者：模擬原子爆弾投下地点の碑建立委員会
 建立年：平成17年7月20日

碑文

模擬原子爆弾投下地点跡地の碑

昭和二十年（一九四五）七月二十日、午前八時十三分、米軍機B29が単機で飛来し、大型爆弾一個を投下しました。爆発による被害は、死者四名、負傷者五名、住宅全壊二戸のほか左近地区全戸が被害を受けました。これは、原子爆弾の投下訓練として行われたもので、同年八月九日、長崎に落とされた原子爆弾とほぼ同じ型のものでした。
 被災六十周年にあたり市民の芳志によりこの碑を建てるものです。

平成十七年（二〇〇五）七月二十日
 左近町有志一同
 模擬原子爆弾投下地点の碑建立委員会

模擬原子爆弾の図

[型式] パンプキン（10,000ポンド軽筒爆弾）
 [大きさ] 1.5m×3.5m
 [重量] 4.5t（TNT火薬 約2.5t）

資料提供 星 貴

14 母子像「懐い」



基本情報

所 在：長岡戦災資料館
 住 所：新潟県長岡市城内町2-6-17 森山ビル
 (JR長岡駅 徒歩2分)
 連絡先：長岡戦災資料館 0258-36-3269
 建 立 者：長岡空襲60周年 母子像建立実行委員会
 建 立 年：平成17年8月1日

碑 文

【表】

懐い

制作 堀田 正

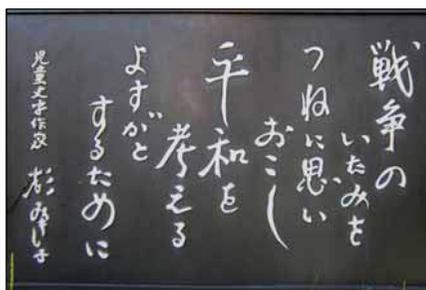
【左側面】

2005年8月1日
 長岡空襲60周年母子像
 建立実行委員会

経 緯

長岡空襲60周年を迎え、新潟県内唯一の大規模戦災都市として、空襲の惨禍を語り伝えるとともに、亡くなられた方々の御霊を慰め、恒久の平和を希求する思いを伝えようと、市民の有志が募金活動を行い、平成17年に建立したものです。
 この母子像には、愛児や家族への想い、感謝の念、恒久平和の願いなどいろいろな想いが込められています。

15 直江津空襲・黒井被爆の地碑



※写真提供 関川幹雄

基本情報

所在地：黒井公園地内
住所：新潟県上越市黒井
(JR黒井駅 徒歩10分)
連絡先：個人であり記載せず
建立者：直江津空襲の標柱をつくる会
建立年：平成7年5月5日

碑文

【表】

一九四五年五月五日
直江津空襲・黒井被爆の地

【表・下部】

戦争の
いたみを
つねに思い
おこし
平和を
考える
よすがと
するために

児童文学作家 杉みき子

【裏】

直江津空襲の標柱をつくる会
一九九一年五月五日建て
清水雲梯力口書

富 山 県

1 伊佐雄志神社



※写真提供 富山縣護國神社

基本情報

所在地：富山縣護國神社
 住所：富山県富山市磯部町1-1
 （富山地方鉄道 電停「安野屋」 徒歩3分、コミュニティバスまいどはや「護国神社」下車すぐ）
 連絡先：富山縣護國神社 076-421-6957
 建立者：富山縣護國神社
 鎮座年：昭和26年4月25日

碑文

なし

説明文

昭和二十年八月一日の富山大空襲による戦災殉難者の御霊を祀る伊佐雄志神社（旧富山縣鎮靈神社）は、治安の維持と災害防護その他民生安定のため殉職せられた自衛官、警察官、消防団員、郵便局員及び地方功労者の御霊を含む、約三千余柱の御霊をお祀り申し上げております。

また当社境内にございます遺宝館（資料館）では富山大空襲の関連資料と写真、また音声ガイドでの資料説明が行われております。

2 富山大空襲戦災殉難者慰霊「伊佐雄志神社例大祭」



※写真提供 富山縣護國神社

開催概要（平成24年度）

歳事名：富山大空襲戦災殉難者慰霊「伊佐雄志神社例大祭」
 会場：伊佐雄志神社
 （富山地方鉄道 電停「安野屋」 徒歩3分、コミュニティバスまいどはや「護国神社」下車すぐ）
 日時：平成24年8月1日（水） ※例年8月1日開催
 参列者数：約50人
 連絡先：富山縣護國神社 076-421-6957

式次第（平成24年度）

1. 修 祓 の 儀
2. 宮 司 一 拜
3. 献 饌
4. 宮 司 祝 詞 奏 上
5. 玉 串 拜 禮：宮司・総代会長・県知事・県議会議長・市長・市議会議長
 県遺族会長・市遺族会長・御遺族・神社役員・崇敬会員など
6. 御製「立山の御歌」奉唱
7. 撤 饌
8. 宮 司 一 拜

概要

昭和二十年八月一日、富山市は米軍による大空襲を受けました。市街地は一夜にして廃墟となり、死者は約三千人、負傷者は約八千人にのぼりました。
 米軍は、非戦闘員の殺傷、非軍事目標並びに無防備都市の攻撃を禁止した、国際法ハーグ陸戦条約に違反し、大量の焼夷弾を一般民家に投下したのです。しかも、まず橋を落とし、次に炎の壁をつくり、そして低空にて爆弾をおとす、多くの罪なき人をまさに袋のネズミとして殺戮したのでした。
 氷見市太田、島尾、窪の浜には、後日多く焼死者の御遺体が、毎日のやうに流れ着いたさうです。神通川へ飛び込んだ方々でありませう。若い母親が生まれたばかりの赤ん坊をおぶつたままの姿、小さな二人の姉弟が離れまいとへこ帯で手を縛り合つたままの姿、片手のない兵隊さんの姿等々。今も尚、島尾の地に於いては、これらの御霊をお慰めしようと慰霊祭が執り行はれております。

3 戦災復興記念像（天女の像）



基本情報

所在地：富山城址公園
 住所：富山県富山市本丸1
 （J R 富山駅、富山地方鉄道 電停「電鉄富山」 徒歩10分）
 連絡先：富山市 076-431-6111（代表）
 建立者：富山復興特別事業協議会
 建立年：昭和49年8月1日

碑文

【表】
 戦災復興記念

【裏】
 昭和二十年、太平洋戦争は激烈の度を加え 八月二日未明 富山市は B29 七十余機の焼夷爆撃攻撃を受け 市街地は一瞬にして焦土と化した
 約二万五千の世帯 十一万人の市民が罹災し 約八千人が重軽傷を負い 二千二百七十五人が尊い生命を失い まさに壊滅の状況に置かれた
 惨憺たる焼土と絶望の虚脱の中から 富山市民は 平和を渴望し郷土の復興に 気力を燃やし 槌音高く 県都富山の 再建に立ち上がった
 以来二十有余年 市民の決意と総力の 結集が実を結び 戦災復興の大業が成り 近代的都市が出現した
 ここに
 恒久の平和を念願するとともに 尊い犠牲に敬虔な祈りを捧げ 市民の努力の偉大な業績を記念して 戦災復興記念像を建立する
 昭和四十九年八月一日
 富山県知事 中田幸吉 題
 富山市長 改井秀雄 録

【右側面】
 推進団体
 富山復興特別事業協議会
 ※個人名
 原型 米 治一
 鑄造 株式会社 竹中製作所

説明文

戦災復興記念像（天女の像）の説明版

昭和二十年、太平洋戦争は激烈の度を加え、八月二日未明に、富山市は、B29百七十余機の焼夷爆撃攻撃を受け、市街地は一夜にして焦土と化しました。
 約二万五千の世帯、十一万人の市民が罹災し約八千人が重軽傷を負い、二千七百余人の尊い命が失われ、まさに、壊滅的な状況になりました。
 惨憺たる焼土と、絶望の虚脱の中から、富山市民は、平和を渴望し郷土の復興に気力を燃やし、槌音高く、県都富山の再建に立ち上がりました。
 市民の決意と総力の結集が実を結び、戦災復興の大事業が完成し、今日の近代的都市に生まれ変わりました。
 この天女の像は、恒久の平和を念願するとともに、尊い犠牲に敬虔な祈りを捧げ、市民の努力による偉大な業績を記念して、富山復興特別事業協議会により、昭和四十九年八月一日に、戦災復興記念像として建立されたものです。

平成二十年八月一日
 富山市

4 平和祈願之碑



基本情報

所在：富山市豊田本町
 住所：富山県富山市豊田本町2-13
 (富山ライトレール 城川原駅、越中中島駅 徒歩17分)
 連絡先：個人であり記載せず
 建立者：鈴木善蔵
 建立年：昭和63年7月26日

碑文

【左側面】

鈴木善蔵

【表】

平和祈願之碑
 土岐 幸隆 書

【右側面】

昭和六十三年七月建之

【裏】

大東亜戦争被爆地の記

一九四五年(昭二十年)七月二十六日朝八時頃アメリカ軍の爆撃機B29が飛来し豊田のこの地に爆弾を投下しました。そのため鈴木善作(当時四十九才)ほか十五名の者が被爆犠牲者として尊き生命を断ちました。人類にとって戦争ほど醜く嘆き悲しまずにいられないものはありません。再びと、このようなことの起ることはなく未来永遠に人類が平和でありますことをお願いしてこの碑を建立します。

一九八八年(昭六十三年)七月二十六日

【犠牲者名碑】

犠牲者名
 (故人名)

5 慰霊地蔵尊



基本情報

所 在：島尾海浜公園
 住 所：富山県氷見市島尾
 (JR島尾駅 徒歩3分)
 連絡先：個人であり記載せず
 建 立 者：島尾自治会
 建 立 年：昭和50年8月1日

碑 文

【表 上部】

和光同塵

國泰心田口題

【裏】

地藏尊像建立高額御寄附者御芳名

(個人名)

【表 下部】

趣意書
 昭和二十年夜半、東南の夜空は夕焼けの様に真赤でした。
 私達の上空ではサーチライトの光芒に小さい機影を見せて、B29
 の編隊が何度も富山市の方に向けて行きました。
 富山市の大半が焼き払われ、二二七五人の無辜の市民が無残に
 焼き殺された富山空襲の遠い夜景でありました。
 それから数日、劫火に追はれ川に逃がれて甲斐なく溺死した人々
 でありましょう、この海岸に点々と漂流死体が打上げられました。
 生まれたばかりの嬰兒をしっかりと胸に抱いた若い母、十二、三才の
 姉と六、七才の弟と手を縛り合せた寝まき姿のいたいけな骸に涙しな
 がら村の古老達が近くの松の根方に懇ろに葬りました。
 それから毎年八月一日、この不幸な無縁仏に野花を供えて供養を
 いたしておりますが、国泰寺管長稲葉心田老師の御激励と地元有志
 の協力を得まして、本年三十年忌に当り地藏尊像を建立いたしました
 次第であります。
 御芳志賜りました多数の皆様のお心を念じまして、永く供養いた
 したいと思ひます。

昭和五十年八月一日
 建立委員長 (個人名)
 昔話人代表 (個人名)
 地元各団体 役員一同

6 空襲犠牲者慰霊祭



開催概要 (平成24年度)

歳 事 名：空襲犠牲者慰霊祭
 会 場：島尾海浜公園内 慰霊地蔵尊前
 (JR島尾駅 徒歩3分)
 日 時：平成24年8月12日(日) ※例年8月12日開催
 参列者数：80人
 連絡先：島尾自治会

式 次 第 (平成24年度)

1. 主催者あいさつ
2. 読 経：国泰寺 管長
3. 法 話
4. 焼 香

式 辞 (平成24年度)

なし

福 井 県

1 慰霊碑塔・慈母観音



基本情報

所 在：足羽山西墓地
 住 所：福井県福井市小山谷町
 (JR福井駅より コミュニティバスすまいる「笏谷」下車 徒歩25分、車15分)
 連絡先：福井市 福祉保健部 地域福祉課 0776-20-5404 (直通)
 建立者：慈母観音像…福井県宗教文化協会
 慰霊碑塔…市民有志
 建立年：慈母観音像…昭和22年6月
 慰霊碑塔…昭和36年11月

碑 文

【慰霊碑塔 表】

慰霊碑

【慈母観音像 前 位牌】

福井戦災死死者諸霊位
 福井震災死死者諸霊位

説 明 文

慰霊碑塔 (慈母観音)

この慰霊碑塔は、昭和二十年七月十九日夜半の福井空襲による、一、五八三名の戦災殉難者、同二十三年六月二十八日夕方、福井地方の大震災による一、六二七名の震災死者の諸精霊を慰めるため、多くの市民の浄財により昭和三十六年十一月に建立された。塔内に安置されている慈母観音像(けやき一本彫像の総丈二米 多田瑞穂氏造)は、それよりさき昭和二十二年六月福井県宗教文化協会(故 前田岳洋氏主催)が発願造像したもので、縁あってこの慰霊碑塔内におさめられています。その後、福井市による追悼式や、慈母観音奉賛会が主催する慰霊法要が営まれています。また、この慈母観音像を母親観音像として、市内四十余ヶ所の戦災・震災に関係する地に、西国観音霊場に準じた観音像を祀り慈母観音の御分身として分祀し、戦災・震災犠牲者の諸精霊の供養と福井市の復興と世界の平和を祈念して慈母観音札所会が結成され、毎年四万八千観音功德日に大祭を厳修し、当日この観音像を起点として各札所霊場を巡拝するならわしになっています。

福 井 市
 復興慈母観音奉賛会

2 福井市戦災・震災犠牲者追悼式



※写真提供 福井市

開催概要 (平成24年度)

歳 事 名：福井市戦災・震災犠牲者追悼式
 会 場：慰霊碑塔前
 (JR福井駅より コミュニティバスすまいる「笏谷」下車 徒歩25分、車15分)
 日 時：平成24年6月28日(木) ※例年6月28日開催
 参加者数：約70人
 連絡先：福井市 福祉保健部 地域福祉課 0776-20-5404 (直通)

式 次 第 (平成24年度)

1. 開 式 の 辞
2. 国 歌 斉 唱
3. 市 民 憲 章 唱 和
4. 式 辞：福井市長
5. 黙 禱
6. 追 悼 の こと ば：福井市議会議長
7. 献 花
8. 閉 式 の 辞

式 辞 (平成24年度)

本日、多数のご遺族並びに関係の皆様をお迎えして、福井市戦災・震災犠牲者追悼式を執り行うにあたりまして、戦災・震災で亡くなられたすべての御霊に対し、福井市民を代表し、謹んで哀悼の誠を捧げます。

時の流れは早いもので、多くの尊い命が失われました福井大空襲から67年、また、福井大震災から64年の歳月が過ぎ去りました。この戦災・震災の犠牲となられた2,500人を超える方々の無念さに思いを寄せますと、改めて、深い悲しみが胸に込み上げてまいります。ご遺族の皆様には、愛するご家族を失い悲痛な思いを抱えられながらも、福井市の復興に大変なご尽力をいただきました。そのおかげにより、現在では、福井市は全国に誇りうる住みやすいまちとして、高い評価を得ております。

戦災・震災から歳月が流れ、記憶が風化していくことが懸念される中、戦争の悲惨さと災害の脅威を決して忘れることなく、次の世代に伝えていくことは、私たちに課せられた使命であると考えております。私たちは、平和への願いを継承するとともに、災害への備えを怠ることなく、安全で安心なまちづくりのため、たゆみない努力を続けてまいりますことを、ここにお誓い申し上げます。

また、昨年3月に発生した東日本大震災の被災地において、今なお、懸命の復興が進められているところですが、福井市といたしましても、被災地の方々の生活が一日も早く回復されますよう、引き続きできる限りの支援を行ってまいります。

最後になりますが、犠牲者のご冥福と、ご遺族をはじめ関係各位のご多幸とご健勝を心からお祈り申し上げます。式辞といたします。

平成24年6月28日
 福井市長 東村 新一

3 戦災殉難者慰霊観音像（大手観音）



基本情報

所在：福井市役所の第2別館の北東の角 NTT西日本 福井支店 大手ビル前
 住所：福井県福井市大手3
 （JR福井駅 徒歩6分、福井鉄道 電停「市役所前」 徒歩3分）
 連絡先：NTT西日本 福井支店 広報担当 0776-20-9527
 建立者：遺族及び福井電報電話局職員有志
 建立年：昭和39年7月（昭和62年1月移転/平成8年3月 観音堂建立）

碑文

【表】 戦災殉職者 慰霊	【左側面】 昭和二十年七月十九日 戦災殉職者 （故人名）	【観音堂】 大手観音
【右側面】 （故人名）	【裏】 昭和三十九年七月建立 福井電話局 有志 □□会	

説明文

昭和二十年七月十九日夜半福井大空襲の際、福井郵便局電話課の職員など二十三名が殉職しました。

昭和三十九年遺族及び職員有志により福井市中央一丁目十七ノ十六福井電報電話局市外局中庭に観音像を建立し、慰霊してまいりましたが、昭和六十二年一月市外局の当地移転に伴い、この地に移しました。

昭和六十二年一月 NTT福井支社
福井電報電話局

平成七年が戦後五十年の節目にあたることから、恒久平和を願い観音堂を建てて安置することになりました。

ここに殉職者のご冥福をお祈りいたしますとともに、あらためて平和の喜びをかみしめたいと思います。

平成八年三月 NTT福井支店
全電通福井県支部

4 戦没者戦災死没者追悼式



開催概要 (平成24年度)

歳事名：戦没者戦災死没者追悼式
 会場：プラザ万象
 (JR敦賀駅 徒歩8分)
 日時：平成24年7月16日(月) ※例年7月上～中旬開催
 参列者数：240人
 連絡先：敦賀市 福祉保健部 地域福祉課 0770-22-8118 (直通)

式次第 (平成24年度)

1. 開式の辞
2. 慰霊曲
3. 黙とう
4. 市長式辞
5. 追悼の辞：福井県知事、福井県選出地元国会議員、福井県議会議長、敦賀市議会議長、福井県遺族連合会長
6. 献花
7. 市長あいさつ
8. 遺族代表謝辞
9. 慰霊曲
10. 閉式の辞

式辞 (平成24年度)

本日ここに、敦賀市出身戦没者1,764柱、戦災死没者225柱のみたまをお迎えし、御遺族並びに御来賓多数の御参列をいただき、平成24年度敦賀市戦没者戦災死没者、追悼の式典を厳粛に挙行できますことは、誠に意義深く、謹んで哀悼の誠を捧げる次第でございます。

御尊霊には、先の大戦において、祖国を思い、御家族を思いながら悲しくも戦場に散り戦禍に倒れ、あるいは、遠い異郷の地で亡くなりましたことは、永遠に忘れることのない深い悲しみであります。

また、昭和20年7月12日の夜半、わが敦賀市は、日本海に面する都市として最初の戦禍に遭い、何等なすすべもなく市街地の大半が焼失し、古来、営々として築き上げられた歴史的、文化的遺産も瞬時にして焦土と化し、加えて何ものにも代えがたい市民の尊い生命が数多く奪われましたことは、誠に痛恨の極みであり、御遺族の方々の御心情をお察し申し上げますとき、お慰めの言葉もございません。

御遺族の皆様におかれましては、筆舌に尽くし難い深い悲しみを負い、戦後の混乱の中で、幾多の困難と欠乏の生活に耐えながら、雄々しく立ち上がり、郷土の発展に尽力され、今日を迎えられましたことに対し、深く敬意と感謝を申し上げます次第でございます。

終戦から67年の歳月が流れようとしております。空襲の悲惨さや、戦中戦後の困窮生活を知らない世代が国民の大半を占めるようになり、戦争の傷跡や体験も時の流れと共に、風化しがちでございます。

しかし、今日の繁栄や平和は、戦争によって多くの方々の尊い命が捧げられ、その犠牲の上に成り立っていることを、決して忘れてはなりません。

わがふるさと敦賀も諸霊の御加護と市民の不断の努力により、限りない発展を続けております。今後の市政運営に当たり、市民とともに地域の視点に立ち、創意工夫を惜みず、効果的、効率的行政運営を行ってまいります。そして市民生活の安定と向上に全力で取り組むとともに、ぬくもりに満ちた安心安全なまちづくりの構築を目指し、次世代に誇りと自信のもてる敦賀として受け継がれるように、最大限の努力を積み重ねて参りますことを諸霊の面前に額ずき固くお誓い申し上げます次第でございます。

終わりに臨み、諸霊のとこしえに安らかならんことをお祈りし、わがふるさと敦賀の繁栄と、御遺族の限りない御多幸を念じ、式辞といたします。

平成24年7月16日
 敦賀市長 河瀬 一治

5 戦災慰霊碑



基本情報

所在：本勝寺
 住所：福井県敦賀市元町19-21
 (JR敦賀駅 徒歩18分)
 連絡先：本勝寺 0770-22-3494
 建立者：敦賀戦災遺族会
 建立年：昭和56年7月12日

碑文

【正碑・表】

戦災慰霊碑
 敦賀市長 高木孝一 書

【正碑・裏】

戦災犠牲者之霊
 (故人名)

【副碑・表】

碑文

敦賀市は太平洋戦争末期の昭和二十年に三回にわたって米軍の空襲を受けました。即ち七月十二日午後十一時十二分から翌日午前二時までの約三時間B29爆撃機の焼夷弾によって四一九戸が焼失 百数十人の犠牲者が出ました。続いて七月三十日午前十時十五分頃艦載機P47六機が来襲 機銃掃射や爆風により二十三人が犠牲となった。三回目は八月八日午前九時頃B29一機が飛来し 東洋紡績敦賀工場に爆弾を投下 動員学徒を含む三十三人の命を奪ったのであります。この慰霊碑はこれら敦賀空襲を始めとし本市に縁故のある各地での戦災犠牲者の御霊を弔祭し 永遠の平和と郷土発展を祈願して建立したものであります。又この地は被災の中心地域であり 本勝寺のご厚意もあって御霊の安らかな眠りの場に選んだ次第です。尚建立に際し格別の御芳志を賜った方々に深甚なる敬意と感謝の意を表する次第であります。

昭和五十六年七月十二日

敦賀戦災遺族会

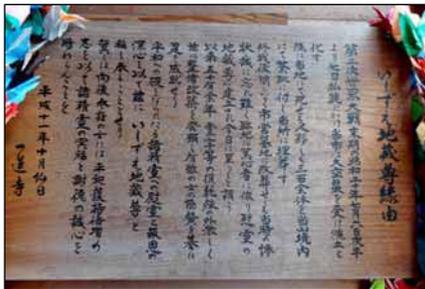
会長 (個人名)
 副会長 (個人名)
 代表理事 (個人名)

【副碑・裏】

寄附者御芳名
 (個人名)

山 梨 県

1 いしずえ地藏尊



基本情報

所在：一蓮寺
 住所：山梨県甲府市太田町5-16
 (JR甲府駅から 山梨交通「遊亀公園」下車 徒歩2分)
 連絡先：一蓮寺 055-233-2009
 建立者：有志一同
 建立年：昭和27、28年頃建立、平成11年10月改修

碑文

【台座】

戦災殉難者
 慰 霊 いしずえ地藏尊

【標石】

戦災死者慰霊
 いしずえ
 礎 地藏尊

説明文

いしずえ地藏尊縁由

第二次世界大戦末期の昭和二十年七月六日夜半より七日払暁にかけ当市は大空襲を受け焼土と化す
 殊に当地にて死せる人夥しく三百余体を当山境内にて荼毘に付し当所に埋葬す
 終戦後間もなく市営墓地に改葬せしも当時の惨状誠に忘れ難く跡地に篤心者に依り慰霊の地藏尊が建立され今日に至りしと謂う
 以来五十有余年堂宇等の損耗殊の外激しく茲に整備改築を發願し有縁の士の協賛を基に是を成就せり
 平和への礎となられたる諸精霊への慰霊と報恩の深心を以て茲に いしずえ地藏尊と稱し奉ることとせり
 冀くは向後参詣の士には平和護持倍増の志を以て諸精霊の冥福と謝徳の誠心を賜わらんことを

平成十一年十月仏日
 一蓮寺

2 戦災殉難者無縁佛供養碑



基本情報

所 在 : つつじが崎霊園
 住 所 : 山梨県甲府市岩窪町533-1
 (JR甲府駅より 山梨交通「護国神社入口」下車 徒歩15分)
 連絡先 : 甲府市 055-237-1161 (代表)
 建 立 者 : 甲府市
 建 立 年 : 昭和34年8月10日

碑 文

【表】

戦災殉難者無縁佛供養碑

【裏】

建立の趣旨

昭和二十年七月六日夜甲府市は戦災でたちまちのうちに全市の八割が焦土と化し七百七十五人の尊い市民の命が失われた。その際三百七十三の遺体は引き取り手がなく一時太田町公園に仮埋葬した。昭和二十五年四月この遺体を火葬したがそのうち二百十三の遺骨は遺族の手に引き渡され残りの百四十の遺骨は尔来十年なお無縁の佛として岩窪町大泉寺に安置されてきた。その無縁の佛を新たに設けられたここ甲府市営公園墓地に迎え戦災殉難者のみたまの永遠に安からんことを心から祈念して供養碑を建立した。

昭和三十四年八月十日
 甲府市長 鷹野啓次郎

3 武蔵航空工場被爆殉難者之碑



基本情報

所 在：竜ヶ丘会館
 住 所：山梨県富士吉田市竜ヶ丘3-4-33
 (富士急行線 富士急ハイランド駅 徒歩12分)
 連絡先：不明
 建立者：剣丸尾武蔵会
 建立年：昭和32年7月30日

碑 文

【表】

殉難碑

殉難者

(故人名)

武蔵航空工場被爆殉難者之碑

題字 西山巧記

太平洋戦争の末 此の地に二萬坪の敷地を整理して広大な工場が建ち並び勤労学徒隊を含めて二千余名の者が航空機の生産に従って居りました 昭和二十年七月三十日午後一時突如として米軍艦載機数編隊の襲撃を受け一瞬にして十二人の貴い生命を喪い二十余人の負傷者を出すという惨事に至りました 越えて八月十五日終戦を迎え爾來星霜十有二年 工場跡は一望の水田と変り世人の記憶も漸く薄れゆこうとする時 元従業員一同亡き友を偲んで記念碑建立のことを発起しましたところ 過去十二年間朝夕にねんごろな供養を続けてこられた元社長西山巧記殿の絶大なご協力と県市当局並びに有志縁故多数の方々の御力添えによってここに成就することを得ました 謹んで十二柱英霊の御冥福を祈る次第であります

□岩に降る雨静かなり 月見草 淤水

(個人名)

昭和三十二年七月三十日
 為十三年忌法要供養建立

剣丸尾武蔵会

【裏】

慰霊

山梨県知事
 天野 久
 書

4 遺髪塚



基本情報

所在地：行願寺 共同墓地内
 住所：山梨県大月市大月1-21-22
 (JR大月駅 徒歩5分)
 連絡先：行願寺 0554-22-1780
 建立者：遺髪塚整備委員会
 建立年：昭和52年8月13日

碑文

遺髪塚
 山梨県立都留高等学校東校舎生徒会

説明文

遺髪塚合祀靈名
 (故人名)

遺髪塚の記

太平洋戦争もまさに終らんとする昭和二十年八月十三日午前八時二十分思いもよらぬ無差別の空襲たちまち悲惨な血の地獄と化した都留高女このたった数分の拳があたら十数名の尊い生命を奪う戦い終り悲しみの中に校葬を挙行遺髪を塚に納めて弔う三十年旧都留高女校舎の歴史を閉ずるの時生徒会の名にて碑を建立今年三十三回忌に当り同窓旧師四百余名挙りて遺髪塚を整備し懇ろに回向して永久の冥福を祈る。

昭和五十二年八月十三日
 遺髪塚整備委員会

終戦既に五十年歴史の重さを痛感しつつ旧師同窓願い一つに遺髪塚をば大改修し追悼の法要も営み、以後の管理を都留高等学校同窓会並びに学校当局に委ね、永久の供養と歩み来し五十年の思いを託し万感込めてみ霊の冥福を祈る。

平成六年七月二十四日
 遺髪塚管理委員会

5 遺髪塚追悼法要



※写真提供 山梨県立都留高等学校 同窓会

開催概要 (平成24年度)

歳事名：遺髪塚追悼法要
 会場：行願寺 遺髪塚前
 (JR大月駅 徒歩5分)
 日時：平成24年8月13日(月) ※例年8月13日開催
 参加者数：約40人
 連絡先：都留高等学校同窓会事務局

式次第 (平成24年度)

1. 開会のことば
2. 行願寺住職の読経
3. 都留高校同窓会長の式辞
4. 都留高校校長追悼の言葉
5. 閉会のことば
6. 遺髪塚への献花・参拝

式辞 (平成24年度)

都留高等学校同窓会を代表いたしまして一言追悼のご挨拶を申し上げます。同窓会役員の方々を初め空襲でお亡くなりになられた方々のご遺族の御出席を得まして、追悼法要が出来ますことを大変有り難く感謝いたします。今回の法要は昭和二十年八月十三日に起きました大月空襲の日から六十七年が過ぎた日であります。大月空襲の当日は、アメリカ軍の艦載機による爆撃そして機銃掃射により私たちの先輩や同輩の命が奪われた日であります。私たちはこの日を忘れる事が出来ません。私も当時中学一年生でした。当日は自宅から学校へ行く途中で目の前で爆撃の瞬間を見ました。あの光景は決して忘れる事が出来ませんし、また後で知りましたが大変な被害を被った事も忘れる事が出来ません。このことを風化させず後の人に伝えて行かなければならないと思います。大月空襲と同様に現在あの当時の戦争による苦しみを知っている人が少なくなってきています。そのために私たちは当時の経験を若い人たちに伝えることが重要な役目だと思います。太平洋戦争では大変大勢の方が亡くなりました。亡くなられた方のご家族もお国のためと言われ悲しみをかみしめて我慢を強いられた大変な時代でした。このような事は二度と起こしてはいけません。戦後日本も大変な復興を成し遂げ平和な時代をおくって来ております。しかしこの間に色々な出来事が起きて居ります。特に昨年は東日本大震災による甚大な被害、また、東京電力の福島第一原発の事故による放射能汚染により大変大勢の方に苦しみと悲しみをもたらしました。しかし、国民全体が早くこの大変な国難ともいえる災害を乗り越える事に努力をして居ります。私たちが、東北地方の災害に遭われた皆様の応援をして行くことが必要だと思います。そしてこの人たちが早く元の生活に戻れる事を願って行きたいと思っております。本日はこれより遺髪塚及び健児の塔に参拝して、今迄戦争等で命を落とした人のご冥福を祈りたいと思っております。本日は大勢の皆様にお集まり下さいました事に感謝申し上げます、お礼の言葉とさせていただきます。

平成二十四年八月十三日
 都留高等学校同窓会長 小俣 博義

長野県

1 遭難記念



基本情報

所在：有明地区
 住所：長野県安曇野市穂高有明1548付近
 (JR有明駅より 徒歩16分)
 連絡先：個人のため記載せず
 建立者：市民有志
 建立年：昭和27年

碑文

【表】

昭和廿年五月十九日

遭難記念

経緯

昭和20年5月19日昼ごろ、穂高町有明（現在の安曇野市穂高）にB29爆撃機1機が飛来。穂高小学校と有明小学校付近の上空から爆弾を投下した。この爆撃で有明小学校から少し離れた水田で農作業をしていた3人が死亡。穂高小学校付近でも複数の人が重傷を負った。当時は有明には演習地があり、部隊が小学校などに分かれて駐留していた。

出典：「1945年8月13日 長野が空襲された」
 (長野空襲を語り継ぐ会 [再々改訂版] より)

(爆弾の落ちたのは) 新屋耕地のお宮の西の水田と疎開の人達の開墾畑だった。直径10メートル位の蟻地獄の様な大きな穴が10個位と、不発弾がある場所に赤い旗を立ててあった。戦後、爆撃を受けた有明の地に遭難碑が建てられ、植木がきれいに刈り込まれ手入れが行き届いている。

出典：「穂高町の十五年戦争 町民がつづる戦争体験集」
 (穂高町戦争体験を語りつぐ会編・郷土出版社) より

岐 阜 県

1 平和の鐘



開催概要 (平成24年度)

歳事名：平和の鐘
 会場：権現山 時鐘楼
 (JR岐阜駅、名古屋鉄道 名鉄岐阜駅より 岐阜バス「県総合庁舎前」下車 徒歩20分)
 日時：平成24年7月9日(月) ※例年7月9日開催
 参列者数：約180人
 連絡先：岐阜市 市民参画部 市民協働推進課 058-265-4141 (代表)

式次第 (平成24年度)

1. 子どもたちに伝える岐阜空襲体験談
2. 代表者による打鐘(合わせて全員で黙とう)
3. 藤澤副市長あいさつ
4. 来賓あいさつ(岐阜市仏教会会長 杉山 令憲)
5. 岐阜中央中学 生徒代表による平和への誓い
6. 岐阜中央中学1年生による合唱
7. 来賓、生徒、一般参加者による打鐘

副市長あいさつ (平成24年度)

皆さん、おはようございます。本日は、早朝よりご参加いただきまして、誠にありがとうございます。

本日7月9日は、今から67年前の1945年(昭和20年)に岐阜市が空襲を受けた日にあたります。

岐阜市史によりますと、この空襲において、市街地の約80%が被災し、全戸数の52%にあたる2万戸を超える家屋が焼失、罹災者は全人口の約44%にあたる86,577人、死者863人、負傷者520人にもおよび、岐阜市において、濃尾震災を超える大惨事でありました。

この「平和の鐘」事業は、戦争の悲惨さを後世に語り継ぎ、亡くなられた人々を追悼し、平和への決意を深めるために、平成2年から実施し、今年で23回目を迎えます。

この事業には、毎年、時鐘楼の鐘の音が聞こえる近くの中学校の皆さんに参加していただいております。今年は、岐阜中央中学校1年生130名の皆さんに参加いただきました。ありがとうございます。

先ほども、岐阜空襲の体験者の若原さんから、当時の状況を話していただきましたが、今も地球上では、紛争が絶えることはなく、子どもを含む罪のない多くの人々が犠牲となっております。戦争を知らない若い世代に、このような体験談から戦争の悲惨さをより身近な出来事として知ってもらい、平和の大切さをもう一度、考えていただくことが、世界の恒久平和につながるものだと思います。

本日は、岐阜市仏教会様などのご協力によりまして、市内の寺院等約130箇所、一斉に市民の皆様によって平和の鐘を鳴らしていただいております。

現在、市長が岐阜市の姉妹都市であるサンダーベイ市を訪問しておりますが、7月7日に現地で「平和の鐘」の式典に出席しまして、鐘を鳴らしました。そのほか、フィレンツェ市、ウィーン市マイドリング区、カンピーナス市及びシンシナティ市におきましても、この事業にご賛同いただき、世界の平和を願い、鐘を鳴らしていただいております。ここにお集まりの皆さんにも、平和の意義を今一度考えていただき、恒久平和を願う鐘の音が世界へ届くよう願いを込めて、この後、平和の鐘を打ち鳴らしていただきたいと思います。最後になりましたが、早朝からお集まりいただきました皆様方に感謝申し上げ、私の挨拶といたします。

岐阜副市長 藤澤 滋人

2 萬靈供養塔・戦災者慰霊墓地



基本情報

所 在： 上加納山墓地
 住 所： 岐阜県岐阜市上加納山4717-4
 (JR岐阜駅、名古屋鉄道 名鉄岐阜駅より 岐阜バス「上加納墓地前」 徒歩5分)
 連絡先： 岐阜市仏教会 058-266-7803
 建 立 者： 岐阜市仏教会
 建 立 年： 昭和23年7月9日

碑 文

【萬靈供養塔・表】

萬靈供養塔

【萬靈供養塔・裏】

夫れ生者必滅會者定離とは寔に大聖釋尊佛陀の金言なり其の別れゆくや恩愛の絆固きも以て繋ぐに由なく思慕の情密なるも以て留むるに道なし若し夫れ深夜万籟寂として聲なき□□□の昭和二十年七月九日夜の天空襲に遭うて悲慘の横死を遂げ跡げ弔ふ人もなく無縁佛になりて此の墓地に葬られし三百八十七人の人々を憶へば惻隱の情油然として湧くなるべく又天寿を全うし得ずして戦争の犠牲となり或は外地引揚途上にて鬼藉に入りし人々のことを思ひ来らば慟天哭地の念禁る能はざるべしいまや終戦三年主権在民の憲章成り平和國家の基礎定まれるも是等の尊き人柱のありて新國家は固く歩を進め新憲法は強く輝を増すと云ふべきか茲に岐阜市佛教會發願して全市民各位の喜捨に依り此の萬靈供養塔を建立して永遠に之を追善回向し併せて今後有縁無縁の靈をも願によりて納骨し菩提を□□たらしむもの也是れ洵に佛心大慈の下自他法界平等利益の實を承くるもの乎 銘に曰く 岐山之下 釋尊未躬 回向發願 精進不空 藍川之流 應聲和尚 萬靈巨塔 屹聳蒼穹 戦争犠牲 外地忠雄 有無俱攝 普納斯中 廣大佛德 内外玲瓏 存亡齋利 法界圓融 昭和二十三年七月九日開眼供養之日 岐阜市佛教會長等白龍謹んで撰じ併に書す 同會顧問瑞龍寺滴翠軒正面を書す

【戦災者慰霊墓地】

安心立命

3 萬靈供養塔法要



開催概要 (平成24年度)

歳 事 名： 萬靈供養塔法要
 会 場： 上加納山墓地 萬靈供養塔、戦災者慰霊墓地前
 (JR岐阜駅、名古屋鉄道 名鉄岐阜駅より 岐阜バス「上加納墓地前」 徒歩5分)
 日 時： 平成24年7月9日(月) ※例年7月9日開催
 参列者数： 約30人
 連絡先： 岐阜市仏教会 058-266-7803

式次第 (平成24年度)

【萬靈供養塔前】

1. 読 經
2. 焼 香

【戦災者慰霊墓地前】

1. 読 經
2. 焼 香

式 辞 (平成24年度)

なし

4 戦災死没者之慰霊碑



基本情報

所在：護国霊苑
 住所：岐阜県大垣市笠木町283-1ほか
 (養老鉄道 北大垣駅 徒歩3分)
 連絡先：大垣市戦災遺族会 0584-91-3639
 建立者：市戦災死没者遺族会
 建立年：昭和43年7月28日

碑文

【表】

戦災
戦災死没者之慰霊碑

【裏】

碑銘

太平洋戦終結迫る昭和二十年七月わが大垣市は三度に亘る空爆によって焦土と化し幾多の市民が郷土防衛中或は何等の防備なくして非業の死を遂げ又他都市に於ても多数の住民が戦災死した事は誠に感慨無量なるものがあります これらの御霊を祀るこの碑は県市当局の助成と市民の浄財並びに遺族の志納によって昭和四十三年七月二十八日の記念すべき日に落成開眼しました

噫戦後全く忘れ去られていたこれらの御霊はここに安んじて永遠の眠りにつく事を得ました 願わくば今後はこの縁によって日本全土の眞の平和を護持し国勢の進展を切に望む不滅のあかしとなり隣接する戦死者の碑と共に水都大垣の守護として泉光をたれたまわんことその御冥福を祈り謹んで建碑の趣意といたします

題字 大垣市長山本庄一
 協賛 岐阜県 大垣市
 市戦災死没者遺族会建之

5 大垣市戦災遺族会追悼式



開催概要 (平成24年度)

歳事名：大垣市戦災遺族会追悼式
 会場：護国霊苑
 (養老鉄道 北大垣駅 徒歩3分)
 日時：平成24年7月29日(日) ※例年7月最終日曜日開催
 参加者数：約30人
 連絡先：大垣市戦災遺族会 0584-91-3639

式次第 (平成24年度)

- | | |
|----------|--------|
| 一、開式の辞 | 一、来賓紹介 |
| 一、国歌斉唱 | 一、献花辞 |
| 一、黙とう | 一、謝辞 |
| 一、会長式辞 | 一、閉会の辞 |
| 一、来賓追悼の辞 | |

式辞 (平成24年度)

戦後六十数年 昭和二十年八月十五日から経過したあの戦争は何だったのか、太平洋戦争はだんだん我々の心から風化していくのではないかと、現在戦災遺族会は毎年その空襲記念日には慰霊祭とか追悼式という毎年勤めているのが実情であります。今年もご多忙のところお出でいただいたご来賓、遺族会の皆様、ありがとうございます。

あの当時、私たちは学徒動員によって四日市市塩浜町にあった第二海軍燃料廠へ出動した。私は岐阜師範学校技本二年満十九歳、徴兵検査年齢を下げて、その検査に合格していたが教員養成の学校であるということで入学延期の扱いを受けて勉強中であつた。しかし燃料廠は文字通り海軍の直轄工場であつたので内部の詳細については軍機秘であつたので何もわからず、ただ大手建設業者大林組の仕事で、官、民、学生一帯となつた突貫土木工事であつた。私も学生は現在のように仕器も殆どなくスツップを手手に汗だくの大規模な工事であつた。私も工場の隣にあった海軍寮の宿舎に泊り毎日の生活も海軍寮の指揮下に入り朝晩の点呼をはじめ軍隊のように厳格な規律ある生活であつた。か論学生であるので学校からは多くの先生たちが交代で指導していただいたことも、夜は学生の本分である学習をしたことも覚えていた。しかし昼間の過酷な労働により、へとへととなり、すぐに寝込んでしまうことも多々あつた。食事も食券制度で若い我々には必ずしも充分ではなかつた。

次に、東海地方に地震と本格的空襲がはじまつた。しかし、十二月七日だつたと思つている。本土空襲も毎日に激しさを増す頃だつた。

「いよいよ明日は大空襲日、開戦記念日である。来軍機秘に東海地方の軍需工場がひびく四日市を含む中京工業地帯は必死である。建設中で資材が散乱しているが明日は見えぬ最後を迎えるため周辺を整理してきれいな最後を迎えたい」という現場長からの指示があつた。明日は準備が完了したかと思つたが、機密が暴露されて破棄されるかもしれないのである。大きなパイプ、材料の屑、陶器、大釜なども直径五センチ、一メートルの円筒、そんなものが東へゴロゴロ、西へゴロゴロ、何十キロ、中には何百キロ、その下敷きになつたら一発でおしまひ取り扱つた器具一瞬にしてくずれ去つたのです。尾鷲の方では津波もあり被害は大きかつたようですが、戦争中のごとく発表はひかえられたようでした。あくる二十年一月中旬にも三河地震が夜半におき、更に追ううちをかけたようでした。

私どもの大垣市は大空襲五十年記念誌戦災年表の記録では、昭和二十年三月二日に初空襲を受け、第二回日は六月二十六日、続いて第三回目は七月十二日から十三日、第四回日七月二十四日、続いて二十八日から二十九日の大空襲で大垣市は焼野原になつてしまつたようです。当時、私は前橋陸軍予備士官学校で特別訓練を受けておりました。大垣の空襲を知らず前橋の八月五日の空襲はどうだったのか今でも目の前へ浮かんできます。特に東海地方は空襲の他に戦艦攻撃、戦艦攻撃による機銃掃射を低空で受けたこともありました。六月二十五日には神島に地上戦は終り次は首領艦の上陸作戦がくるのではないかとこの時期になつていようでした。毎日夜間に兵器の運搬など軍馬を出(後名山中)へ移動など決戦に具えていたようです。八月十五日は午前中の訓練、兵器の移動作業を終つて中隊へ帰つたら玉音放送中だつたのを見ておられます。その間でも戦争に勝てるのかと思つて毎日でした。あの苦しかった毎日、東京では三月十日の夜の空襲で十万人もの人が犠牲になつたということ。太平洋戦争の総括なくしてどうして平和が語れるのだろうか？

また、われわれ日本は何を反省すればいいのか。六十数万人の犠牲といわれている戦災犠牲者のみたまのため慰霊とおそれたことと言うが追悼の式典だけでよいのかということです。今尚、この世界中にはあちこちで争われている戦争、これらを含めて考えなければならぬといそれが我々に与えられた使命であると考え本日の式典の式辞と致します。

平成二十四年七月二十九日
 大垣市戦災遺族会長 岩田 一夫

6 戦没者・戦災死没者追悼式



※写真提供 大垣市

開催概要 (平成24年度)

歳事名：戦没者・戦災死没者追悼式

会場：護国霊苑

(養老鉄道 北大垣駅 徒歩3分)

日時：平成24年8月15日(水) ※例年8月15日開催

参列者数：600人

連絡先：大垣市 かがやきライフ推進部 まちづくり推進課 0584-81-4111 (代表)

式次第 (平成24年度)

1. 開式のことば
2. 黙と
3. 主催者式辞
4. 来賓追悼のことば
5. 主催者献花
6. 来賓献花
7. 一般献花
8. 謝辞
9. 閉式のことば

式辞 (平成24年度)

本日ここに、ご来賓、ご遺族の皆様方にご参列を賜り、戦没者ならびに戦災死没者の追悼式を執り行うにあたり、謹んで追悼の誠を捧げます。

先の大戦において、ひたすら祖国の繁栄と勝利を信じて尊い命を捧げられました、多くの御霊を思うとき、私たち日本国民にとりまして、永遠に忘れることができない、深い悲しみであります。

御霊の主な戦没地域は、墓碑銘により、フィリピン、レイテ、マリアナ諸島、サイパン、中国全域、ソロモン群島、ガダルカナル、沖縄、硫黄島、ビルマ、インパール、モンゴル、ノモンハンなどであります。

加えて、B29による大垣空襲の犠牲者が含まれ、まさに、先の大戦は、わが郷土大垣にも大きな惨禍を残しました。

最愛の肉親を失われたご遺族様の悲しみと追慕の念に思いを致すとき、万感胸に迫るものがございます。

67年前の今日、蟬時雨が鳴きしきる正午、途切れ途切れの玉音放送により、私たちは戦争の終結を知りました。往時に思いを巡らせば、苦難と悲しみが昨日のこのようによみがえってまいります。

あれから60有余年がたち、悲惨な戦争の歴史を刻んだ本市も、先人の皆様のたゆめぬ努力が実を結んで復興を果たし、今や中部圏有数の産業文化都市として発展してまいりました。

世界に目を向けますと、先日開催されたロンドンオリンピックでは、各国の選手がスポーツを通して競い合い切磋琢磨し、感動と人間の可能性を世界中の人々が共有し感じることができました。

こうした平和と繁栄も戦火の中で散華された多くの尊い犠牲の上に成り立っていることを決して忘れてはなりません。

私たちは、悲惨な戦争への教訓を風化させることなく、あの悲しい歴史を繰り返さないよう決意を新たにするとともに、平和への不断の努力と、住民が力を合わせて安全で住みよい地域社会づくりに邁進することをお誓い申し上げます。

終わりにあたり謹んで御霊のご冥福とご遺族様ならびに参列者皆様のご健勝、ご多幸を心からお祈り申し上げ、式辞といたします。

平成二十四年八月十五日

大垣市連合自治会連絡協議会会長 國枝 義晃

7 慰霊碑



基本情報

所在：八幡神社跡 神置公民館 南
住所：岐阜県各務原市神置町3
(名古屋鉄道 新那加駅より ふれあいバス「神置南」下車 徒歩2分)
連絡先：不明
建立者：不明
建立年：昭和39年4月

碑文

【表】

慰霊碑

【裏】

昭和三十九年四月建之

【裏下】

第二次世界大戦
戦没者俗名
八幡神社氏子
(故人名)

8 平和之塔



基本情報

所 在：各務原 市民会館・文化ホール
住 所：岐阜県各務原市蘇原中央町2-1-8
(名古屋鉄道 三柿野駅より 岐阜バス「各務原市民会館前」下車 すぐ)
連絡先：個人であり記載せず
建 立 者：各務原市戦災遺族会
建 立 年：昭和55年12月

碑 文

平和之塔

武藤 嘉文書

説 明 文

【左】

各務野に 平和の塔や 春霞

京寿

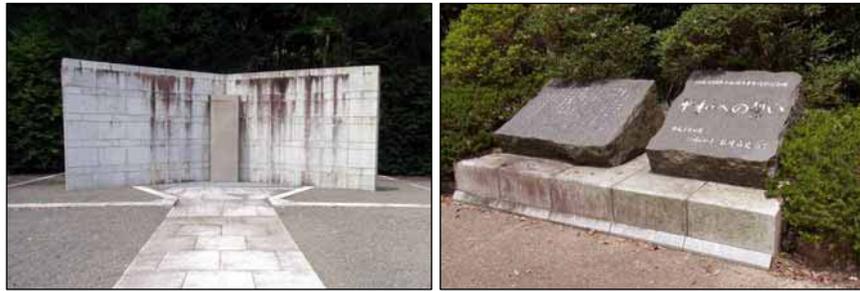
【右】

平和の塔建立の記

かの苛烈なる太平洋戦争は昭和二十年八月十五日
我が日本の無条件降伏によって終熄し 大日本帝国
は二千有余年の歴史に一つの変化を産み昭和二十七年
四月二十八日サンフランシスコにおける平和条約によって新生
日本の出発を見るに至りました
いわば焼土の中に甦った 我が日本はまさに不死鳥
の再生のごとく羽ばたいていたのでありますしかして我々は
此の歴史の移り変りに対して正しい姿勢を持ち
子々孫々に至るまで平和を願ふ教訓とせねばならない
しかし乍ら戦後日本政府は軍人軍属に対して
の慶弔と遺族に対する慰藉の方途ば講じたが身に
寸鉄を帯びない国民の犠牲に対する措置としては今日
なを顧り見ることが忘れがちの中に於いてわれ
は数多い犠牲の上に今日の繁栄が築かれたのであることを
認識しこの犠牲に対する戦災の記録をかかつての
空襲において最も多くの犠牲者を出した此の地に
塔を建立し戦災犠牲者名を列記して其の当時を
回顧しつゝ、日本の遠々の平和と繁栄を祈念し永く
後世に此の意を伝えんことを希うものである

静岡県

1 静岡県戦没戦災死者慰霊標



基本情報

所在地：静岡県護国神社内
 住所：静岡県静岡市葵区柚木363
 (静岡鉄道 柚木駅 徒歩5分)
 連絡先：静霊奉賛会 054-263-0148
 建立者：静霊奉賛会
 建立年：昭和27年11月3日

碑文

【裏】

竣工 昭和二十七年十一月三日
 施主 財団法人静霊奉賛会長
 静岡縣知事 齊藤壽夫
 設計 田中忠雄建築事務所
 施工 平井工業株式会社

説明文

【左】

この霊域は明治維新以来太平洋戦争に至る間に国のために命を捧げたもの及び戦禍のために倒れた人々の霊を慰めるために遺芳を後世に伝えるために県民の総意によって構想せられたものである
 こゝに戦争によるあらゆる思出を取めこれに参するものに新たな愛國の精神を振り起させ平和と日本興隆の象徴とした念願である

昭和二十七年十一月三日
 財団法人 静霊奉賛会長
 静岡縣知事 齊藤寿夫誌

【右】

終戦50周年平和祈念事業改修記念碑

平和への誓い

平成7年4月
 静岡県知事 石川嘉延謹書

2 静岡県戦没戦災死者春季追悼式



※写真提供 静岡県

開催概要 (平成24年度)

歳事名：静岡県戦没戦災死者春季追悼式
 会場：静岡県戦没戦災死者慰霊標前 (静岡県護国神社内)
 (静岡鉄道 柚木駅 徒歩5分)
 日時：平成24年4月26日(木) ※例年4月下旬開催
 参加者数：約1,200人
 連絡先：静岡県健康福祉部 福祉長寿局 長寿政策課 054-221-3625 (直通)

式次第 (平成24年度)

1. 一同着席
2. 開式のことば
3. 国歌斉唱
4. 黙祷
5. 式辞：静霊奉賛会々長 [静岡県知事 川勝平太]
6. 追悼のことば：静岡県会議議長、市長、町長代表 (島田市長)、戦没遺族代表、戦災遺族代表
7. 献花拝礼
8. 電文等奉納の報告
9. 謝辞：静岡県遺族会長
10. 閉式のことば

式辞 (平成24年度)

本日、ここに、御遺族の皆様をはじめ、御来賓の方々多数のご参列をいただき、平成24年度静岡県戦没戦災死者春季追悼式を執り行うに当たり、謹んで追悼の言葉を申し上げます。
 苛烈を極めた先の大戦においては、多くの本県出身の方が祖国の安泰と発展を願い、愛する家族の身を案じつつ戦地に倒れ、あるいは戦後、遠く離れた異郷の地において、無念の死を遂げられました。また、不運にも戦災に遭い、お亡くなりになられた方々も多数おられます。
 ここに、戦争により亡くなられた方々の御冥福をお祈り申し上げますとともに、最愛の肉親を失われた悲しみに耐えて、戦後の苦難の時を乗り越え、我が国の復興と発展に御尽力くださいました御遺族の皆様に対し、深く敬意を表します。
 戦後、我が国は不戦の誓いの下、国民一人ひとりの不断の努力により、世界に類を見ない程の急速な発展を遂げ、平和国家の道を歩んでおります。しかしながら、今日の平和と繁栄の礎となられた方々への想いは、歳月の流れとともに薄らぎつつあります。今後二度とあの惨禍を繰り返さず、今日の平和をより確固たるものとするため、我々は先の大戦における悲惨な経験を後世へ着実に語り継いでいかなければなりません。
 本日、この式典に臨み、戦争により尊い命を失われた多くの方々への思いを新たに、県政に携わる者といたしまして、誰もが安心して暮らすことのできる「富国徳の理想郷“ふじのくに”」の実現に向けて邁進してまいりますことを、ここにお誓い申し上げます。
 結びに、御霊のとこしえにやすらかならんとことをお祈りし、御遺族の皆様への御平安を祈念いたしまして、式辞といたします。

平成24年4月26日
 財団法人 静霊奉賛会
 会長 静岡県知事 川勝平太

3 静岡市戦禍犠牲者慰霊塔



基本情報

所在：賤機山山頂 浅間山観音広場
 住所：静岡県静岡市葵区宮ヶ崎町 賤機山山頂
 (JR静岡駅より しずてつジャストライン「赤鳥居」下車 徒歩30分)
 連絡先：個人であり記載せず
 建立者：観音像建立協賛後援会
 建立年：昭和44年12月

碑文

静岡市戦禍犠牲者慰霊塔
 六鵬玄和薫沐齋戒誦書

説明文

救世観音菩薩縁起
 吾が静岡市は昭和十九年十一月五日南太平洋マリヤナ基地よりB29一機本市上空に初めて侵入してより昭和廿年八月十五日終戦に至る迄殆んど連日の如く侵襲し特に本市上空は京浜都市及び中京都市爆撃の経路として空襲警報発令極めて烈しく其の為市民は心身共に恐怖と疲労に陥り且戦時体制下に於ける生産活動能力は頗ぶる低下を来たしその間に受けた被害は非常に大なるものがありました 静岡市の受けた空襲による被害は被爆回数十二回死者一、八一三名重傷者八三〇名全半壊建物一四八戸焼失建物二五、二三九戸罹災者一八、七四六名の多きに上り特に昭和廿年六月十九日夜半過ぎよりB29の大挙来襲により受けた空襲により全市が壊滅状態となりました 其の状況はB29百機零時五十分から三時四十分に至る約三時間単機及数機にて波状的に飛来し大型小型の焼夷弾を無数に投下し密度の高い絨毯爆撃を行った次第であります 其の被害状況は罹災世帯数二四、四五九罹災者一〇、〇四六名死者一、六六九名重傷者八〇〇余名其の後重傷者中死亡した者多数に及びましたなお本市は去る昭和十五年一月十五日の大火に罹り全市の大半を焼失しましたが犠牲者は僅か一名の死亡に止りました 然るに今次の戦禍の如何に凄惨たる事は想像の知悉する處であります 戦災者は永年の家産と貴き人命を一朝に失ひ其の惨状は筆舌に盡す事は出来ません 雨後の如く降り注ぐ焼夷弾の中を老人子供或は病人等の罪もない非戦士も逃げ惑い夫は妻を擁抱し妻は吾子を護り阿鼻叫喚宛ら地獄絵巻其の儘であります 私には比のような多数の犠牲者に対し眞に御気の毒にたえません 然も一家全滅の憂目をみられ祭祠の出来ない数多くの方が有る事を知りまして御慰霊追悼申し上げると同時に人類生存上再度様様な大災は構不成しない様願致しました猶其他内地外地に非戦士が千数百人の多数の戦禍のため犠牲となられたも國家社会は年月の去ると全事に忘れられて行く状態は御霊と御遺族の心境に対し眞に同情に堪え兼ねるので合嗣させて戴き全市民の皆様と共に永久に四恩報謝の誠意を捧げたいのであります 時至りまして元市会議員団市連合町内会婦人団その他諸団各各位のご協力と御援助を蒙りまして静岡市随一の名勝地賤機山の聖地に安置されて有縁無縁の衆生の菩提を濟慶し慈眼を以て衆生を視たまひ福聚圓滿なる御安と観音妙智力の功徳により御霊の冥福と共に静岡市民の安泰と子孫繁栄度ては世界人類の平和と幸福を念願いたします 謹誌 菅藤福松
 昭和四十四年十二月吉日
 西曆一九六九年 建之 書刻 横井石堂

4 静岡空襲犠牲者日米合同慰霊祭



※写真提供 菅野寛也

開催概要 (平成24年度)

歳事名：静岡空襲犠牲者日米合同慰霊祭
 会場：静岡市葵区 賤機山山頂
 (JR静岡駅より しずてつジャストライン「赤鳥居」下車 徒歩30分)
 日時：平成24年6月16日(土) ※例年6月19日に近い土曜日開催
 参加者数：約250人
 連絡先：個人であり記載せず

式次第 (平成24年度)

- 黙祷
- 主催者挨拶：菅野寛也
- 米国大使メッセージ
- 静岡市戦災遺族会監事挨拶
- 在日米軍横田基地第374運用群司令官挨拶
- 自衛隊静岡地方協力本部長挨拶
- 静岡市 田辺信宏市長メッセージ
- 献花：日米(同時)
- 静岡市静岡仏教界会長挨拶：欽昌院住職
- 献酒 ①日本側献酒(静岡市戦禍犠牲者慰霊塔へ)
- ②米国側バーボン献酒(B29墜落搭乗者慰霊碑へ)
- 祈祷 横田基地第374空輸航空団 米空軍牧師
- 鎮魂ラッパ 閉式の辞

挨拶 (平成24年度)

雨天時にも拘わらず、平成24年の日米合同慰霊祭の為に、此の山頂にご参集くださりまして、有難う御座います。私は、昭和47年から、故 伊東福松さんの意思を引き継いで、此の慰霊祭を主催して参りましたが、今年で40年目となり、日米親善の一助となりつつある事に感謝いたします。家内と私は、昨年12月に開戦70周年の真珠湾の式典に参列しました。12月7日に Arizona Visitors Center で開催された Ceremony には、5千名以上のアメリカ人が参列しましたが、日本人は私と妻の2人だけでした。H a y s 提督のご尽力により、ARIZONA MEMORIAL のデッキでご一緒にB29搭乗員遺品の水筒の中に入れていた Bourbon Whisky で献酒を行いました。参列された多数のアメリカ人にも、慰霊の意思が伝えられたと確信しています。更に、戦艦 Missouri で、Mike 艦長と同様の献酒を行い、両国犠牲者のご冥福を祈って来ました。昭和20年4月11日 神風特別特攻隊の1機の零戦がアメリカ戦艦 MISSOURI に体当たりしました。後部第3砲塔付近、右舷に、激突した窪みがあり、近くの後甲板に、小さな Monument があります。零戦突入後、消火作業をしていた MISSOURI の搭乗員は残骸の中に零戦の搭乗員の遺体を見つめました。戦闘中であるにも拘わらず、キャラハン艦長の命令で、遺体は丁寧に運び出され乗組員手製の日本海軍の軍艦旗に包まれて、翌日艦かに、水葬されました。此の事を聞いて、私は深い感動に包まれました。B29の慰霊碑を建立された伊藤福松さんと、キャラハン艦長の行為は、全く同一の、人道的な、素晴らしい行為であると信じます。世界平和の為に、日米両国の友好親善関係が一番大事だと思います。私は、国家間の相互理解、友好関係を築く事は、多くの、Trouble を避けることとなると信じています。私達の慰霊祭が、世界平和の第一歩となる事を祈っています。ご参列の皆様は、神仏のご加護があります様に祈念し、改めてお礼申し上げます。

平成24年6月16日 菅野 寛也

※補足：昭和47年より続けてきました。かつての敵どうしてあった両国の犠牲者の慰霊祭により関係者は「昨日の敵は、今日の友」となっている。「憎しみを消去することは出来ない」この慰霊祭の輪が年々広がってきているが、世界平和の第一歩となるように折っている。

5 戦争犠牲者追悼碑



基本情報

所 在： 駿府城公園
 住 所： 静岡県静岡市葵区駿府城公園
 (JR静岡駅、静岡鉄道 新静岡駅 徒歩10分)
 連絡先： 静岡市 生活文化局 市民生活部 市民生活課 054-221-1265 (直通)
 建 立 者： 静岡市
 建 立 年： 平成7年8月15日

※一般戦災死没者を含む

碑 文

戦争犠牲者追悼碑

静岡市は太平洋戦争により昭和十九年(一九四四)十二月七日から二十年八月一日までの間に十六回にわたり米軍機による空襲を受けましたとりわけ昭和二十年六月十九日深夜から二十日未明にかけてB29爆撃機百二十三機による大空襲を受け市内のほとんどが焦土と化しましたこれらの空襲により静岡市民二千余人の尊い人命と貴重な財産が失われましたまたひたすら祖国の安泰と家族の幸せを念じつつ幾多の戦場に散った静岡市出身の軍人軍属等七千九百余人の尊い犠牲も生じました私たち静岡市民はこのような悲惨な戦争を拒否し日本国憲法の示す精神を体して昭和三十五年(一九六〇)三月二十五日静岡市平和都市宣言をして永遠の平和を誓いましたいま終戦五十周年(一九九五)を迎えるに当たり市民の血のにじむような努力により復興した県都静岡の市民憩いの地に戦争のむなしさを永く記憶にとどめ多くの犠牲者を追悼するとともに世界の恒久平和を祈念してこの碑を建立しました

平成七年八月十五日
 静岡市長 小嶋善吉

【母子像】

とこしえ

静岡市戦災被爆地区

静岡市空襲被害概況

空襲期間	昭和19年12月7日～昭和20年8月1日
空襲回数	16回
大空襲	
期 日	昭和20年6月19日深夜から20日未明
襲 来 機	米軍ボーイングB29爆撃機123機
投下焼夷弾数	13,200余発
死 亡 者	2,000余人
行方不明者	50余人
罹 災 家 屋	26,700余戸
罹 災 者	118,700余人
	出典 静岡市空襲の記録(静岡市空襲を記録する会編)

6 静岡市戦没戦災等戦争犠牲者追悼式



※写真提供 静岡市

開催概要 (平成24年度)

歳事名：静岡市戦没戦災等戦争犠牲者追悼式
 会場：静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ
 (JR東静岡駅 徒歩3分)
 日時：平成24年8月15日(水) ※例年8月15日開催
 参列者数：578人
 連絡先：静岡市 生活文化局 市民生活部 市民生活課 054-221-1265 (直通)

式次第 (平成24年度)

1. 開会のことば：静霊奉賛会静岡市支部理事
2. 国家斉唱
3. 黙とう
4. 式辞：静霊奉賛会静岡市支部長(静岡市長)
5. 追悼の辞：静岡県知事、静岡市議会議長、静岡市静岡遺族会会長、静岡市蒲原遺族会会長
6. 献花
7. 閉会のことば：静霊奉賛会静岡市支部理事

式辞 (平成24年度)

本日ここに、ご遺族の皆様をはじめ、ご来賓の方々多数のご参列のもとに、静岡市戦没戦災等戦争犠牲者の追悼式を挙行するにあたり、静岡市民を代表して、戦争犠牲者の御霊に対し、謹んで追悼のことばを捧げます。

先の大戦で、国難に殉じ数多くの方々が国の内外において散華されたことは、私たち日本国民にとって永遠に忘れてはならない深い悲しみであり、痛恨の極みとするところであります。

最愛の肉親を犠牲に捧げられたご遺族の皆様方のご心情を拝察するとき、お慰めの言葉もございません。

一家の支柱を失い、戦後の厳しい社会情勢の中で長い間、幾多の苦難に耐えながら、立派に子弟を養育し、また家業に精励してこられた、その並々ならないご努力に対し衷心より敬意を表する次第であります。

今日のわが国は、民主的平和国家として、文化的にも経済的にも恵まれ世界の先進国としての地位を確立するまでに発展いたしました。

その中であって本市は政治・経済・教育・文化・情報などにおいて静岡県の中心的都市として、また政令指定都市として飛躍的な発展を遂げつつ、今日に至っております。

これも偏に戦争犠牲者各位の尊いご加護と、ご遺族の皆様方から寄せられたご支援ご協力の賜と感謝するところであります。

戦争終結から既に六十七年の歳月が流れ、戦争の悲惨さや苦しみを知らない世代が国民の八割を占める時代になりました。今私たちは平和で自由な生活を当然のごとく享受しておりますが、このことは「昭和」という激動の時代と引き換えに得られた幸せであると申し上げても過言ではないと存じます。

昨年三月十一日、東日本震災により尊い命が奪われ廃墟と化した街並、一年五か月の時が経過し復興の兆しも見えて来るものの、失った尊い命は還りません。震災により一瞬にして奪われ、残された家族の思いに、戦争で失った命を重ね合わせ深い悲しみが胸に迫ります。

いまだ世界各地で地域紛争やテロが続く中、「平和」への思いを身をもって感ずる次第であります。

私たちは、悲惨な戦争の教訓を風化させることなく次世代に継承すると共に、平和の尊さを訴え続けていかなければなりません。

本市では、政令指定都市としてのまちづくりに邁進しておりますが、長年にわたって培われてきた歴史と文化そして恵まれた自然環境など、貴重な財産を活かす「心豊かに安心して暮らせるまち」の実現に向け、更に精進を重ね最善の努力を傾注することをここにお誓い申し上げます。

結びにあたり、戦争犠牲者各位の御霊がとこしえに安らかならんことをお祈りするとともに、いつまでも、わが郷土の繁栄と平和を見守り給うことを念じ、併せてご遺族の皆様のご多幸を祈念いたしまして、式辞といたします。

平成24年8月15日
 財団法人 静霊奉賛会静岡市支部長
 静岡市長 田辺 信宏

7 清水市忠霊塔・平和祈念碑



基本情報

所 在：清水忠霊塔公園
住 所：静岡県静岡市清水区迎山町2081-1
(JR清水駅より しずてつジャストライン「忠霊塔前」下車 徒歩2分)
連絡先：静岡市 生活文化局 市民生活部 市民生活課 054-221-1265 (直通)
建 立 者：清水市 (現 静岡市)
建 立 年：昭和34年3月

※一般戦災死没者を含む

碑 文

清水市忠霊塔

西南の役より大東
亜戦争に至る戦没
並びに戦災殉難者
の霊を慰めるため
市民各層の協賛を
得て昭和三十三年
十一月これを建つ

清 水 市 長
鈴木平一郎

【表】

平和祈念碑

【裏】

すぐる太平洋戦争では多くの市民が戦地で
あるいは空襲により傷つき犠牲となりました
昭和二十年八月十五日の終戦から五十年こ
れら多くの御霊にあらためて深く思いをいた
し不戦の誓いを新たにすることで世界恒久の
平和を祈念するものであります

平成七年八月十五日
清水市長 宮城島 弘正

8 浜松市戦災被爆者慰霊碑



基本情報

所在地：浜松城公園
住所：静岡県浜松市中区元城町100-2
連絡先：浜松市戦災遺族会 053-457-2495
建立者：浜松市戦災被爆者慰霊記念碑建設委員会
建立年：昭和54年3月21日

碑文

Table with 3 columns: [表] (Front), [裏上] (Back Top), [裏中] (Back Middle). Contains text about the memorial and a list of victims.

9 浜松市戦没戦災死者平和祈念追悼式



※写真提供 浜松市戦災遺族会

開催概要 (平成24年度)

歳事名：浜松市戦没戦災死者平和祈念追悼式
会場：浜松城公園 浜松市戦災被爆者慰霊碑前
日時：平成24年6月18日(月) ※例年6月18日開催
参加者数：約200人
連絡先：浜松市戦災遺族会 053-457-2495

式次第 (平成24年度)

- 1. 開式のことば：浜松市戦災遺族会 副会長
2. 国歌斉唱
3. 黙 祷
4. 平和の祈り：浜松市立中部中学校 代表
5. 主催者式辞：浜松市戦災遺族会 会長
6. 慰霊のことば：浜松市長、静霊奉賛会浜松支部長
7. 来賓紹介
8. 献 花
9. 閉式のことば：浜松市戦災遺族会 副会長

式 辞 (平成24年度)

本日、ここ浜松城公園内戦災被爆者慰霊碑前において、「浜松市戦災死者慰霊祭」が厳粛に執り行われるにあたり、浜松市戦災遺族会を代表し、尊い生命を捧げられた多数の戦没・戦災死者の御霊に対し、謹んで慰霊のことばを申し上げます。
昭和十六年六月十八日の戦況は、戦況は逆転し同二十年八月十五日遂に降伏のやむなきに至った、この間浜松市は三十回余りに及ぶ空爆艦砲射撃を受け市の大半が廃墟と化し死傷者も八千人を超えた特に昭和二十年六月十八日の敵機による焼夷弾投下は熾烈を極め市の中心部は一瞬にして紅蓮の炎に包まれた恐怖の一夜が明けて死を免れた人々が肉親を求めて彷徨いあはれあかたも無いわが家の跡を茫然と眺める悲惨な姿は言語に絶するものであった、しかし戦争が終わつてすでに三十四年前をはるかに越える豊かで平和な暮しは人々をしてその念頭から死の街と化した郷土の惨状や往時の苦難やまた戦災死者の方々への痛恨の情を日ごとに稀薄なものにしていく、かかる時市民の間からこれを何らかのちかたで後世に遺そうとの議が興り市界の方々からも深いご理解による浄財が寄せられここに浜松市戦災被爆者慰霊碑を建立して悲惨な戦争の絶滅を期し三千有余名の戦災死者のご冥福と世界の恒久平和を祈念するものである

平成二十四年六月十八日
浜松市戦災遺族会 会長 藤田 末夫

10 「戦没者を追悼し平和を祈念する日」の式典



開催概要 (平成24年度)

歳事名：「戦没者を追悼し平和を祈念する日」の式典 ※一般戦災死没者を含む
 会場：沼津市民文化センター 小ホール
 (JR沼津駅 徒歩15分)
 日時：平成24年8月15日(水) ※例年8月15日開催
 参列者数：500人
 連絡先：沼津市 社会福祉課 055-934-4824 (直通)

式次第 (平成24年度)

1. 開式のことば
2. 国歌 斉唱
3. 一同 礼
4. 式辞：沼津市長
5. 黙 禱 (テレビ中継)
6. 天皇陛下のおことば (テレビ中継)
7. 献 花：遺族代表
8. 追悼の辞：静岡県知事、沼津市議会議長、遺族代表
9. 閉式のことば

式 辞 (平成24年度)

本日ここに戦没者・戦災死者のご遺族、ご来賓、並びに市民の皆様の多数のご参列のもと、平成24年度「戦没者を追悼し平和を祈念する日」の式典を挙行するにあたり、戦没者並びに戦災死者の御霊前に謹んで哀悼の意を捧げます。

先の大戦が終結してから、67年の歳月が過ぎ、さらに今年は我が国がサンフランシスコ平和条約を受け入れ、国際社会への復帰の第一歩を踏み出してから60年目の節目にあたります。

戦後、我が国は幾多の困難を乗り越え、目覚ましい発展を遂げて参りました。敗戦の悲しみに耐えながらも、懸命に社会の発展に尽くしてこられました諸先輩方の御功績を顧みますと、その忍耐とご努力に対し、心から敬意を表する次第でございます。

今日の平和と繁栄が、先の大戦の尊い犠牲の上に築かれたものであることに改めて思いを致し、その事をしっかりと後世に伝え、平和な世の中をつかっていくことが、今を生きる私達の責務であると考えます。

結びにあたりまして、心から御霊のご冥福をお祈りすると共に、ご遺族の皆様方のご平安を祈念いたしまして、式辞といたします。

平成24年8月15日
 沼津市長 栗原 裕康

11 平和之礎



基本情報

所在地：扇町公園
 住所：静岡県島田市扇町7-1
 (JR島田駅 徒歩5分)
 連絡先：島田市 総務部 総務課 0547-36-7132 (直通)
 建立者：扇町町内会
 建立年：昭和56年5月

碑文

【表】

平和之礎
 爆撃の
 むごさ正眼に
 するわれら
 訴へ継がん
 平和なる世を

【裏】

被爆犠牲者氏名
 (故人名)
 昭和五十六年五月建立 扇町区

説明文

太平洋戦争終結間近の昭和二十年七月二十六日午前八時四十分頃本土来襲の米軍機から投下された爆弾一発は我が扇町町内に落下炸裂したこれにより即死者三十三名重傷死者十四名、重軽傷者約二百名、潰滅家屋数百戸に及ぶ大惨事を惹起した 仍て茲に碑を建立して犠牲者の冥福を祈り併せて平和の貴さを後世に伝えたい

12 島田空襲被爆者慰霊のつどい



開催概要 (平成24年度)

歳事名：島田空襲被爆者慰霊のつどい
 会場：扇町公園 平和之礎前
 (JR島田駅 徒歩5分)
 日時：平成24年7月26日(木) ※例年7月26日開催
 参加者数：130人
 連絡先：島田市 総務部 総務課 0547-36-7132 (直通)

式次第 (平成24年度)

1. 開式の辞
2. 黙とう
3. 式辞：島田市長
4. 平和への誓い：被災地代表1人、小学生2人
5. 献花
6. コーラス・合唱
7. 閉式の辞

式辞 (平成24年度)

本日ここに、ご遺族各位のご参列のもと、島田空襲被爆者慰霊のつどいを挙げるにあたり市民を代表し謹んで慰霊のことばを申し上げます。
 今からちょうど67年前の7月26日、午前8時30分頃、ここ扇町に一万ポンドの爆弾が投下されました。それは、長崎や広島に投下された原子爆弾の模擬爆弾であったと言われております。この一つの爆弾により、ほんの少し前までいつもと変わらぬ生活を送っていた人々の尊い命が奪われ、多くの住民が負傷いたしました。
 あの日から半世紀以上の長い年月が過ぎましたが、最愛の肉親を失われたご遺族の方々の胸には、今なお変わることのない深い悲しみが残っているのではないかと推察いたします。
 戦争を知らない世代、平和であることを当たり前のように思っている世代が人口の八割近くを占めるに至り、戦争の記憶は風化の一途をたどっております。しかしながら、私たちは、その平和と繁栄の陰に、このような悲惨な出来事があったことを決して忘れてはなりません。
 今ここに在る私たちにできること、やらなくてはならないことは、戦争の悲劇を二度と繰り返すことのないよう、戦争の悲しさを次の世代に語り継ぐことでもあります。この慰霊碑「平和の礎」を、島田市民の平和の原点として、平和の尊さを強く訴えていかなくてはならないと、思いを新たにしているところであります。
 今後とも、島田市民全ての幸福を願い、世界の平和と発展のため、全力を尽くしていくことをここに改めてお誓い申し上げます。
 結びに、犠牲になられた方々の御霊が安らかなることをお祈りするとともに、ご遺族をはじめ本日もご参列の皆様方のご多幸を心より祈念申し上げ、式辞といたします。

平成24年7月26日
 島田市長 桜井 勝郎

13 子どもやくよけ地蔵・慰霊碑



基本情報

所在地：磐田市立磐田北幼稚園 南
住所：静岡県磐田市見付2366-1付近
(JR磐田駅より 遠鉄バス「磐田北小」下車 徒歩1分)
連絡先：磐田市立磐田北小学校 0538-32-6168
建立者：遭難者父兄一同
建立年：子どもやくよけ地蔵…昭和20年5月19日
慰霊碑…昭和21年5月

碑文

【木標・表】

子どもやくよけ地蔵

【木標・右】

昭和二十年五月十九日 見付国民学校（北小）先生と児童遭難の地

【慰霊碑・表】

慰霊碑

【慰霊碑・裏】

昭和二十年五月十九日午前十一時四十分見付国民学校職員児童此地二遭難ス

(故人名)

昭和二十一年五月 遭難者父兄一同建之

14 P T A 戦災被爆者慰霊祭



※写真提供 磐田北小学校

開催概要 (平成24年度)

歳事名：PTA戦災被爆者慰霊祭
会場：被爆者慰霊碑前
(JR磐田駅より 遠鉄バス「磐田北小」下車 徒歩1分)
日時：平成24年5月18日(金) ※例年5月19日開催
参列者数：約70人
連絡先：磐田市立磐田北小学校 0538-32-6168 (代表)

式次第 (平成24年度)

- 1. 開会の言葉
- 2. 仏教会の皆様による御回向
- 3. 児童代表の言葉：御遺族代表
- 4. 御あいさつ：PTA会長
- 5. お礼の言葉
- 6. 閉会の言葉

児童代表の言葉 (平成24年度)

慰霊祭

昭和二十年五月十九日、磐田北小学校に、悲しい出来事がありました。田中小苗先生と小学生二十八人の命がB二十九のこうげきによって一しゅんでうばわれてしまいました。

私は一年生の時に、戦争というおそろしい争いがある事を知りました。そして、とてもこわいなと思いました。田中小苗先生が、亡くられる前に、神様にむかって書いた短歌があります。

「ねがわくは われがちるともかえりみし 子らをたすける力さすけよ」

この短歌は、自分はどうなってもいいから子供達だけは助けてください、という意味のものです。私は田中小苗先生は子供思いのとてもすばらしい先生だと思いました。

私のおばあちゃんは、戦争が終わってから、わずか九日後の昭和二十年八月、二十四日、疎開先のいなかで生まれました。戦後の食料、物資、医療品が不足する中、赤ちゃんを育てるのは大変だったでしょう。ひいおばあちゃんは、自分の食べるもの手に入らないのに、赤ちゃんだったおばあちゃんのために少しでもミルクやおむつが手に入るよう苦労したそうです。今、私がいるのは、ひいおばあちゃんが戦争を乗り越え、おばあちゃんを生み、育ててくれたおかげです。そんな家族に心から感謝したいです。

私は磐田北小学校で平和学習に取り組む中で田中小苗先生や、ひいおばあちゃんのように、自分のことよりも、子供の命を守ろうとする立派な人達がいたことを学びました。また、子どもの命を守ろうとする精神を語りつけてくれたからこそ今の平和があるのだと思います。

この前、尾崎さんから平和は、空気のように平等であってほしい。しかし、あたりまえにあるものではないから自分たちの手で守っていかねばならない。と教えていただきました。

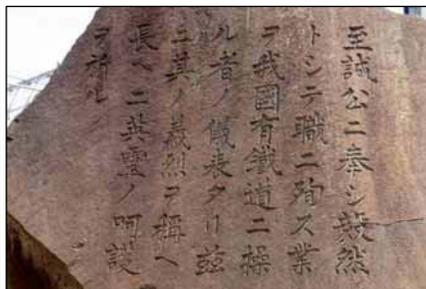
何千人何万人の人を傷つけ、悲しみにつつまれた戦争がもう二度とおこらないように、私は平和を祈ります。

そして、田中小苗先生と、二十八人のみなさんから学んだ、平和の大切さ、命の大切さを、未来の人々に語りつけていきます。だから安心して安らかに眠ってください。

永久に平和が続きますように。

愛 知 県

1 殉職者慰霊碑



基本情報

所在：JR大曾根駅 南
 住所：愛知県名古屋市東区東大曾根町46-6付近
 (JR大曾根駅 徒歩2分)
 連絡先：都合により記載せず
 建立者：建設委員 遺家族一同、大曾根驛員一同
 建立年：昭和21年8月

碑文

【表】

殉職者慰霊碑

桂秋 吉田 藤 謹書

【裏上】

至誠公ニ奉シ毅然
 トシテ職ニ殉ス業
 ヲ我國有鐵道ニ操
 ル者ノ儀表タリ茲
 ニ其ノ義烈ヲ稱ヘ
 長ヘニ英靈ノ呵護
 ヲ祈ル

【裏下】

昭和二十年四月七日大曾根驛ニ於ケル殉職者

(故人名)

昭和二十一年 八月建之 建設委員 遺家族一同
 大曾根驛員一同

説明文

大曾根駅「殉職者慰霊碑」

この慰霊碑は、昭和20年4月7日の空襲からお客様を救い、殉職した当駅職員30名の霊を悼み建立したものです。

2 飯田 戦災者霊位



基本情報

所在：霊光院
住所：愛知県名古屋市北区上飯田東町3-57
(名古屋鉄道 上飯田駅 徒歩12分)
連絡先：霊光院 052-981-5223
建立者：個人であり掲載せず
建立年：昭和23年3月

碑文

【表】

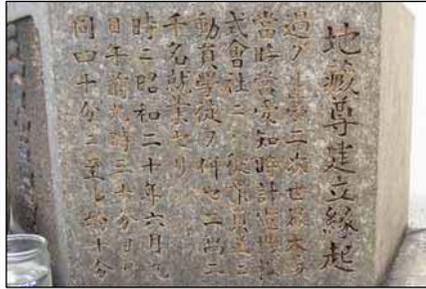
飯田 戦災者霊位

【裏】

昭和二十三年三月建之

施主
(個人名)

3 慰霊地藏尊



基本情報

所在地：愛知時計電機株式会社 正門前
 住所：愛知県名古屋市熱田区千年1-2-70
 (市営地下鉄 神宮西駅 徒歩15分)
 連絡先：愛知時計電機株式会社 総務人事本部 052-661-5151 (代表)
 建立者：愛知時計電機株式会社
 建立年：昭和24年6月9日

碑文

【正面】

三界萬靈

【台座】

地藏尊建立縁起

過ぐる第二次世界大戦
 當時當愛知時計電機株
 式會社ニハ従業員並ニ
 動員學徒ヲ併セ二萬二
 千名就業セリ
 時ニ昭和二十年六月九
 日午前九時三十分ヨリ
 同四十分ニ至ル約十分
 間ノ空襲ニヨリ忽チニ
 シンテ工場一帯ハ當社關
 係死者一四五名重軽
 傷者三〇〇名更ニ地
 方人死者一〇〇〇名ノ
 一大修羅場ト化セリ
 嗚呼慘シイカナ 茲ニ
 終戦後五年船方工場再
 建セラルハニ當リ同志
 相謀リ隨喜ノ高經ヲ埋
 藏シ地藏尊一體ヲ建立
 シ以テ右殉國諸靈魂ノ
 冥福ヲ祈ラル各靈位願
 クハ此ノ功德ニヨリ佛
 果菩提ヲ證得セラレン
 コトヲ
 昭和二十四年六月九日
 覺王山主
 勅賜禪師瓊仙記

4 物故者慰霊祭



※写真提供 愛知時計電機株式会社

開催概要 (平成24年度)

歳事名：物故者慰霊祭
 会場：愛知時計電機株式会社 本社 慰霊地藏尊前
 (市営地下鉄 神宮西駅 徒歩15分)
 日時：平成24年6月9日(土) ※例年6月9日開催
 参列者数：約50人
 連絡先：愛知時計電機株式会社 総務人事本部 052-661-5151 (代表)

式次第 (平成24年度)

1. 開式 の 辞
2. 住職による読経
3. 役員焼香
4. 一般参列者焼香
5. 閉式の 辞

式辞 (平成24年度)

なし

5 殉職者之碑



基本情報

所 在： 祐誓寺
住 所： 愛知県名古屋市熱田区千年1-18-19
(市営地下鉄 東海通駅 徒歩16分)
連 絡 先： 都合により記載せず
建 立 者： 愛知機械工業株式会社
建 立 年： 不明

碑 文

殉職者之碑

説 明 文

昭和十八年愛知航空機株式会社ヲ創立シ航空機ノ製造ヲ以テ能ク太平洋戦争ノ要請ニ應シタルカ不幸戦局日ニ利アラズ工場亦敵火ニ損壞シ戦戦ト共ニ事業頓ニ中絶セリ

戦後世局ノ艱難交隣リ社業ノ轉換又実ニ容易ナラサリシカ社員克ク戮カシク辛酸ニ耐ヘ以テ社業ヲ既倒ニ回シ漸ニ今日ニ追ヘリ

此ノ間或ハ職ニ盡瘁シテ中道ニ殞レタルモノ或ハ職場ヲ死守シテ壯烈戦火ニ玉碎シタルモノ前後殉職ノ士実ニ五百八十有余人ニ及ヘリ

嗚呼其ノ烈々タル愛社ノ誠心敢闘奮テ社難ノ打開ニ盡シタル剛健不屈ノ努力共ニ以テ後進ノ龜鑑トスヘク敬仰極マリ罔シ

茲工殉職者ノ碑ヲ建テ謹ミテ其ノ遺風ヲ宣揚シ永ク之ヲ承持シテ以テ社業ノ大成ニ資セムトス

愛知機械工業株式会社
取締役社長 五明得一郎

6 第二次大戦非戦闘員横死者諸霊之追善菩提



基本情報

所在：愛知時計電機株式会社 本社 北側
住所：愛知県名古屋市熱田区千年1-2-70付近
(市営地下鉄 神宮西駅 徒歩13分)
連絡先：不明
建立者：廣小路徳風會
建立年：昭和33年8月

碑文

【右側面】

爲第二次大戦非戦闘員横死者諸霊之追善菩提

【裏】

昭和二十年六月九日此の白鳥橋周辺に於て米軍爆撃により無量數
百名の一般人名^{原文ママ}を失ひよつて將來の平和と安定を祈り被爆死者等の
冥福を謹みて祈願するものである

維時 昭和三十三年八月吉祥日 發願 廣小路徳風會
隨喜 一般有志者

7 慰靈之碑



基本情報

所在：千年八幡神社
 住所：愛知県名古屋市熱田区千年2-36-26
 (市営地下鉄 東海通駅 徒歩約16分)
 連絡先：不明
 建立者：戦没者爆死者 遺族一同、他団体 有志四十五名
 建立年：昭和53年8月15日

碑文

【表上】

慰靈之碑

熱田神宮宮司篠田康雄謹書

【裏】

爆死者氏名

(故人名)

建立関係町名

千年六丁目
 千年七丁目
 千年八丁目
 港区千年2丁目
 南一番町中部
 南一番町南部
 南一番町北部
 三番町北部
 三番町南部
 五番町北部
 五番町南部

【表下】

碑文

第二次世界大戦終決真近かの
 昭和二十年六月九日当千年を襲った
 大空襲により罪なき住民数十名
 悲惨にも爆死せらる
 戦争の残酷さを憎み永遠の平和を
 念願しこの人柱となられた方々の
 冥福を祈りつゝここに碑を建つ
 昭和五十三年八月十五日

8 平和地蔵



基本情報

所 在：戦争と平和の資料館 ピースあいち
 住 所：愛知県名古屋市名東区よもぎ台2-820
 (市営地下鉄 一社駅 徒歩15分)
 連絡先：戦争と平和の資料館 ピースあいち 052-602-4222
 建 立 者：遺族及び生存者
 建 立 年：昭和23年3月

碑 文

なし

説 明 文

平和地蔵

一九四五(昭和二〇)年三月ごろから、名古屋への空襲が激しくなり、多くの人が亡くなりました。このお地蔵さまは、戦後の一九四八年三月、名古屋市中区千代田(旧千早町)に住んでいた故山田順三さんら町内会の人たちが、空襲の犠牲者を追悼し、平和を願ってつくられたものです。お地蔵さまを守って来られた山田さんのご遺族やお寺(建昌寺)のご好意により、「ピースあいち」にお迎えました。

9 名古屋空襲犠牲者追悼の夕べ



※写真提供 ピースあいち

開催概要 (平成24年度)

歳 事 名：名古屋空襲犠牲者追悼の夕べ
 会 場：戦争と平和の資料館 ピースあいち 1階交流のひろばおよび平和地蔵前
 (市営地下鉄 一社駅 徒歩15分)
 日 時：平成24年3月19日(月) ※例年3月中下旬開催
 参 列 者 数：約60人
 連 絡 先：戦争と平和の資料館 ピースあいち 052-602-4222

式 次 第 (平成24年度)

1. 空襲体験の語り
2. ともしび点灯
3. 追悼法要

概 要

100個のともし火で供養した名古屋空襲犠牲者追悼の夕べ

名古屋市街地の空襲で多くの市民が犠牲となった昭和20年3月から67年が経ちました。戦争の記憶を伝え残していくために、今年も3月19日(月)夕刻にピースあいち平和地蔵前で犠牲者追悼の法要を行いました。ともし火はペットボトルを利用し、ボランティアの皆さんが平和へのメッセージを書き添え手作りました。竹筒のものもあり、100本のろうそくに火がともされ、建昌寺ご住職の読経の響くなか、50人ほどのの方が平和地蔵さんの前で手を合わせました。

「ピース＝平和 子供達の笑顔」
 「戦争はどんな理由があってもやっつけてはいけない」
 「世界中の人々が幸せで平和な生活を送れますように」
 「核のない世界を子どもたちに」

メッセージにはたくさんの平和への思いが込められていました。

出典：ピースあいちブログより

10 豊橋空襲犠牲者 追悼の碑



基本情報

所在地：湊町公園
住所：愛知県豊橋市湊町
(豊橋鉄道「市役所前」電停 徒歩14分)
連絡先：豊橋空襲を語りつぐ会 0532-46-1114
建立者：豊橋空襲を語りつぐ会
建立年：平成7年6月19日

碑文

平和
豊橋市長 高橋アキラ書

説明文

豊橋空襲犠牲者 追悼の碑

この碑は、1945年(昭和20年)6月19日深夜から20日未明にかけて、アメリカのB29爆撃機136機によって亡くなった624人の犠牲者を追悼するために、豊橋空襲50周年を期して市民の募金と市の援助によって建てられたものです。
この碑前に立たれた皆さんが、犠牲者を追悼すると同時に、戦争や空襲を語りつぎ、再び惨禍をくりかえさない平和の決意を固めていただきたいと思います。

1995年6月19日豊橋空襲50周年
豊橋空襲を語りつぐ会

11 「空襲犠牲者を追悼し平和を誓うつどい」・「灯籠流し」



※写真提供 豊橋空襲を語りつぐ会

開催概要(平成24年度)

歳事名：「豊橋空襲67周年・空襲犠牲者を追悼し平和を誓うつどい」・「灯籠流し」
会場：湊町公園
(豊橋鉄道「市役所前」電停 徒歩14分)
日時：平成24年6月20日(水) ※例年6月20日開催
参加者数：55人
連絡先：豊橋空襲を語りつぐ会 0532-46-1114

式次第(平成24年度)

- | | |
|-------------------|----------------|
| 1. 開催あいさつ | 5. ご遺族・体験者の方より |
| 2. 黙祷 | 6. 平和の誓いアピール |
| 3. 献花 | 7. 閉会あいさつ |
| 4. 豊橋市長よりのメッセージ紹介 | 8. 灯籠流し |

平和の誓い(平成24年度)

1945年6月20日の豊橋空襲から、67年目を迎えました。
「豊橋空襲を語りつぐ会」は一九八九年四月に発足しました。昭和から平成に変わり、昭和という時代をふりかえる雰囲気の中で、そして昭和の戦争の時期が、まるで忘れ去られ、あるいは、あの戦争が正しかったかのような宣伝が強められる雰囲気の中で、私たちの会は活動を始めました。
空襲から67年、「会」発足から23年、空襲体験者の数は減少の一途をたどっています。しかし、空襲体験者の「あの時」の記憶は薄れているのか？ 語りつぐ意欲は失われつつあるのか？ 否です。
豊橋市老人クラブの皆さんの全面的なご協力のもと、小中学生を中心に、若者に語りつごうと始めた「出前講座・戦争と平和を未来に語りつぐ」の講師(語り手)募集に、40人を超える方たちが応募してくださいました。6月3日の、「講師交流会」に20名を超える方たちが、ご高齢にもかかわらず、資料・手記などを持参され、自己紹介が始まるや、ほとぼしように体験談が出されました。
先の豊橋空襲体験者募集の呼びかけの時も、多数の体験画が寄せられました。このように、最近の二つの企画から「あの悲惨な記憶は、失われていない。平和への思いはますます強くなっている。」というのが私たちの実感です。同時に、空襲や戦争を知らない世代が多数になっており、有効に語りつがれていないのは、憲法軽視、安保重視の政治の怠慢、そして私たちの活動の課題でもあると思います。
作家・早乙女勝元さんは、「豊橋空襲体験記」の「発刊に寄せて」で次のように述べています。
「今や戦争を知らない世代が圧倒的で、ほどなくして戦争体験が『歴史』に移行するのは目に見えている。すると、これからは追体験の知性こそ、歴史認識の基礎に、きちんとすえていかねばならない。それには、資料や記録が不可欠である。資料・記録なくして、歴史の継承はない。かつての戦争に民衆はどうかわったのか、体験者はさらに書き、語り、非体験者は真摯(しんしん)に学ばなくてはならない。何のために？ という問いかけがあるとすれば、アメリカの哲学者サンタヤナの次の一言で足りるだろう。『過去の教訓を学ばぬものは、ふたたび同じあやまちをくりかえす』と。
豊橋空襲を語りつぐ会は、「空襲・戦争体験者が減少している。しかし、だからこそ、体験者の語りつぐ意欲は決して衰えていない」この状況をリアルに受け止め、さまざまな企画を考える決意です。
2011年3月11日の東日本大震災から一年余、消費税増税など被災者への冷たい政治、そして放射能がまき散らされ、これからも続く原発事故の心配。
今に生きる私たちが体験した自然災害と、政治の貧困からくる人災を、67年後どう語りつがれているかを想像しながら、今こそ「豊橋空襲を語りつぐ会」の活動を、大きく広げましょう。

(中略)

私たちは、遺体が集められ、傷ついた市民が苦しみ声を上げながら避難した湊町公園で集いをもち、そして市内の大火事から逃れて飛び込んだ豊川に灯ろうを流し、語って空襲犠牲者を追悼し平和を誓うものです。

2012年6月20日
豊橋空襲67周年・空襲犠牲者を追悼し 平和を誓うつどい

12 岡崎市平和祈念式



開催概要 (平成24年度)

歳事名：岡崎市平和祈念式
 会場：岡崎市民会館
 (JR岡崎駅、名古屋鉄道 東岡崎駅より 名鉄バス「筥田公園前」下車 徒歩5分)
 日時：平成24年7月19日(木) ※例年7月19日開催
 参加者数：1,000人
 連絡先：岡崎市 福祉部 福祉総務課 援護班 0564-23-6145 (直通)

式次第 (平成24年度)

- 第一部 《式典》
1. 開式 斉 辞
 2. 国歌 斉 唱
 3. 黙とう
 4. 式 辞
 5. 追悼の辞
 6. 献花
 7. 閉式 辞

式 辞 (平成24年度)

本日ここに、岡崎市平和祈念式を挙行いたしましたところ、戦没者ご遺族の皆様、市民の皆様並びにご来賓の皆様方におかれましては、ご多忙のなか、かくも多数のご参列を賜り、心から御礼申し上げます。

第二次世界大戦の終戦から、六十七年の歳月が過ぎ、戦争を直接知る世代が数少なくなる今日ですが、多くの方々、戦争の犠牲となり、お亡くなりになりましたことは、未来永劫忘れてはならない深い悲しみであります。

ここに、日清・日露戦争から先の大戦において、祖国の安泰を願い、家族を案じつつ、戦場に散り、あるいは戦禍に倒れた方々、そして、終戦間近い昭和二十年七月二十日未明の岡崎空襲による犠牲者など、本市における戦没者及び戦災死者に対して、謹んで哀悼の意を表します。また、最愛の肉親亡きあと、幾多の苦難を乗り越えてこられた、ご遺族のご心労を拝察するとき、痛恨の情、切々として、万感胸に迫る思いを禁じ得ません。

一方、東日本震災の発生から一年と五ヶ月が経とうとしております。私自身、被災地に赴き、その惨状に言葉を失ったことは、記憶に新しいところでございます。市民の皆様には、ボランティア活動など多岐にわたるご支援や二億円を超す多大なる義援金を総代会連絡協議会ははじめ多くの方々のご協力によりお寄せ頂き、心より感謝を申し上げます。こうした皆様方の暖かいご支援に対しまして、本年三月には宮城県知事から、六月には福島県知事から感謝状を贈呈いただきましたことを、ここで改めてご報告させていただきます。

この震災による死者、行方不明者は一万八千人を超えております。また、いまだに仮設などの避難生活を余儀なくされている人は三十二万人以上おられます。ここに、亡くなられた皆様方のご冥福をお祈りしますとともに、未だにご家族の安否が不明である方々、被災された多くの方々に対しまして、心からお見舞いを申し上げます。

さて、本市は市制施行九十六周年にあたり、先人のたゆまぬご努力により、今日では、本市の人口も三十七万八千人を超え、中核市として順調な発展を遂げております。市政の運営にあたりまして、市民主導型市政を推進し、市民の皆様がごぞって安全で安心して暮らせるまちづくりなど数多くの施策を着実に進めてまいりました。

また、今年四月一日に開設いたしました「ホテル学校」でございますが、平成二十二年三月に閉校となりました額田地区の鳥川小学校跡地を利用いたしまして、本市全体のホテル保護の取り組み拠点として整備を進め、運営を開始いたしましたのでございます。

五月には市役所西庁舎南棟一階に「就労サポートセンター」を開所いたしました。ここでは、生活支援を必要とする人の生活の安定と再就職の促進を図るため、市の生活支援サービスとハローワークの職業紹介サービスを一体的に行うことにより、総合的な就労支援サービスを実施してまいります。

そして、今月六日「日本多忠次邸」が開館いたしました。徳川家康公の四天王の一人、本多忠勝公の子孫でありま本多忠次氏が昭和初期に建築した邸宅を東公園に復元整備したもので、その保存と活用を通じ、文化財の保護についての関心と理解を深めていただきたいと考えております。歴史的建造物ならではの魅力ある事業を展開してまいりますので、多くの皆様にご見学いただけたらと思う次第です。

このように、今日ある平和や安心して市民生活を送れるのも、ひとえに、戦争によって心ならずも命を落とされた方々の犠牲の上に成り立っていることを、私たちは決して忘れてはなりません。悲惨な戦争の教訓を風化させることなく、平和の尊さを次の世代に語り継ぎ、二度とこうした悲劇を繰り返さないことが、私たちに課せられた責務であります。時は移り変わりましたが、過去を謙虚に振り返り、未来に向かって進んでいかなければなりません。「平和祈念式」も遺族の皆様だけでなく広く一般市民の皆様にも参加していただけるように名称を変更して二年目となり、三十八万市民の皆様とともに戦争や災害のない平和な日本に、そして岡崎市と進むため決意を新たにさせていただきます。

終わりにあたり、戦没者・戦災死者及び東日本震災の犠牲となられた御霊の安らかならんとこと、ご遺族の皆様のご健勝、ご列席の皆様のご多幸を、心よりお祈り申し上げ、式辞といたします。

平成二十四年七月十九日
 岡崎市長 柴田 統一

13 岡崎空襲の慰霊碑



基本情報

所在地：岡崎シビコ西広場
 住所：愛知県岡崎市康生通西2-20-2付近
 (名古屋鉄道 東岡崎駅 徒歩13分)
 連絡先：岡崎空襲の慰霊碑をまもる会
 建立者：岡崎空襲の慰霊碑をつくる会
 建立年：昭和52年7月20日

碑文

【表】

岡崎空襲の
慰霊碑

【右側面】

昭和二十年七月二十日未明
 B29百三十二機来襲
 その犠牲者二百三十名

昭和五十二年七月二十日
 岡崎空襲の慰霊碑をつくる会

※補足：1977年以降48名追加され計278名

【標石】

昭和20年
 7月20日
 岡崎空襲の慰霊碑

14 岡崎空襲の市民慰霊祭



開催概要 (平成24年度)

歳事名：岡崎空襲の市民慰霊祭
 会場：岡崎シビコ西広場 岡崎空襲の慰霊碑前
 (名古屋鉄道 東岡崎駅 徒歩13分)
 日時：平成24年7月19日(木) ※例年7月19日開催
 参加者数：50人
 連絡先：岡崎空襲を記録する会

式次第 (平成24年度)

1. 開会のことば
2. 黙 禱
3. 挨拶 挨拶：岡崎空襲の慰霊碑をまもる会 会長
4. 来賓のことば：市長、教育長、市議会議員
5. 弔電披露
6. 参加者のお話：遺族の方、空襲体験者
7. 閉会のことばと
平和行事紹介
8. 献 花

概要

東日本大震災は多くの人に、あの戦災と変わらぬ大きな苦難をもたらしました。被災地の一日も早い立ち直りを願わずにはられません。

さて岡崎の街が、B29の大群による空襲を受け、一夜にして街は消え失せ、幾多の死傷者を出した7月20日がまた近付いて参りました。今年は35回目の市民慰霊祭です。

37万都市として飛躍を続ける岡崎、その歴史の過程で戦禍に倒れられた多くの市民の無念を偲び、今なお絶えることのない各地の戦火に、世界の平和実現を念じつつ特別の想いを込めて、恒例の岡崎空襲の市民慰霊祭をとりおこなわせて戴きます。

今年は岡崎松坂屋が閉店、跡地売却でその角地庭園にあった慰霊碑を市のご協力で、すぐ北東側のシビコ西の小公園に移転しました。

出典：慰霊祭案内状より

15 空爆殉難記念碑



基本情報

所 在：大乗公園
 住 所：愛知県一宮市桜3-14-1
 (JR尾張一宮駅、名古屋鉄道 名鉄一宮駅より 名鉄バス「松降2丁目」下車 徒歩5分)
 連絡先：一宮市 福祉こども部 福祉課 0586-28-9015 (直通)
 建 立 者：一宮市
 建 立 年：昭和33年7月28日

碑 文

【表】

祈

【裏】

こゝ空爆の被爆の中心地をえらび昭和二十年七月十二日と七月二十八日の二回の大空襲によつて尊い犠牲となられた罪なき市民の御霊七百余程の安らかなごめい福をお祈りし平和をまもるためにこの碑を建立する

昭和三十三年七月二十八日
 一宮市長 伊藤 一

【標石・表】

空爆殉難記念碑

16 一宮市戦災死没者追悼式



開催概要 (平成24年度)

歳 事 名：一宮市戦災死没者追悼式
 会 場：大乗公園 空爆殉難記念碑前
 (JR尾張一宮駅、名古屋鉄道 名鉄一宮駅より 名鉄バス「松降2丁目」下車 徒歩5分)
 日 時：平成24年7月28日(土) ※例年7月28日開催
 参 列 者 数：約100人
 連 絡 先：一宮市戦災遺族会

式 次 第 (平成24年度)

1. 開 式 の 辞
2. 黙 と う
3. 式 辞
4. 追 悼 の 言 葉
5. 電 報 披 露
6. 献 花
7. 閉 式 の 辞

式 辞 (平成24年度)

本日、ここに、多数の戦災死没者のご遺族の皆様、ご来賓の皆様方のご臨席のもと、一宮市戦災死没者追悼式を執り行います。

ここに鎮まります、戦災の犠牲となられました、七二七柱の死没者の方々に、謹んで哀悼の意を捧げますとともに、心よりご冥福をお祈りいたします。

先の大戦が終わりを告げてから、六十七年の月日が過ぎ去りましたが、当時の苦難の思いを、決して忘れることはできません。

私を含め、ご遺族の皆様におかれましては、戦争により肉親を奪われ、深い悲しみに包まれ、安泰な生活が破壊されるという堪えがたい苦痛を、身をもって体験されたことと拝察いたします。それは歳月を経た今日でも、決して癒されるものではなく、いまなお深い悲しみが込み上げてまいります。

多くの方の尊い犠牲のもと、わが国は発展を遂げてまいりましたが、まだまだ、真の平和な世の中であるとは言えません。

私たちは、今日の発展の礎となられました戦災の犠牲者に感謝する心を決して忘れることなく、過去を謙虚に振り返り、戦争の悲惨さや、幾多の犠牲のあったことを次の世代に語り継ぎ、戦争のない平和国家の建設に更なる努力を尽くしていかなければなりません。

終わりに、先人が身を賭してお教えたいただいた尊い教訓を心に銘記し、平和を願い、市民として健やかに生き、明日の日本のために、心をひとつにして努力することを戦災の犠牲者の御霊に固くお誓い申し上げます、皆様の平安とご健勝を切に祈念いたしまして式辞とさせていただきます。

平成二十四年七月二十八日
 一宮市戦災遺族会会長 野田 清一

17 平和祈念事業・一宮市戦没者追悼式



開催概要 (平成24年度)

歳事名：平和祈念事業・一宮市戦没者追悼式 ※一般戦災死没者を含む
 会場：一宮市民会館
 (JR尾張一宮駅、名古屋鉄道 名鉄一宮駅より i-バス左回り「市民会館」下車 すぐ)
 日時：平成24年10月6日(土) ※例年10月上旬開催
 参列者数：250名
 連絡先：一宮市 福祉こども部 福祉課 福祉グループ 0586-28-9015 (直通)

式次第 (平成24年度)

- | | |
|-----------------|-----------------------|
| 《1部》～戦没者追悼式 式典～ | 《2部》～平和祈念事業(市民参加による)～ |
| 1. 開 式 の こ と ば | 1. 小中学生が考える平和作文の表彰・朗読 |
| 2. 黙 と とう | 2. 平和祈念コンサート |
| 3. 市 長 の 式 辞 | |
| 4. 追 悼 の こ と ば | |
| 5. 来 賓 挨 拶 | |
| 6. 電 報 披 露 | |
| 7. 献 花 式 | |
| 8. 閉 式 | |

式 辞 (平成24年度)

本日ここに、戦没者ご遺族、市民の皆様並びにご来賓の多数のご参列を賜り、平和祈念事業・一宮市戦没者追悼式を挙げてまいりましたことは誠に意義深く、また感慨新たなるものがございます。一宮市におきましては、明治以来、多くの方が戦役で亡くなられました。祖国の安泰と家族の将来を案じつつ、遠い異国の地で、または遙かなる海上で、あるいは国内で亡くなられた方々のご心情に思いを馳せ、残されたご遺族の深い悲しみを思うとき、万感胸に迫り来るものがあります。ここに、戦没者皆様のご冥福を心からお祈り申し上げます。

先の大戦が終わりを告げてから、六十七年の歳月が過ぎ去りました。ややもすれば、あの大战での苦難や、悲慘さは、日々遠ざかり、風化しようとしています。しかし、今日の平和で豊かな繁栄は、戦没者の方々の尊い犠牲を礎として築かれたものであることを、私たちは決して忘れてはなりません。

現在も世界各地でテロや民族間の争いなど、紛争が絶えません。私たち市民は、戦争の悲慘さと、平和の尊さを新しい世代に伝え、戦争のない世界、核兵器のない世界を実現すべく、恒久の平和に向けて努力しなければなりません。

本日、この式典にあたり、先の大戦から学びとった多くの教訓をあらためて深く心にきざみ、再び戦争の惨禍をくり返すことのないよう、安心して暮らせる、平和で豊かな社会を築き上げることが我々に課せられた責務であり、そのために、私たちは全力を尽くすことを、ここに堅くお誓いするものであります。

終わりに臨み、戦没者の方々の安らかな眠りとご遺族の皆様、並びに市民の皆様のご健康とご勝利を切に祈念申し上げまして、式辞といたします。

平成二十四年十月六日
 一宮市長 谷 一夫

18 半田・戦災犠牲者追悼 平和祈念碑



基本情報

所 在：雁宿公園
住 所：愛知県半田市雁宿町3-204-1
(名古屋鉄道 知多半田駅 徒歩10分)
連絡先：半田市 建設部 都市計画課 0569-84-0665 (直通)
建立者：半田・戦災犠牲者追悼 平和祈念碑建立実行委員会
建立年：平成7年7月24日

碑 文

半田・戦災犠牲者追悼

平和祈念碑

説 明 文

【右】

平和を願って

半世紀前、太平洋戦争がありました。その戦争のため、この半田でも、子ども・老人・市民・労働者、地元をはじめ、全国各地から軍需工場に動員されていた学徒・女子挺身隊・徴用の人びと四三二人以上の貴い生命が失われました。とくに、当時、日本の植民地とされていた朝鮮の北部から連行された、青年四九人以上がこの中に含まれることは、まことにいたましいことです。戦災は天災ではありません。わたしたちは、半田における戦争の惨禍の記録をここに刻み、アジア諸国をはじめとする、すべての戦災犠牲者を追悼します。そして、この事実を後世に伝え再び戦争を起こさせない決意をこめて平和を祈念するものであります。一九九五年七月二四日

半田・戦災犠牲者追悼
平和祈念碑建立実行委員会

【左】

半田の戦災

半田空襲

一九四五(昭和二十)年七月十五日小型機数機が来襲、機銃掃射により、市民八人が死亡。七月二四日午前十時五八分、アメリカの爆撃機B-29七八機が中島飛行機と周辺住宅地を爆撃従業員・市民の二六四人以上が死亡

【左側面】

空襲犠牲者

七月十五日の空襲 八人 (故人名)
七月二四日の空襲
武豊町 他 一八人 (故人名)
山方新田方面・本工場付近 三七人 (故人名)
新居方面 二八人 (故人名)
向山・平地方面 二三人 (故人名)
平地寮(女子学徒・挺身隊) 挺身隊 一三人 (故人名)
学徒 一四人 (故人名)
七本木池・横川池方面 五九人 (故人名)
朝鮮人徴用者(横川池付近) 四八人 (故人名)
場所不明 二四人 (故人名)
建立後の氏名判明分 (故人名)

19 豊川市平和祈念式典



※写真提供 豊川市



開催概要 (平成24年度)

歳事名：豊川市平和祈念式典
 会場：豊川市文化会館
 (名古屋鉄道 諏訪町駅 徒歩15分)
 日時：平成24年8月7日(火) ※例年8月7日開催
 参列者数：800人
 連絡先：豊川市 企画部 秘書課 0533-89-2120 (直通)

式次第 (平成24年度)

1. 平和への想い：豊川市立御津中学校 合唱及び詩の朗読、平和の語りべ講演
2. 開式
3. 黙とう
4. 式辞：豊川市議会議長
5. 献花：主催者・来賓ほか
6. 平和宣言：豊川市長
7. 来賓挨拶
8. 流れ献花：一般参加者
9. 閉式

平和宣言 (平成24年度)

本日、豊川市平和祈念式典を挙げるにあたり、ご来賓の皆様をはじめ、ご遺族の皆様、豊川海軍工廠関係者、多くの市民の皆様のご臨席を賜りましたことを、心からお礼申し上げます。

今年も変わることなく暑い夏を迎えました。それは私達にとって忘れることができない日の訪れでもあります。昭和20年8月7日。この日、豊川海軍工廠は激しい爆撃により壊滅的な被害を受け、動員学徒、女子挺身隊員を含む2500名以上の尊い命が奪われ、本市は大きな悲しみに包まれました。

戦争体験者の方々は、一日として忘れることのできないつらい出来事を、67年の長きに亘り語り続けています。二度と犯してはいけない過ちとして、戦争のない平和な世界のすばらしさを強く感じ、私達はこの悲惨な体験を風化させることなく、次の世代へ引き継ぐことが責務であります。

式典に先立ち、歌と詩を披露して下さった御津中学校の皆さん、そして、本日の受付や会場案内などの業務をボランティアとして手伝って下さった豊川高等学校、宝陵高等学校の生徒の皆さん、本当にありがとうございます。今回の式典への参加を通して、若い世代の皆さんに、平和について考えていただくきっかけとなれば幸いです。

さて、世界に目を向けますと、イギリスのロンドンでは、夏のオリンピックが開催されています。近代オリンピックのシンボルである五輪は、五色で世界五大大陸を表し、重なった輪の形から平和への発展を願ったものとも言われています。スポーツを通じて、宗教や人種を越えた全世界規模で平和の輪が広がることを期待してやみません。

被爆の日にあたり、戦禍の犠牲となられた方々の御霊に心から哀悼の誠を捧げるとともに、将来を担う子どもたちの明るい未来に向けて、戦争のない世界、核兵器のない世界の実現を目指し、恒久平和に向けて積極的に努力することをお誓い申し上げます。

平成24年8月7日
 豊川市長 山脇 実

中 国

岡山県

1 岡山市戦没者追悼式



開催概要 (平成24年度)

歳事名：岡山市戦没者追悼式 ※一般戦災死没者を含む

会場：岡山市市民会館

(岡山電気軌道「城下」電停 徒歩3分)

日時：平成24年6月29日(金) ※例年6月29日開催

参列者数：1,600人

連絡先：岡山市 保健福祉局 福祉援護課 福祉係 086-803-1218 (直通)

式次第 (平成24年度)

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. 開 式 | 9. 献 花 |
| 2. 一同拝礼 | 10. 電報披露 |
| 3. 開式の辞 | 11. 平和都市宣言朗読 |
| 4. 戦災死者名簿奉納 | 12. 遺族代表謝辞 |
| 5. 国歌斉唱 | 13. 閉会の辞 |
| 6. 黙とう | 14. 一同拝礼 |
| 7. 式辞 | 15. 閉 式 |
| 8. 追悼のことば | |

式 辞 (平成24年度)

本日、ここに、ご遺族並びにご来賓の方々をはじめとする多くの市民の皆様のご参列をいただき、平成24年度岡山市戦没者追悼式を執り行うに当たり、戦禍の犠牲となられた方々の御霊に対し、謹んで哀悼の誠を捧げます。

先の大戦では、ひたすら祖国の安泰と繁栄を願い、郷里のご家族のことを想われながら、速く離れた戦場や異郷の地において命を落とされた方々、また、戦地に赴かれたお身内を案じつつ、貧しく苦しい生活の中、戦災によって亡くなられた方々などかけがえのない多くの命が失われました。

今、ご遺族の皆様を前にして、そのご心情に思いを致しますとき、万感胸に迫るものがございます。岡山市は、今から67年前の6月29日未明に、市街中心部を目標とした空襲を受け、ふり注いだ焼夷弾によって当時の市街地の大半が焼失しました。

そして人々は、空からの焼夷弾と四方から迫りくる炎に逃げるいとまもなく、多くの方がいたるところで負傷し、あるいは亡くなられました。

今は静かに流れる旭川、西川も、避難した人々や、やけどを負い、水を求めて飛び込み力尽きた人々で溢れていたと聞いております。

また、戦後においても、物資と食糧が極度に不足し、厳しい生活が続く中、最愛のご家族、住み慣れた住まいなど、生きる拠りどころを失われた皆様には想像を絶する想いやご苦労があったことと存じます。

しかし、市民の皆様は、この厳しい状況の中、深い悲しみを胸に秘めつつ、幾多の困難を乗り越え、未来へ向けて、復興への力強い一歩を踏み出されたのでございます。

現在の平和と繁栄は先人の方々の尊い犠牲とたゆみないご努力の上に築きあげられたものであり、ここに深く敬意と感謝の気持ちを捧げます。

また、ともすれば、過ぎ行く年月が、戦争の悲惨さや復興の歴史を薄れさせる中で、痛ましい過去を風化させることなく、次の世代に語り継ぎ、先人によって築かれた平和と繁栄を守り、継承していくことが、私たちに課せられた使命であると確信いたしております。

本市では、岡山市都市ビジョンに掲げる「水と緑が魅せる心豊かな庭園都市」の実現を目指しておりますが、こうしたまちづくりの基礎となるのが、恒久平和であり、「平和を希求し続ける都市」として、その大切さと尊さを、私たちが次世代へ語り継いでいかなければなりません。

これからも、過去の歴史から得た多くの教訓を改めて心に刻み、平和で安全・安心に暮らせる郷土・岡山の発展に、市民の皆様とともに力の限り取り組んでいくことをお誓い申し上げます。

本日の式典に臨み、戦死者並びに戦災死者の方々の御霊の安らかならんことを、また、ご遺族の皆様のご健勝とご多幸を心から祈念いたしまして、式辞といたします。

平成24年6月29日
岡山市長 高谷 茂男

2 戦災の碑



基本情報

所 在： 下石井公園内
 住 所： 岡山県岡山市北区幸町
 (JR岡山駅 徒歩15分)
 連絡先： 岡山市 保健福祉局 福祉援護課 福祉係 086-803-1218 (直通)
 建立者： 岡山市
 建立年： 昭和55年6月29日

碑 文

【表】

戦災の碑

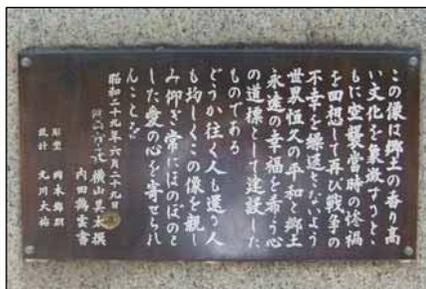
昭和55年6月29日建立

【裏】

太平洋戦争末期の 昭和二十五年六月二十九日午前二時四十分頃から約二時間にわたり岡山市はアメリカ空軍のB29約七十機の焼夷弾攻撃による大空襲を受けました その被害は当時の市街地の七十三パーセントにあたる約七、六平方キロメートル(二百三十万坪)が廃墟となり 死者千七百三十七人 負傷者六千二百六十六人に達しました また罹災者は十万四千六百六十六人(二万五千二百三戸)に及び全国八十三罹災都市中第八位にランクされる深刻さでした あれから三十五周年 この間市民の方々の復興に対するたゆみない熱意と努力によって当時想像もなし得なかった全国有数の近代都市として発展をつづけております
 時は流れ世代の交代にともなって戦禍の記憶と認識はうすれつつあります 戦災三十五周年にあたり再びあの戦争の悲劇を繰り返さないよう 世界恒久の平和と 岡山市の永遠の発展と 市民の幸福の願いをこめここに戦災の碑を建立しました

昭和五十五年六月二十九日
 岡山市長 岡崎平夫

3 平和の像



基本情報

所在：西川緑道公園
 住所：岡山県岡山市北区平和町5
 (岡山電気軌道「西川緑道公園」電停 徒歩2分)
 連絡先：岡山市 保健福祉局 福祉援護課 福祉係 086-803-1218 (直通)
 建立者：岡山市
 建立年：昭和29年6月29日

碑文

【表】

平和像

【裏・説明文】

この像は郷土の香り高い文化を象徴するとともに空襲当時の惨禍を回想して再び戦争の不幸を繰返さないよう世界恒久の平和と郷土永遠の幸福を希う心の道標として建設したものである
 どうか往く人も環る人も均しくこの像を親しみ仰ぎ常にほのぼのとした愛の心を寄せられんことを

昭和二十九年六月二十九日
 岡山市長 横山晃太 撰
 内田鶴雲 書

彫型 岡本錦朋
 設計 丸川大祐

4 平和都市宣言記念 平和の像



基本情報

所 在：石山公園
住 所：岡山県岡山市北区石関町7
(岡山電気軌道「城下」電停 徒歩2分)
連絡先：岡山市 保健福祉局 福祉援護課 福祉係 086-803-1218 (直通)
建 立 者：岡山市
建 立 年：昭和62年3月

碑 文

【台座前】

昭和六十二年 三月
大桐國光 作

説 明 文

【上】

平和都市宣言記念
平和の像

【下】

平和都市宣言

真の恒久平和を実現することは、戦災で多くの尊い人命を失い、街を焦土と化した岡山市民のみならず、人類共通の念願である。
しかるに、核軍備の拡張は、依然として行われ、世界の平和と安全、人類の生存に深刻な脅威をもたらしている。
我が国は、世界唯一の核被爆国として、核兵器の廃絶を世界の人々に強く訴え、この地球上に広島、長崎の惨禍を再び繰り返させてはならない。
岡山市民は、日本国憲法の恒久平和の理念に基づき、すべての国のあらゆる核兵器が完全に廃絶されることを願い、平和で幸せな岡山市を築くため
不断の努力を続けることを誓い、ここに岡山市は平和都市を宣言する。

昭和60年6月25日

岡山市

5 岡山市戦災死者供養塔



基本情報

所在地：東山地区
 住所：岡山県岡山市中区門田本町3
 (岡山電気軌道「東山」電停 徒歩15分)
 連絡先：岡山市 保健福祉局 福祉援護課 福祉係 086-803-1218 (直通)
 建立者：岡山市
 建立年：昭和30年6月

碑文

【表】

岡山市戦災死者供養塔

【右】

昭和二十年六月二十九日 歿

【左】

昭和三十年 六月建 岡山市

6 平和の鐘



※写真提供 倉敷市

基本情報

所在地：水島緑地福田公園
 住所：岡山県倉敷市福田町古新田
 （JR倉敷駅より 下電バス「福田運動公園前」下車 徒歩2分）
 連絡先：倉敷市 総務部 総務課 086-426-3121（直通）
 建立者：倉敷市
 建立年：平成2年5月

碑文

【右・柱】

平和の鐘

経緯

「平和の鐘」建立の主旨

昭和20年8月15日、太平洋戦争は、日本国民はもとより海外の多くの人々に言い知れぬ深い傷跡を残し、悲惨な戦いを終えた。あの日から40数年、私たちは苦難の中から立ち上がり、戦争放棄を国是として、今日の平和で豊かな社会を築きあげた。

本市は、昭和61年9月、世界の恒久平和と倉敷市民の幸せを願い「倉敷市平和都市宣言」を行い、平和への誓いを新たにしました。

このたび、宣言の主旨に沿い、再びあの悲惨な戦争を繰り返すことのないよう祈念し、被災地水島の一角に「平和の鐘」を建立する。

平成2年5月

出典：倉敷市ホームページより

7 平和の鐘 打鐘



※写真提供 倉敷市

開催概要（平成24年度）

歳事名：平和の鐘 打鐘
 会場：水島緑地福田公園
 （JR倉敷駅より 下電バス「福田運動公園前」下車 徒歩2分）
 日時：平成24年6月22日（金） ※例年6月22日開催
 参列者数：約50人
 連絡先：倉敷市 総務部 総務課 086-426-3121（直通）

式次第（平成24年度）

- 挨拶及び水島空襲の概要説明
- 8時36分、平和の鐘を打鐘・あわせて1分間の黙祷
- 平和の祈りを込めて、風船100個・鳩14羽をとばす
- 8時50分頃、終了

式辞（平成24年度）

なし

広島県

1 呉市戦没者戦災死者及び旧呉鎮守府管内非戦闘員殉職者合同慰霊式



※写真提供 呉市

開催概要 (平成24年度)

歳事名：呉市戦没者戦災死者及び旧呉鎮守府管内非戦闘員殉職者合同慰霊式
 会場：呉市文化ホール
 (JR呉駅 徒歩7分)
 日時：平成24年6月30日(土) ※例年6月30日開催
 参列者数：800人
 連絡先：呉市 福祉保健部 福祉保険課 0823-25-3265 (直通)

式次第 (平成24年度)

- | | |
|----------------|------------------------|
| 1. 開式 | 8. 呉市議会議長追悼の辞 |
| 2. 御霊入場 | 9. 遺族代表追悼の辞 |
| 3. 国歌斉唱 | 10. 呉市立呉高校生徒代表による平和の誓い |
| 4. 黙祷 | 11. 献花 |
| 5. 呉市長式辞 | 12. 追悼吟詠 |
| 6. 広島県知事追悼の辞 | 13. 「呉市歌」斉唱 |
| 7. 広島県議会議長追悼の辞 | 14. 閉式 |

式 辞 (平成24年度)

本日ここに 御遺族 御来賓各位 並びに多くの市民の皆様のご臨席のもと 平成二十四年度呉市戦没者戦災死者及び 旧呉鎮守府管内非戦闘員殉職者合同慰霊式を挙行するにあたり 御霊の御前に 謹んで哀悼の誠を捧げます。

国の命運をかけて戦い 多くの国民の命が捧げられた先の大戦から六十七年の歳月が過ぎ去ろうとしています。

顧みますと この大戦では それぞれの地域から 多くの方々が故郷を離れ ひたすら祖国の安泰と繁栄を願い 家族の無事を念じながら 国の御盾となって戦場に散り また 郷土呉では激しい空襲により 多くの市民の命が失われました。ここに改めて 戦没者をはじめ お亡くなりになられた方々のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

最愛の肉親を失われた ご遺族の皆様におかれましては 深い悲しみを胸に 戦後の混乱期から幾多の苦難を乗り越えてこられた御苦労に対しまして 心から御慰労を申し上げますとともに敬意を表する次第でございます。

今日 私共が享受している平和と繁栄が英霊やご遺族の方々の尊い精神と御苦労の上に築かれていることを決して忘れてはならず このことこそが 私共の国家や社会を成り立たせている本質的要素であることを 次世代にしっかり引き継いでいかなければなりません。

呉市は今年 市政施行から百十周年を迎えました これを機に 私共は先人の残してくれた郷土のすばらしい自然や歴史 文化といった かけがえのない財産を掘り起こし 顕彰して次の世代に継承していくための取り組みに着手いたしました。

戦後の社会は大きく変化し 私共は豊さを享受する一方で 諸々の課題を抱えておりますが御霊の御遺志を受け継ぎ 雄々しく 市民の絆と活力ある呉市を目指し 渾身の努力を傾注して参る所存でございます。

どうか 御霊のご加護と 市民の皆様の御支援 御尽力を賜りますよう 衷心よりお願い申し上げます。

在天の御霊の とこしえに安らかなんことをお祈り申し上げ 御遺族の皆様の御多幸と御健勝 並びに郷土呉市の繁栄を祈念いたしまして式辞といたします。

平成二十四年六月三十日
 呉市長 小林 和年

2 供養地蔵菩薩



基本情報

所 在：寺西児童公園
 住 所：広島県呉市本町13
 (JR呉駅 徒歩21分)
 連絡先：個人であり記載せず
 建 立 者：寺西自治会
 建 立 年：昭和25年9月23日

碑 文

供養地蔵菩薩

説 明 文

昭和二十年七月二日拂曉の戦災により死亡された
 呉市約二千名の菩提を吊ふため最も遭難
 者の多かった和庄地区内各町の有志相図り
 市民の篤志により茲に聖地を選び供養
 地蔵菩薩を建立して永久に供養しその冥福
 を祈り併せて人類の平和を念願するものである

昭和二十五年九月二十三日建之

3 戦災犠牲者追悼会



開催概要 (平成24年度)

歳 事 名：戦災犠牲者追悼会
 会 場：寺西児童公園
 (JR呉駅 徒歩21分)
 日 時：平成24年7月1日(日) ※例年7月1日開催
 参 列 者 数：約40人
 連 絡 先：個人であり記載せず

式 次 第 (平成24年度)

なし

挨拶 (平成24年度)

「戦災犠牲者追悼会」挨拶

本日は忙しい中を、又足元の悪い中を自治会行事のひとつであります「戦災犠牲者追悼会」に出席頂きまして、ありがとうございます。
 本日も例年の様に追悼会を開催し、60数年前に亡くなられた多くの方を偲び、ご供養をしたいと思ひます。
 平和な世の中にあつて、ややもすると60数年前の戦災犠牲者の方々を忘れそうになる昨今ではありますが、今一度風化することなく、亡き方々を偲び、皆様とともに、ご供養を申し上げたいと思ひます。
 併せて、日本の平和、世界の平和、皆様方のご健勝と繁栄を祈念いたします。
 最後にりましたが、水谷のおばちゃんには、いつも祭壇、お世話になります。
 又、役員さん、班長さん、町内の方には公園の清掃、会館の掃除、その他色々ご苦労様でした。
 以上 簡単ですが、ご挨拶とさせていただきます。

平成二十四年七月一日
 寺西自治会 会長

4 戦災供養地蔵尊・供養塔



基本情報

所在地：和庄児童公園
 住所：広島県呉市本町18
 (JR呉駅 徒歩19分)
 連絡先：個人であり記載せず
 建立者：市民有志
 建立年：昭和38年7月1日、平成17年6月15日(再建立)

碑文

【台座】

戦災供養

説明文

【表】

供養塔

昭和二十年七月一日の空襲の時
 和庄防空壕で約八百人あまりの
 お方が災死せられましたこの地を
 記念し御冥福を祈念するため
 この地藏尊を建立する

【左横】

昭和三十八年七月一日建之

【裏】

世話人
 (個人名)

【右横】

寺西町
 寄進者 松川石材店

5 呉空襲犠牲者慰霊祭



開催概要 (平成24年度)

歳事名：呉空襲犠牲者慰霊祭
 会場：和庄児童公園
 (JR呉駅 徒歩19分)
 日時：平成24年7月1日(日) ※例年7月1日開催
 参加者数：約40人
 連絡先：個人であり記載せず

式次第 (平成24年度)

1. 開会の言葉：司会者
2. 世話人挨拶：世話人代表
3. 来賓挨拶：岡崎市議員
4. 読経：法輪寺住職
5. お礼の言葉：司会者

挨拶 (平成24年度)

戦災記念日 挨拶 平成二四年七月一日

本日はあいにくの雨の中、お参り頂き有難うございます。毎年、防空壕での悲惨状況をお話しているため、今日は少し省略させていただきます。あれから六十六年、皆様のおかげで今日までご供養が出来ましたこと、心から感謝しています。呉市の命令で六千人、入れる防空壕を突貫工事で作りはじめ、この公園にはびっしりと家が建ち並んでいましたが強制疎開で立ち退きました。一軒だけ、市の課長宅は立ち退きませんでした。この家にB29の爆撃機が落ちて、五ヶ所ある壕の入口に火の粉、煙が入った為に多くの人達は蒸し焼き状態となり、もだえ苦しみ、阿鼻叫喚の中、断末魔の声で「水！水！…」「助けて！！」と声を上げながら旅立って逝きました。この付近には、幼子を始め沢山の遺体がずらりと並んでいました。かけがえもない命を取り戻すすべもなく、数え切れない程の人達が黄泉路へと旅立って逝かれました。壕の中で産気づいた人もおられ、この川の中には後産も二〜三ありました。戦中戦後は全国民すべてが物質不足で苦しい生活を乗り越えて、今は平和な幸せを、享受しています。この付近火の玉が出るようになり、ご供養をしようと言う声が高まりお地藏さんを建立、今日までご供養をしてきました。元氣パリの私も八六歳のヨボヨボ老人となりまもなく認知症も始まろうとしています。今まで長い間、皆様と共に、ご供養させて頂いたことを喜び、心からお礼を申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。有難うございました。

世話人代表
 宮本澄枝

6 彼岸堂・此彼堂・供養碑 城家防空壕戦災死者



※写真提供 呉戦災を記録する会

基本情報

所在地： 亀山神社・和庄小学校東下向い、念仏坂の奥
住所： 広島県呉市三和町4-1
(JR呉駅 徒歩30分 市バス「和庄小学校下」下車 徒歩10分)
連絡先： 個人であり記載せず
建立者： 個人であり記載せず
建立年： 彼岸堂、此彼堂…昭和63年
供養碑…不明

碑文

【上階】

彼岸堂

【下階】

此彼堂

【下階・右】

供養碑
城家防空壕戦災死者

7 空襲戦災死者供養



※写真提供 呉戦災を記録する会

開催概要 (平成24年度)

歳事名： 空襲戦災死者供養
会場： 此彼堂
(JR呉駅 徒歩30分 市バス「和庄小学校下」下車 徒歩10分)
日時： 平成24年7月1日(日) ※例年7月1日開催
参加者数： 約15人
連絡先： 個人であり記載せず

式次第 (平成24年度)

なし

概要

巨大横穴式防空壕で数百人が焼死した。その跡地に彼岸堂・城下防空壕戦災死者供養碑が建立され、毎年遺族、関係者により慰霊祭が行われている。

8 因島空襲記念日・東日本大震災復興支援 7.28 ピースコンサート



※写真提供 因島ピースコンサート実行委員会

開催概要 (平成24年度)

歳事名：因島空襲記念日・東日本大震災復興支援 7.28 ピースコンサート
 会場：因島市民会館 大ホール
 (JR尾道駅より おのみちバス「因島総合支所前」下車 徒歩5分)
 日時：平成24年7月28日(土) ※例年7月28日開催
 参列者数：650人
 連絡先：因島ピースコンサート実行委員会

式次第 (平成24年度)

1. 主催者挨拶：「因島空襲のこと」
2. 朗読：井伏鱒二作品「因ノ島」「鞆ノ浦付近」
3. 歌：「8月の空」他
4. 歌：「光ある日に…」他
5. メッセージ
6. 歌：「アイランド オブ ピース因島」他

挨拶 (平成24年度)

「因島空襲のこと」

昭和20年7月28日、生後10ヶ月の私は、母と祖母とともに、米軍の空襲によって全壊した三庄町神田の自宅の下敷きになり、仮死状態から生還し、現在まで生きてきました。

因島空襲とは何でしょうか。想像してみてください。当時の因島には、軍需工場が三庄、土生、田熊と展開していました。今の日立造船因島工場がその中心だったのです。また西浦、重井、大浜の海岸は陸軍の燃料基地だったのです。今のアムニティ公園もそうだったのです。

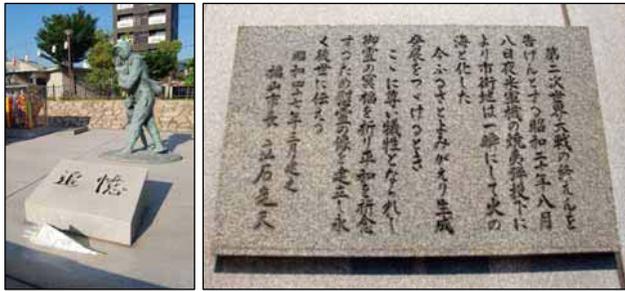
米軍は土生、三庄の工場を3月19日、7月28日と二回にわたって攻撃しました。想像してみてください。造船所で働いている者は、空からの攻撃に抵抗する術がありません。防空壕に避難できなかった子どもたちはどうなったのでしょうか。多くの従業員、船員、軍人が犠牲になりました。三庄町では、多くの子どもをはじめ17人といわれる住民がなくなりました。

事実を新聞社も報道局も伝えませんでした。行政も企業もウソをつき、事実を隠しました。現場に行って、自らの目で確かめ、空襲があったことを想像してみてください。因島公園から土佐、三庄の空襲現場がよく見えます。弓削島、生名島から土佐、三庄を見てください、工場がよく見えます。

文豪・井伏鱒二は戦後まもなく因島を訪れ、撃沈された船舶を目撃しました。しかも占領軍の言論統制の下ではありましたが、勇気をもって、それを「因ノ島」という作品にしました。また、しばらくたって「鞆ノ浦付近」という作品を発表しました。朗読をお聞かせください。

因島ピースコンサート実行委員会

9 福山市戦災死没者慰霊碑



※写真提供 福山市

基本情報

所 在：福山市中央公園
 住 所：広島県福山市霞町1-10
 (JR福山駅 徒歩10分)
 連絡先：福山市 保健福祉局 福祉部 福祉総務課 084-928-1061 (直通)
 建立者：福山市
 建立年：昭和47年3月

碑 文

【表】

追憶

【裏】

潮騒の永遠に高く 湧き立ち昇る雲なみの下
 今ふるさとに甦り 生成発展をつづけるとき
 当時を回顧し 御霊の冥福を祈り 平和を祈念
 し われら相寄り 慰霊の像を建立し 後の世
 に留める

福山市長 立石 定夫

説 明 文

第二次世界大戦の終えんを告げんとする昭和二十年八月八日夜米軍機の焼夷弾投下により市街地は一瞬にして火の海と化した
 今ふるさとよみがえり生成発展をつづけるとき
 ここに尊い犠牲となられし御霊の冥福を祈り平和を祈念するため慰霊の像を建立し永く後世に伝える

昭和四十七年三月建之
 福山市長 立石定夫

10 原爆・福山戦災死没者慰霊式



※写真提供 福山市

開催概要 (平成24年度)

歳 事 名：原爆・福山戦災死没者慰霊式
 会 場：福山市中央公園 福山市戦災死没者慰霊碑前
 (JR福山駅 徒歩10分)
 日 時：平成24年8月8日(水) ※例年8月8日開催
 参列者数：300人
 連絡先：原水爆禁止運動福山推進連盟事務局/福山市 保健福祉局 福祉部 福祉総務課 084-928-1061 (直通)

式 次 第 (平成24年度)

1. 黙 と う
2. 開 式 の こと ば：原水爆禁止運動福山推進連盟副会長
3. 献 花
4. 追 悼 の こと ば：福山市長、福山市議会議長
5. 折 り 鶴 献 納：福山市女性連絡協議会代表、保育所・幼稚園・小・中学校代表 他
6. 折 り ば ら 献 納：Rose for Peace 折りばらの会代表 他
7. 閉 式 の こと ば：原水爆禁止運動福山推進連盟副会長
8. 流 れ 献 花

追悼のことば (平成24年度)

第五十八回原爆・福山戦災死没者慰霊式が舉行されるにあたり、福山市民を代表いたしまして、追悼のことばを申し上げます。
 一九四五年(昭和二十年)八月八日二十二時二十五分頃から始まった、B二十九爆撃機九十一機による焼夷弾投下によって、本市は炎と爆音に包まれ、焦熱地獄と化し、三百五十四名にもおよぶ市民が亡くなりました。
 また、八月六日には広島市に、九日には長崎市に原子爆弾が投下され、一瞬の閃光と、身を焦がす灼熱、轟音とともに両市は瓦礫の街となり、歴史上、類をみない惨禍のなか、多くの方が被爆されじくられました。
 ここに、福山空襲・原子爆弾により尊い生命を奪われた方々に対し、謹んで哀悼の意を表します。
 戦後、我が国は、国際社会の一員として、目ざましい発展をとり、我が郷土、福山も、空襲による焼け野原からは想像も出来なかった繁栄を築いて参りました。戦後六十七年を経た今日、戦災の痕跡は姿を留めず、我々市民の意識の中にも、当時の記憶が薄れてきております。しかしながら、今なお世界の多くの地で戦争や紛争が起きております。人類の歴史を振り返っても、これまで数え切れないほどの戦争がありました。平和は、努力なくしては享受できないことを、私達は歴史から学ばなければなりません。
 恒久平和の実現には、国や人種や宗教を超えた地球規模の取り組みが必要ですが、そのためには、私たち市民一人ひとりの行動が欠かせません。
 本日の慰霊式に臨み、私達は「平和非核都市福山宣言」の精神に基づき、平和と命の尊さを再認識し、風化しつつある戦争・被爆体験を後世に伝え、再び悲しみの歴史を繰り返すことのないよう決意を新たにすると共に、平和で核兵器のない世界の実現に向けて、力を尽くすことを、ここにお誓い申し上げます。
 終わりに、原爆・福山戦災死没者の御霊の安らかならんことを、そして御遺族の御健勝を祈念申し上げます。追悼のことばといたします。

二〇一二年(平成二十四年) 八月 八日
 福山市長 羽田 皓

11 福山市戦災死没者慰霊の像（母子三人像）



※写真提供 福山市人権平和資料館

基本情報

所 在：福山市人権平和資料館
 住 所：広島県福山市丸之内1-1-1
 （JR福山駅 徒歩10分）
 連絡先：福山市人権平和資料館 084-924-6789
 建 立 者：福山市
 建 立 年：平成6年8月

碑 文

なし

説 明 文

福山市制五十五周年記念事業として、1972年に記念碑を建立。被災した母子を目撃した話をもとに、石碑でなく母子像を設置した。人権平和資料館の建設を記念して、福山空襲を象徴するものとして、1994年にもう1体、室内用に製作された。

被災母子の目撃談

8月9日の朝、火照るような暑い市中に入り、住吉町の水田の中に、母子3人の焼死体を見つけました。母親はよつん遣いになり、胸にすがりついた赤ちゃんを、片手でしっかり抱きよせ、まるで乳を飲ませるような格好でした。

そして、その母親の後ろ足を6歳くらいの子が両手でしっかりつかまえて、ひざまずいていました。着物などは焼けてしまって、遺体はまるでろう人形のようなでした。水田の中に入っていれば、水があるので助かると思ったのですが、稲は焼け、水は枯れて母子は蒸し焼きになってしまったのです。

荒木計三：談

山 口 県

1 下関市戦没者・戦災殉難者合同追悼式



開催概要 (平成24年度)

歳事名：下関市戦没者・戦災殉難者合同追悼式
 会場：下関市体育館
 (JR下関駅より サンデン交通バス「東駅」下車 徒歩1分)
 日時：平成24年10月28日(日) ※例年10月下旬開催
 参列者数：約1,300人
 連絡先：下関市 福祉政策課 083-231-1418 (直通)

式次第 (平成24年度)

1. 開 式 の 辞
2. 君 が 代 齊 唱
3. 黙 と う
4. 市 長 追 悼 の 辞
5. 来 賓 追 悼 の 辞
6. 献 花
7. 遺 族 代 表 謝 辞
8. 閉 式 の 辞
9. 一 般 遺 族 献 花

追悼の辞 (平成24年度)

追悼の辞

本日ここに、戦没者・戦災殉難者のご遺族並びに関係各位、多数のご参列のもと、合同追悼式を挙げるに当たり、全市民を代表し、謹んで追悼の言葉を申し上げます。

終戦から67年の歳月が過ぎりました。

あの苛烈を極めた戦いの中で、家族を案じ、郷土を思いつつ、心ならずも戦場に倒れ、戦禍に遭われ、あるいは戦後、遠い異郷の地で、数多くの方々が飢えや病に苦しみながら帰らぬ人となりました。また、激しい空襲により、お年寄りや女性、子どもの別なく尊い生命が無残にも奪われました。

これらの方々の無念を思うとき、悲痛の思いが尽きることなく込み上げてきます。改めて、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

そして、最愛の肉親を亡くされ、決して癒されることのない悲しみを抱えながら、郷土の再建と発展に尽くされたご遺族の皆様のご努力に対し、深く敬意を表します。

私たちは、過去を謙虚に振り返り、戦争の悲惨さを思い、今日の平和で豊かな繁栄は、家族や祖国のために命を落とされた幾多の尊い犠牲があったということを決して忘れてはなりません。

本日この式典にあたり、真に平和な世界を実現するために、一層の努力を惜しまないことを改めてお誓い申し上げ、戦没者・戦災殉難者の御霊(みたま)の安らかならんこと、そしてご遺族の皆様のみますますのご健勝をお祈りし、私の追悼の言葉とさせていただきます。

平成24年10月28日
 下関市長 中尾 友昭

2 清和園の地藏尊 (幸せ地藏)



基本情報

所 在： 幸町保育園前、市営住宅 清和園アパート 隣
 住 所： 山口県下関市幸町18-6
 (JR下関駅より 車5分)
 連絡先： 町内会有志
 建 立 者： 市民有志
 建 立 年： 昭和40年代 中頃

碑 文

なし

経 緯

…(昭和20年)7月2日午前零時10分頃、(下関に)第2回目の空襲がありました。

(中略)

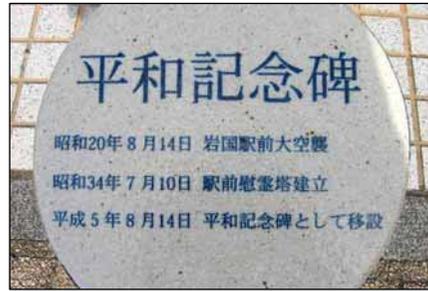
…当時、清和園に逃げた70何人の人が空襲時の火災が原因で全員焼け死んだということがありました。その1週間ばかりあとに老婦人が「主人の供養をしてくれ」と寺にこられました。話を聞いてみると、その老婦人を含めた70何人は、消火活動をしながら火勢に追われて次第に清和園の高台に登ることになったと申します。ところが、下界は一面の火の海、その火が高台の側面を周囲から這い登って、しかもそれは上に逃げないで、高台の上面をなでるようになめたそうで、またたく間に焦熱地獄となりました。

(中略)

最初は衣服に付いた炎を払っていましたが、次第にそれもむつかしくなり、誰からともなく、みんな念仏を唱え始めました。そして、その声が1人減り、2人減りして、ついに途絶え、ただ何か焼ける音のみが、しばらくは続いていたそうです。

出典：西之端本通会結成20周年記念「にのしのはし」(昭和47年2月刊)
 多田了道(教法寺)証言より

3 平和記念碑



※写真提供 麻里布地区自治会連合会

基本情報

所 在：麻里布町第三街区公園
 住 所：山口県岩国市麻里布町3-9-1
 (JR岩国駅 徒歩10分)
 連絡先：麻里布自治会館 0827-21-2655
 建 立 者：岩国市
 建 立 年：昭和34年7月10日

碑 文

平和記念碑

昭和20年8月14日 岩国駅前大空襲
 昭和34年7月10日 駅前慰霊塔建立
 平成5年8月14日 平和記念碑として移設

4 岩国駅前戦災死没者慰霊祭



※写真提供 麻里布地区自治会連合会

開催概要 (平成24年度)

歳 事 名：岩国駅前戦災死没者慰霊祭
 会 場：麻里布町第三街区公園 ※平成24年度は雨天のため麻里布自治会館にて開催
 (JR岩国駅 徒歩10分)
 日 時：平成24年8月14日(火) ※例年8月14日開催
 参 列 者 数：80人
 連 絡 先：麻里布地区自治会連合会 0827-21-2655

式 次 第 (平成24年度)

1. 黙 禱
2. 読 経
3. 祭 祀：木村建彦連合会会長
4. 慰 霊 の 言 葉：岩国市長・岩国市議会議長
5. 焼 香
6. 電 報 披 露
7. 閉 会

慰霊の言葉 (平成24年度)

慰霊の言葉

本日ここに、麻里布地区自治会連合会主催による平成二十四年度岩国駅前戦災死没者慰霊祭がご遺族の皆様並びに関係者の方々のご列席のもと執り行われるにあたり、謹んで慰霊のことばを申し上げます。
 先の大戦が終りを告げてから六十七年目を迎えました。
 我が国は、終戦の混乱の中から立ち上がり、現在、国際社会に貢献する成熟した平和国家となりました。
 ふるさと、岩国の地もまた、豊かな地域を育み平和な暮らしがおとずれています。
 慰霊祭がございますこの児童公園も今では、青々とした芝生が根付き、市民の憩いの広場となっており、先日も、市民の皆様の手で清掃が行われ、今日の日を迎えております。
 ここに、空襲で亡くなられました皆様の無念に思いをはせ、在りし日のお姿をお偲び申し上げ、謹んで哀悼の意を表すものでございます。
 また、ご遺族の皆様方には、戦後の混沌とした中で、幾多の困難を乗り越え今日まで歩んでこられました、そのご努力とご苦労に、改めて敬意を表する次第でございます。
 大戦から六十七年の歳月が過ぎ、戦争を知らない世代が増えていく中で、市民一人一人が、岩国での空襲の事実を今一度深く心にとどめ、戦争による尊い犠牲と悲しみの記憶を再認識し、次の世代に継承していくことが、私たちの使命であると思っております。
 今、皆様がよくよく愛したふるさと岩国は新しいまちづくりが動き出し、大きな飛躍の時を迎えております。
 私も、この新しいまちづくりをより一層推進し、安全で安心して暮らすことのできる岩国の実現に向けて、市民の皆様とともに、全力で取り組んでまいりますこととお誓いするものであります。
 ここに、ご遺族の方々をはじめ、皆様とともに、御霊の安らかならんことを心からお祈りし、慰霊祭を主催されました麻里布地区自治会連合会並びに関係者の方々に敬意を表しまして私の慰霊のことばといたします。

平成二十四年八月十四日
 岩国市長 福田良彦

5 和 (爆弾投下中心地)



昭和20年8月14日、第2次世界大戦に於いて、岩国駅前地区空襲に依りて受難された方々のご冥福を祈ると共に戦争の恐ろしさと平和の尊さを祈念しここに碑を建立する
平成7年8月14日



基本情報

所在：JR岩国駅 西口
住所：山口県岩国市麻里布町一丁目 (JR岩国駅 徒歩1分)
連絡先：不明
建立者：不明
建立年：平成7年8月14日

碑文

【表】

和

昭和20年8月14日、第2次世界大戦に於いて、岩国駅前地区空襲に依りて受難された方々のご冥福を祈ると共に戦争の恐ろしさと、平和の尊さを祈念しここに碑を建立する

平成7年8月14日

【裏】

爆弾投下中心地

6 光市戦没者追悼式



※写真提供 光市

開催概要 (平成24年度)

歳事名：光市戦没者追悼式 ※一般戦災死没者を含む
 会場：光市民ホール
 (JR光駅より 中国JRバス「島田市」下車 徒歩5分)
 日時：平成24年8月18日(土) ※例年8月中旬開催(第3土曜日)
 参列者数：220人
 連絡先：光市 福祉総務課 福祉総務係 0833-74-3000 (直通)

式次第 (平成24年度)

1. 開 式
2. 国歌 斉唱
3. 黙 とう
4. 式 辞：光市長 市川 照
5. 追 悼 の 辞：光市議会議長 中本和行 山口県知事 二井関成
山口県遺族連盟会長 市來健之助
6. 献 花
7. 児童合唱団ひかりによる合唱
8. 光紙芝居による紙芝居上演
9. 閉 式

式 辞 (平成24年度)

本日ここに、戦没者ご遺族並びにご来賓を始め、多くの方々のご参列を賜り、平成24年度光市戦没者追悼式を挙げるにあたり、戦禍の犠牲になられた方々の御霊に対し謹んで哀悼の誠を捧げ、光市連合遺族会・光「回天」の会・光市連合婦人会・光市老人クラブ連合会・海光会及び光市を代表して式辞を申し上げます。

終戦から67年の歳月が過ぎました。先の大戦においては、多くの方々が祖国を思い、家族の安泰を願いながら、戦場に散り、戦禍に倒れ、遠い異郷の地で亡くなられ、国内におきましても、激しい空襲により数多くの尊い命が失われましたことは、私たち日本国民にとって永遠に忘れることができない深い悲しみであります。

遺族の皆様におかれましては、最愛の肉親を失われた深い悲しみに耐え、幾多の苦難を乗り越えて、今日まで歩んでこられましたご労苦を拝察いたしますと、痛惜の念を深くするものであります。

私は、去る8月14日12時20分、光海軍工廠空襲追悼の鳴り渡るサイレンに合わせ黙祷し、本市における多くの犠牲者のご無念に思いを馳せ、今日の繁栄の礎となられた多くの御霊に対して、追悼の誠を捧げ、市民の皆様とともに、世界の恒久平和実現への誓いを新たにいたしましたところであります。

今や戦争の悲劇を知らずに育った世代が全人口の8割に迫る中、私たちは、先の大戦で学んだ幾多の教訓を決して風化させることがあってはなりません。

(中略)

本日の戦没者追悼式にあたり、多くの御霊の御遺志を受け継ぎ、真に平和で豊かな社会を実現するために、悲惨な戦争で日本国民が負った苦しみ、そして、ここ光市を襲った大空襲の真実を忘れることなく、後世に伝え、恒久平和への誓いを新たにいたしますとともに、光市の限りない発展のため、市民の皆様とともに更に力を合わせて、「やさしさ」あふれるまちづくりに全力で取り組んで参りますことを、ここにお誓い申し上げます。

終わりに、戦没者の御霊の安らかならんことを、そして、御遺族並びに御列席の皆様方のご健勝、ご多幸を心から祈念申し上げます。式辞といたします。

平成24年8月18日
 光市戦没者追悼式実行委員長 光市長 市川 照

7 周南市戦没者追悼式



※写真提供 周南市

開催概要 (平成24年度)

歳事名：周南市戦没者追悼式 ※一般戦災死没者を含む
 会場：周南市文化会館
 (JR徳山駅 徒歩20分 防長交通バス「動物園文化会館入口」下車 徒歩1分)
 日時：平成24年5月10日(木) ※例年5月10日開催
 参列者数：500人
 連絡先：周南市 福祉部 生活支援課 福祉調整担当 0834-22-8465 (直通)

式次第 (平成24年度)

1. 開式のことば
2. 一 同 一 拝
3. 国歌 斉 唱
4. 黙 と う
5. 追 悼 の 辞：周南市長、山口県知事、周南市議会議長、周南市連合遺族会会長
6. 献 花
7. 主 催 者 あ い さ つ
8. 閉 式 の こと ば

追悼の辞 (平成24年度)

本日ここに、戦没者のご遺族をはじめ、来賓の方々多数のご列席をいただき、平成24年度周南市戦没者追悼式を執り行うに当たり、先の大戦において、国の内外における苛烈な戦いの中で、ひたすら祖国の安泰を願い、愛する家族の身を案じながら戦禍に倒れられた4千5百余名の本市出身の戦没者及び戦災死亡者の方々に対しまして、謹んで哀悼の意を表しますとともに、心からの御冥福をお祈り申し上げます。

また、かけがえない最愛の肉親を失いながらも、その深い悲しみを乗り越え、今日まで戦没者のご供養とともに、地域社会の発展に尽くしてこられましたご遺族の皆様に、衷心より感謝と敬意を捧げます。

先の大戦が終結して67年の歳月が過ぎ、戦争を直接知る世代が少数となる今日ですが、私たちの平和な毎日は、ひとえに戦没者の尊い犠牲の上に培われたものであることを未来永劫忘れてはなりません。

この悲惨な戦争の教訓を風化させることなく、平和の尊さを次の世代に語り継ぎ、再び悲しみの歴史を繰り返さないことが、私たちに課せられた責務であり、犠牲となられた方々に報いる道であると確信しております。

本日の追悼式に当たり、戦没者の方々のふるさとへの思いを生かすべく、市民と職員そして地域が共に手を携え、力と知恵を結集し、安心安全に暮せ、人のいのちが最優先の魅力的なまちづくりに全力を尽くしていくことをお誓い申し上げます。

終わりに臨みまして、戦没者の方々の御霊が永久に安らかでありますようお願いし、併せて、ご遺族並びにご列席の皆様方のご平安とご健勝を心から祈念申し上げまして追悼のことばといたします。

平成24年5月10日
 周南市長 木村 健一郎

8 太平洋戦争被災復興ここに成る



基本情報

所 在：代々木公園
住 所：山口県周南市代々木通2丁目
(JR徳山駅 徒歩5分)
連絡先：周南市 0834-22-8211 (代表)
建 立 者：徳山市 (現 周南市)
建 立 年：昭和35年9月28日

碑 文

【表】

太平洋戦争被災
復興ここに成る

【モニュメント・裏】

徳山市戦災復興誌

一、罹災状況
昭和二十年五月十日 空襲
昭和二十年七月二十六日 空襲
罹災面積 一、〇八〇、〇〇〇坪
焼失家屋 四、六二二戸
罹災人口 一六、五一二人
罹災死没者 四八二名

二、戦災復興経過

徳山市は山口県中部に位し海陸要衝の地であり 且この地方の産業経済文化の中心地として繁栄してきた

明治三十八年海軍練炭所が開設せられ大正十年に燃料廠に改められ戦時は燃料基地として海軍要港となり飛躍の途上不幸にも戦火に因り本市幾世代に亘って築かれた歴史的建設が一朝にして灰燼に帰し茫然自失の状態であったが、ほうはいたる復興の意欲に立ち上り禍を転じて福となすべく決意を新たにして理想都市たる大徳山市建設を目途し戦後直ちに戦災復興計画立案に着手したのである。

かくして昭和二十一年十月九日戦災復興特別都市計画として指定され施工面積七四五、〇〇〇坪の区域を持って事業決定を受けて昭和二十二年三月二十八日区画整理の衝に当る工地区画整理委員会の発足とともに、戦災復興に着手、爾来この困難な事業を常に市民一体となって近代都市建設を目指し營々として努力してきた。

その後昭和三十年三月三十一日再検討五箇年計画により区域五五〇、〇〇〇坪に変更、更に事業を進め総事業費七億式千式百七拾九萬壹千圓をもって茲に戦災復興の完成を見るに至ったのである。

昭和三十五年九月二十八日

整理施行者

徳山市長 黒神直久

9 慰霊碑



基本情報

所在：児玉公園
住所：山口県周南市桜馬場通一丁目
(JR徳山駅 徒歩8分)
連絡先：個人であり記載せず
建立者：市民有志
建立年：昭和56年12月

碑文

【慰霊塔・表】

慰霊碑

【慰霊塔・裏】

昭和五十六年十二月吉日建立

【台座・表】

御霊
安らかに
眠りたまえ

徳山市連合遺族会
徳山市戦災遺族会

【台座・裏】

芳魂録
(故人名)

平成六年四月吉日
徳山市連合遺族会
徳山市戦災遺族会

四

国

徳 島 県

1 徳島戦災死没者追悼式



※写真提供 徳島市

開催概要 (平成24年度)

歳事名：徳島戦災死没者追悼式
 会場：とくぎんトモニプラザ (徳島県青少年センター)
 (JR徳島駅より 徒歩10分)
 日時：平成24年7月4日(水) ※例年7月4日開催
 参列者数：80人
 連絡先：徳島戦災遺族会事務局 (徳島市保健福祉部保健福祉政策課内) 088-621-5562

式次第 (平成24年度)

1. 開 会
2. 黙 祷
3. 式 辞：徳島戦災遺族会会長 片山光男
4. 追 憶 の 辞：徳島県知事、徳島県議会議長、徳島市長、徳島市議会議長
5. 追 悼 電 報
6. 献 花
7. 閉 会

式 辞 (平成24年度)

本日、ここに平成二十四年度徳島戦災死没者追悼式を挙げるにあたり、遺族会を代表し謹んで追悼の誠を申しあげます。
 顧みますれば、昭和二十年七月三日から四日にかけて、また、それに相前後した米空軍の爆撃を受けた徳島市民は、火災の中を家族と離ればなれとなり、必死になって肉親を求めつつ地獄の火中を逃げまどったのであります。
 しかしながら、最愛の肉親とは二度と言葉をかわすことは出来なくなりました。
 今、大戦の犠牲となられた諸霊の前にたち、在りし日の面影を忍びますとき、万感胸に迫るものがあります。
 あの徳島大空襲から六十七年、私達は犠牲となられた諸霊の面影を胸に秘め、ひたすら徳島の発展を信じ、戦後のこんとんとした世相を力の限り生き抜いてまいりました。
 幸い、私達遺族は一致団結し相互の融和を計り、現在ではそれぞれの分野で社会に貢献することが出来ておりますことは諸霊の尊い教訓と、御加護のたまものであります。
 私達遺族は、諸霊のこしえに安からんことを祈るため、戦争の悲惨さを語り継ぎ、平和であることの尊さを強く訴えているところであります。
 願わくば、私達のこの決意に対し、在天の光として御加護を賜りますようお願い申し上げるものであります。
 終わりにりましたが、本追悼式に格段の御援助をいただきました関係各位に対し、厚く御礼を申し上げますとともに、諸霊の御冥福をお祈りいたしまして式辞といたします。

平成二十四年七月四日

徳島戦災遺族会 会長 片山 光男

2 徳島戦災犠牲者慰霊塔



※写真提供 徳島市



基本情報

所 在：徳島中央公園内 東二の丸天守跡
 住 所：徳島県徳島市徳島町城内1番外
 (JR徳島駅 徒歩10分)
 連絡先：徳島市 保健福祉政策課 088-621-5562 (直通)
 建立者：遺族有志
 建立年：昭和30年7月4日

碑 文

【表】

徳島戦災 慰霊塔
 犠 牲 者

【裏】

昭和二十年太平洋戦争ノ終末ニ近
 ツクヤ米國空軍大挙シテ日本全部
 市ヲ爆撃ス徳島市亦コノ災ヲ免ル
 能ハス同年七月四日未明一瞬ニシ
 テ灰燼ニ帰ス市内ニ在ツテ命ヲ失
 シモノ一千七百有餘市外縣外並ニ
 外地ニ在リ前後シテソノ厄ニ遇フ
 縣人亦二百五十餘慘禍ノ甚タシキ
 言語ニ絶ス爾來十年猶ソノ靈ヲ弔
 フコト至ツテ薄シ徳島戦災死没者
 遺族会之ヲ遺憾トシ相議シテ戦禍
 十周年ヲトシ慈ニ塔ヲ建テテ慰霊
 /誠ヲ具顯ス
 惟フニ死没ノ靈ソノ非命ヲ恨ムヤ
 論ヲ俟タス然レトモ又己ヲ奉シテ
 以テ戦争根絶ヲ願フノ念切ナルモ
 ノアルヘシ
 冀クハ遺族会ノ衷情之ニ感應シテ
 ソノ靈ヲ慰メ以テ吾界永遠ノ平和
 確立ニ資センコトヲ

昭和三十年七月四日
 岡本優撰併書

3 平和之碑



基本情報

所 在： 那賀川町中島 那賀川鉄橋手前(阿波中島駅側)
 住 所： 徳島県阿南市那賀川町中島
 (JR阿波中島駅 徒歩10分)
 連絡先： 個人であり記載せず
 建立者： 那賀郡那賀川町婦人会
 建立年： 平成17年12月

碑 文

平和之碑

太平洋戦争末期、奪回された南の島々を拠点に本土への空襲が熾烈となり、都市という都市はB29の空襲で焼野原と化し、県都徳島市も一夜にして壊滅状態となる。田園の閑静なわが町にも惨禍の爪痕が刻まれた。

昭和二十年七月三十日午後四時頃、満員の乗客をのせた五輛編成の牟土岐行の列車が中島駅を発車、那賀川鉄橋にさしかかった時、突然甲高い爆音とともに艦載機グラマン二機が飛来、列車めがけて投爆と機銃掃射を浴びせた。

列車の天井も座席も吹き飛び車軸は大きく傾き鉄橋の上で立往生、その動かぬ標的に容赦なく機銃掃射をくり返す鉄橋の線路つたいに逃げまどう者、たまたらず川にいくつもの悲鳴が落ちていく。車内は一面肉片が散乱し血の海と化す。三十余名が死亡二十余名の重軽傷者を出す。

直ちに警防団、婦人会、町内会の人々による必死の救援が始まり死者は横井製材の土場に安置、重傷者はトラックで共栄病院へ、軽症者は益崎医院へと迅速果敢に活動、その夜西光寺で営まれた仮通夜で冥福を祈る。

時は流れ三十三年後、法要が盛大に行われた参列者の体験見聞記の小冊子「憶、七月三十日」が作られた。平成十年県婦人会の戦争を語り継ぐ会で「那賀川鉄橋列車爆撃」と題して紙芝居を発表、以来毎年夏には小中学生や一般の方にも語り続けられている。

戦乱に明け暮れた日々を必死に生き抜いてきた女性故に真剣に平和を願うものである。

戦争の愚かさや残酷さ、悲惨さをくりかえさないよう平和の尊さ、命の大切さを次の世代に語り継ぐため戦後六十周年を記念し、石碑に刻みここに平和の碑を建立する。

平成十七年十二月吉日

事業概要

那賀川鉄橋列車爆撃 一九四五 七月三十日
 死者三十余名 負傷者二十余名
 三十三回忌法要 一九七八 七月三十日
 小冊子「憶！七月三十日」中島老人会作
 県戦争を語り継ぐ会 一九九八 那賀川町婦人会
 紙芝居制作発表「那賀川鉄道列車爆撃」
 石碑建立 二〇〇五 六十周年記念事業
 那賀郡那賀川町婦人会

香 川 県

1 高松市戦災犠牲者慰霊堂（六角堂）・慰霊之碑



基本情報

所 在：高松市戦災犠牲者慰霊堂（六角堂）
 住 所：香川県高松市中野町8-10
 （JR栗林公園北口駅 徒歩1分）
 連絡先：六角堂保存会
 建立者：六角堂保存会
 建立年：高松市戦災犠牲者慰霊堂（六角堂）…平成 7年2月
 慰霊之碑 …平成15年7月

碑 文

高松市戦災犠牲者慰霊堂
 六角堂 建立由来記

一九四五年（昭和二〇）七月四日未明、ここ高松市は米空軍B29戦略爆撃機一六機による、焼夷弾の絨毯攻撃を受ける。
 被害地域は、市街地の約八〇％、被害建築物一八、九一三戸、罹災者八六、四〇〇人（当時の人口約十三万人の約六〇％）。死者一、三五九名。
 一夜明ければ、東の空から血の固まりのような太陽が、ゆらゆらと昇り、昨日までそこに在った高松の町並みは見るも無残な廢墟と化し、道端には屍が累々と横たわっていた。特に栗林公園北門の稲荷神社から馬場先の水路に沿う三角地帯の死者はおびただしい数にのぼり、戦後いち早く、この痛ましい場所に石地蔵を建て供養しようと話が持ち上がり、中野町の三角遊園地に「すがり地蔵」を祀り、毎年七月四日慰霊祭が行われていた。その後、高松市戦災犠牲者遺族会が結成され、一九五八年（昭和三三）五月、高松市所管の現在地（高松市中野町八の八）に丹朱の六角堂を建立、毎年七月三日に遺族会主催による佛式の慰霊祭が行われてきたが、六角堂の老朽化が著しくなったため、一九九四年（平成六）装い新たな白壁の六角堂に改修、無宗教の慰霊祭が執り行われ今日に至っている。
 “よい戦争はない、悪い平和はない”。これを「タカマツの心」として、この六角堂に鎮めます御霊を守り続けて行かねばならぬ。

一九九五年（平成七年）
 二月吉日 記

慰霊之碑

一九三七年（昭和十二年）蘆溝橋の地に端を發し日中戦争が勃發、さらに一九四一年（昭和十六年）ハワイ真珠湾攻撃により太平洋戦争に突入。
 国民の不安の中、高松市は終戦四十二日前の一九四五年（昭和二十年）七月四日未明、米軍のB29爆撃機百六機による一時間半にわたる空襲を受け市街地の約八割が焦土と化し、老若男女合わせて千三百五十九名の尊い命が奪われました。
 遺族の深い悲しみとこの悲惨な戦争を永久に忘れることなく、戦争の犠牲になられた方々の冥福を祈ると共に、犠牲者のおびただしかったこの地に、鎮魂と平和への願いを込めて慰霊之碑を建立する

平成十五年七月吉日

（故人名）

2 六角堂保存会慰霊事業



開催概要（平成24年度）

歳事名：六角堂保存会慰霊事業
 会場：高松市戦災犠牲者慰霊堂（六角堂）
 （JR栗林公園北口駅 徒歩1分）
 日時：平成24年7月3日（火） ※例年7月3日開催
 参列者数：約100人
 連絡先：六角堂保存会

式次第（平成24年度）

1. 開式挨拶
2. 黙とう
3. 六角堂保存会 会長挨拶
4. 幼稚園児童合唱
5. 献花
6. 閉式挨拶

挨拶（平成24年度）

ご来賓のみなさま、ご参列のみなさま、朝早くからお越しくださいます、誠にありがとうございます。
 今日、初めてここにお越しになられた方もいらっしゃると思いますので、私どもの会について、少しご説明をさせていただきます。私どもの会の前身は高松市戦災犠牲者遺族会と申しまして、昭和三十一年に設立されました。今年で五十六年の歴史がございます。
 六角堂保存会は、昭和三十一の御霊をここでお祀りし、毎年七月三日に犠牲者の平安をお祈りし、供養をしてきている団体でございます。
 前に見えますこの建物は、高松市戦災犠牲者慰霊式で、通称、六角堂と呼ばれておりまして、昭和三十三年に建立され五十六年たっております。
 この地の供養のために正面に『すがり地蔵』のお地藏様が奉斎されております。作者名はわかりませんが、中の置かれておりますものは、その当時のものです。両サイドに小中学校・市民文化センターから寄贈されました、折鶴を置いております。
 また、後方の慰霊碑もちょうど、今日で10年を迎えます。十年前の今日は雨が降っておりまして、月日の早さに驚きます。高さが2メートル、横が8メートル、幅が30センチのものです。1359柱のお名前を刻んでおります。
 今日、ご来賓の中で、高松空襲でご家族を失うという辛い経験をされ、のちにお父様のご意思を継いでご住職様となられ、語り部の会、講演会とご活躍の、さぬき市の伝西寺の前住職 間島信良様をお招きいたしております。
 また、亀岡町の高松幼稚園から、年長さん28名をお迎えし、きょうのために2曲歌を歌っていただけるそうでございます。高松幼稚園のご父兄のみなさま、今日はお越しいただきありがとうございます。若い方に知っていただけることがありがたいことだと思っております。
 私ども犠牲者の方の供養をするのと同時に、この日はまた、平和に感謝する日でもありました。しかし、震災が起こり、また、日本中が悲しみに包まれました。1日も早い復興を願って、今日も慰霊事業をしたいと思っております。
 最後に、ご参列のみなさまのご健勝とご多幸をお祈りいたしましてご挨拶にかえさせていただきます。

3 高松市戦争犠牲者追悼式



※写真提供 高松市

開催概要 (平成24年度)

歳事名：高松市戦争犠牲者追悼式 ※一般戦災死没者を含む
 会場：サンポートホール高松
 (JR高松駅 徒歩3分)
 日時：平成24年10月10日(水) ※例年10月初旬開催
 参列者数：350人
 連絡先：高松市健康福祉局健康福祉総務課 087-839-2372 (直通)

式次第 (平成24年度)

1. 開式のことば
2. 一同拝礼
3. 黙とう
4. 式辞
5. 来賓追悼のことば
6. 献花
7. 市長あいさつ
8. 閉式のことば

式辞 (平成24年度)

本日、高松市戦争犠牲者追悼式を挙げるに当たり、戦災犠牲者を始め、太平洋戦争陸海軍戦没者や外地犠牲者など、10,664柱の御霊に対しまして、謹んで追悼のことばを捧げます。

ここに鎮まります御霊は、先の大戦において、ひたすら祖国の安泰と繁栄を願い、そして御家族の無事を気遣いつつ戦地に赴き、かけがえない命を落とされた方々、また、開拓者として外地に赴き、はるか異郷の地にあって戦禍に殉ぜられた方々、さらには、戦争終結を目前にしながら、あの熾烈を極めた高松空襲に遭い、痛ましくも犠牲になられた方々でございます。ここに、高松市民を代表し、追悼の誠を捧げますとともに、心から御冥福をお祈り申し上げます。

最愛の肉親を失われた御遺族の皆様におかれましては、決して癒されることのない深い悲しみに耐え、幾多の苦難を乗り越えながら一家を支え、立派に子弟を養育し、また、家業に精励してこられた、今日までの長きにわたる並々ならぬ御苦労に対し、ここに改めて心から御慰労申し上げ、敬意を捧げるものでございます。

先の大戦から、はや67年の歳月が過ぎ去り、御霊がこよなく愛された、ふるさと高松は、市民の皆様の、たゆみない御努力により、県都として、また環瀬戸内海圏の中核都市として目覚ましい発展を遂げてまいりました。

しかしながら、今日、私たちが享受する、この平和と繁栄は、戦禍に倒れられた数多くの御霊の尊い犠牲の上に築かれたものであることを決して忘れてはなりません。

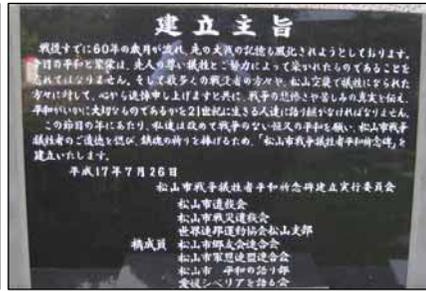
私たちは、過去の不幸な戦争を謙虚に振り返り、二度と惨禍を繰り返すことのないよう、平和の尊さを次の世代にしっかりと語り継ぐとともに、共に力を合わせ、偉大な先人によって築かれた郷土・高松を更に大きく発展させるため、未来の子どもたちに誇れる平和なまちづくりに、全力を傾注してまいります所存でございます。

願わくば、在天の御霊におかれましては、新しい郷土の平和と繁栄を御照覧いただき、どうか安らかにお眠りいただきますとともに、御遺族の皆様に限らない御加護を賜りますよう、心からお祈り申し上げ、追悼のことばといたします。

平成24年10月10日
 高松市長 大西 秀人

愛媛県

1 松山市戦争犠牲者平和祈念碑



基本情報

所 在：松山市平和記念広場
 住 所：愛媛県松山市道後姫塚乙22-1
 (伊予鉄道 道後温泉駅 徒歩10分)
 連絡先：松山市 市民部 市民参画まちづくり課 089-948-6814 (直通)
 建立者：松山市
 建立年：平成17年7月26日

※一般戦災死没者を含む

碑 文

【表】

平和

松山市戦争犠牲者
平和祈念碑

【裏】

建立主旨

戦後すでに60年の歳月が流れ、先の大戦の記憶も風化されようとしております。今日の平和と繁栄は、先人の尊い犠牲とご努力によって築かれたものであることを忘れてはなりません。そして数多くの戦没者の方々や、松山空襲で犠牲になられた方々に対して、心から追悼申し上げますと共に、戦争の悲惨さや苦しみの真実を伝え、平和がいかに大切なものであるかを21世紀に生きる人達に語り継がなければなりません。この節目の年にあたり、私達は改めて戦争のない恒久の平和を願い、松山市戦争犠牲者のご遺徳を偲び、鎮魂の祈りを捧げるため、「松山市戦争犠牲者平和祈念碑」を建立いたします。

平成17年7月26日

松山市戦争犠牲者平和祈念碑建立実行委員会
 松山市遺族会
 松山市戦災遺族会
 世界連邦運動協会松山支部
 松山市郷友会連合会
 松山市軍恩連盟連合会
 松山市 平和の語り部
 愛媛シベリアを語る会

2 松山市戦争犠牲者平和祈念追悼式



開催概要 (平成24年度)

歳 事 名：松山市戦争犠牲者平和祈念追悼式 ※一般戦災死没者を含む
 会 場：松山市平和記念広場 松山市戦争犠牲者平和祈念碑前
 (伊予鉄道 道後温泉駅 徒歩10分)
 日 時：平成24年7月26日(木) ※例年7月26日開催
 参列者数：約100人
 連絡先：松山市 市民部 市民参画まちづくり課 089-948-6814 (直通)

式次第 (平成24年度)

1. 開 式：司会
2. 黙 祷
3. 式 辞：松山市平和祈念実行委員会 会長
4. 供花・追悼のこぼし：松山市長
追悼のこぼし：遺族代表
5. 電 報 披 露
6. 作 文 朗 読：拓南中学校1年生 代表
7. 献 歌 斉 唱：千の風になって/故郷
8. 献 花：代表/来賓/一般
9. 閉 式

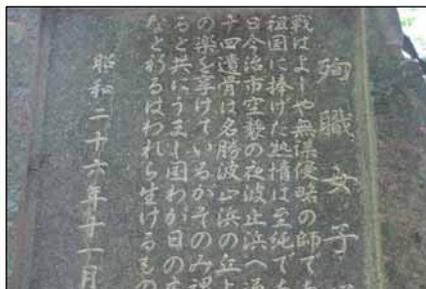
追悼のこぼし (平成24年度)

松山市戦争犠牲者平和祈念追悼式追悼のこぼし

本日ここに、松山市戦争犠牲者平和祈念追悼式が挙行されるに当たり、松山市民を代表し、先の大戦における戦争犠牲者の御霊に語り追悼の誠を捧げます。
 先の大戦で、国内外において、多くの尊い命が失われましたことは、私たち松山市民にとりましても、永遠に忘れることのできない悲しい出来事であり、痛恨の極みでございます。
 本市におきましても、六十七年前の昭和二十年七月二十六日、B29の焼夷弾攻撃により、市民の必死の消火活動の甲斐もなく、市街地の大半は灰燼に帰し、多くの市民の方々が罹災されました。
 とりわけ、最愛の肉親を亡くされた御遺族の御心情を拝察すると、お慰めの言葉もありません。一家の柱を失い、苦難に耐えながら自らを鼓舞することを忘れず、立派に子供を養育し、また、家業に精励してこられた御努力は、万人相認めるところであり、心から敬意を表する次第でございます。
 また、戦後六十余年を経て、今や本市は先人の復興への不撓の御尽力により、四国最大の都市として、着実に発展を遂げてまいりました。このことは、戦争のため亡くなられた皆様の尊い存在が礎となっていることを忘れてはなりません。
 私たちは、今一度、戦争で学び取った教訓を深く心に刻むとともに、永く後世に伝え、再びあのような惨禍を繰り返すことのないよう世界の恒久平和の実現に向けて、更なる努力を続けてまいりたいことを固くお誓い申し上げます。
 ここに、戦争犠牲者の御冥福をお祈り申し上げますとともに、今後とも我が国の繁栄と平安を見守っていただくことを念じ、あわせて御参会の皆様の御健勝、御多幸を心から祈念いたしまして、追悼の言葉といたします。

平成二十四年七月二十六日
松山市長 野志 克仁

3 殉職女子学徒追憶之碑



基本情報

所 在：愛媛県護国神社
 住 所：愛媛県松山市御幸1-476
 (伊予鉄道「赤十字病院前」電停 徒歩10分)
 連絡先：愛媛県護国神社 089-925-2353
 建 立 者：松山市
 建 立 年：昭和43年5月

碑 文

【表】

殉職女子学徒追憶之碑

【裏】

殉職女子学徒追憶の碑

戦はよしや無謀侵略の師であつたにしてもこれら乙女達はその最期まで祖国に捧げた熱情は至純であつた 時恰も終戦直前の昭和二十年八月五日今治市空襲の夜 波止浜へ通ずる通稱近見縣道に於て散つた真白の花二十四遺骨は名勝波止浜の丘上に安らげく眠つて戦なく争なき天国に久遠の樂を享けているが そのみ魂をこゝに請じて亡き友への追慕の誠を捧げると共に うまし国わが日の本のこの地上に永遠に戦火の災あらしめ給うなど祈るはわれら生けるものゝ心からなる願ひである

昭和二十六年十一月
 安倍能成題字 真鍋士鴻書丹
 坂本良介選文 同窓生有志建之

殉職者 愛媛縣立松山城北高等女学校

(故人名)

同 愛媛縣立松山高等女学校

(故人名)

4 戦災復興記念碑



基本情報

所 在：愛媛県美術館前
 住 所：愛媛県松山市堀之内
 （伊予鉄道「南堀端」電停 徒歩1分）
 連絡先：松山市 市民部 市民参画まちづくり課 089-9448-6814（直通）
 建立者：松山市
 建立年：昭和43年5月

碑文

戦災復興記念

昭和十六年に勃発した太平洋戦争により松山市は同二十年七月二十六日午後十一時三十分焼夷弾爆撃をうけた。この空襲によって被災面積四・七九平方千米罹災戸数一四、三〇〇戸罹災者六二、二〇〇名死者行方不明二五九名に達し、市街地の大半は灰燼に帰した。

その後二十余年全市民の努力により、全国戦災地にさきがけて復興を遂げ四国における政治経済文化の中心となり三十万都市として隆盛をみるにいたった。

ここに復興再建にあたり尊い犠牲者の霊に対して敬虔な祈りを捧げ松山市の発展を祈念し戦災復興記念事業としてこれを建立する。

昭和四十三年五月
 松山市長 宇都宮孝平

5 戦没者・戦災死没者並びに消防・警察殉職者追悼式



※写真提供 今治市

開催概要 (平成24年度)

歳事名：戦没者・戦災死没者並びに消防・警察殉職者追悼式
 会場：今治市総合福祉センター 4階多目的ホール
 (JR今治駅 徒歩8分)
 日時：平成24年10月4日(木) ※例年10月開催
 参列者数：220人
 連絡先：今治市 健康福祉部 福祉政策課 0898-36-1525 (直通)

式次第 (平成24年度)

1. 開 式
2. 国 歌 斉 唱
3. 黙 と う
4. 献花並びに追悼のこぼし：今治市長 菅 良二、今治市議会議長、今治市遺族会会長
5. 電 報 披 露
6. 献 花
7. 遺 族 代 表 あ い さ つ
8. 閉 式

追悼のこぼし (平成24年度)

本日ここに、第61回戦没者、戦災死没者並びに消防・警察殉職者の追悼式をご遺族および各界の方々のご参列をいただき厳かに執り行なうにあたり、謹んで追悼のこぼしを申し上げます。歳月の流れは早く、先の大戦が終わりを告げてから早くも67年の歳月が過ぎ去りました。ひたすら我が祖国を思い、家族を案じつつ異国の地で亡くなられた方々、内地を襲った激しい戦禍の中で亡くなられた方々、わが身を顧みず、市民の生命・財産を守るために亡くなられた方々を思うとき、今もなお、深い悲しみが胸に込み上げてまいります。また、最愛の肉親を犠牲にし、癒されることのない悲しみを心に抱きながらも、戦後の長い道のりを今日まで立派に歩んでこられた御遺族の皆様方に対しまして心から敬意を表する次第であります。

今日の我が国の平和と繁栄は戦争によって心ならずも命を落とされた方々の尊い犠牲と、国民のたゆまぬ努力の上に築かれてきたことを、私たちは忘れてはなりません。

さて、未曾有の大災害であった東日本大震災から一年半が経ちましたが、今なお、三十四万人の方が、故郷に帰ることが叶わず、避難先で不便な生活を強いられています。

私たちはこの国難に際し、国民が総力を挙げて戦後復興を成し遂げた底力を今一度思い起こし、日本の再生に努めることが、御霊に應えるべき使命であると考えております。

本日、戦没者各位の御霊を前にして、私たちは、先の大戦から学び取った多くの教訓を忘れることなく、世界の恒久平和を願うとともに、これまで先人達が築き上げてきた歴史、文化、施策を糧としながら、力強く歩んでいくことを、ここにお誓い申し上げます。

終わりに、ご参列の皆様方とともに御霊のこしえに安らかならんことをお祈り申し上げますとともに、ご遺族の皆様方のご健勝とご多幸を祈念いたしまして追悼のこぼしといたします。

平成24年10月4日
 今治市長 菅 良二

6 今治市忠霊塔



※写真提供 今治市

基本情報

所在：今治市忠霊塔
 住所：愛媛県今治市山方町一丁目甲1199番地
 (JR今治駅 徒歩12分)
 連絡先：今治市 健康福祉部 福祉政策課 0898-36-1525 (直通)
 建立者：今治市
 建立年：昭和34年3月

※一般戦災死没者を含む

碑文

【表】

忠霊塔

【裏】

今治市忠霊塔銘

凡そ人として 祖國のため 同胞のため 身を挺して危急におもむき 一死大義に殉ずるほど崇高な行為はなく また襲ひ来る戦火の中に防ぐ術さへ持たず 知らずひたすら親を呼び子を案じ 夫に妻に心ひかれつゝ無慙な死を遂げた無事の老若男女ほど 悲しく痛ましい犠牲はない

我等は その人間最高の愛と勇氣と犠牲に血を以て繋がるとの自覚に立てばこそ あらゆる艱難に堪へ營々として國に郷土に家に榮光をもたらす努力を怠ることが無いのである

今治市忠霊塔は 日清日露役から大東亞戰に至る幾多の戰爭に散華せられた軍人軍属 警察消防殉職者並びに一般戦災死没者等で本市に最もゆかり深い三千二百柱の靈をお納めして安らかな御冥福を祈ると共に その忠誠を永遠に記念するため全市民が満腔の感謝と祈りをこめて建立したものである

昭和三十四年三月
 今治市

7 今治市戦災の碑



基本情報

所在：別宮山南光坊
 住所：愛媛県今治市別宮町3-1
 (JR今治駅 徒歩8分)
 連絡先：新居田大作
 建立者：今治市戦災遺族会、今治市の戦災を記録する会
 建立年：平成20年3月

碑文

【正碑】

今治市
 戦災の碑

【副碑】

碑文

今治市は太平洋戦争末期 昭和二十年(一九四五)米軍の大型爆撃機 B29 により 三度にわたり空襲を受け 市民をはじめ 県内外からの動員学徒など 愛媛県下で 最も多くの人たちが 犠牲となった 戦災・終戦から六十三年が経過し この歴史的 試練が風化しつつある今日 ここに今治市における 戦災の記録を残し 戦争の惨禍を後世に伝えるとともに あわせて犠牲者を追悼し 永久の平和を祈念するため 被災市街地のこの地に、戦災の碑を建立する。

記

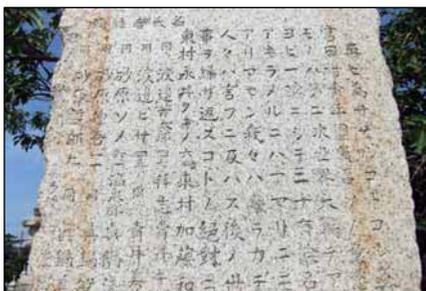
第一回空襲・・四月二六日。
 死者六八名・重傷者三四名・
 全壊家屋四一戸・半壊六三戸

第二回空襲・・五月八日。
 死者二九名・重傷者四名・
 全壊家屋四三戸・半壊九八戸

第三回空襲・・八月 五～六日。
 死者四五四名以上・重傷者一五〇名以上
 八二一二戸全焼・三四二〇〇名以上罹災

平成二十年(二〇〇八)年三月
 今治市戦災遺族会
 今治市の戦災を記録する会

8 殉難者供養塔



基本情報

所 在： 真光寺
 住 所： 愛媛県今治市東村4-1-14
 (JR今治駅より せとうちバス「拝志」下車 徒歩2分)
 連絡先： 真光寺 0898-48-7631
 建立者： 富田村連合青年團
 建立年： 昭和29年8月5日

碑 文

【表】

殉難者供養塔

久松 定武 書

【裏】

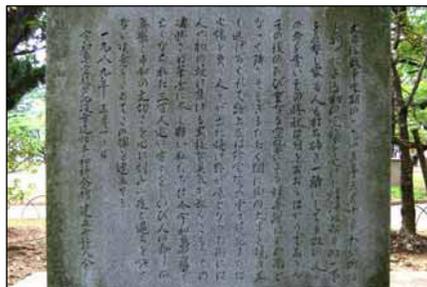
再ビ爲サザルコトコレ眞ノ悔悟ナリ 自由ト平和ニ向ツテ正シク進モウトスル我等
 富田村青年團員否ソノ意欲ニ燃ユル總テノ人々ニツテ寸時モ忘レ去ル事力出来ナイ
 モノハ第二次世界大戦デアリマセウ平和ノ樂土我が富田村ノ一角ニマデソノ惨禍ハオ
 ヨビー瞬ニシテ三十有餘名ノ殉難者ヲ出シタ東村ノ焼夷爆撃ノ惨事ハ只運命ノ悲劇ト
 アキラメルニハアマリニモ悲シク我々ノ胸ヨリ永久ニ拭ヒ去ルコトガ出来ルモノデハ
 アリマセン我々ハ幾ラカデモ殉難サレタ方々ノ靈ヲ慰サメルト共ニ大戦ニ直面サレタ
 人々ハ言フニ及ハズ後ノ世ノ人々ニマデハツキリトコノ事ヲ傳ヘ再ビ此ノヤフナ悲慘
 事ヲ繰リ返スコトノ絶對ニナイヤウニトコノ度供養塔ヲ建立シ永久平和ヲ普願スル

昭和二十年 八月五日 殉難
 施工主 富田村連合青年團
 昭和廿九年 八月五日建立

殉難者氏名

(故人名)

9 一九四五年宇和島空襲死没者追悼平和祈念碑



基本情報

所在：和霊公園
住所：愛媛県宇和島市和霊公園102
(JR宇和島駅 徒歩10分)
連絡先：個人のため記載せず
建立者：宇和島空襲死没者追悼平和祈念碑建立世話人会
建立年：平成元年5月10日

碑文

【表】

一九四五年
宇和島空襲
死没者追悼
平和祈念碑

【裏】

太平洋戦争末期の一九四五年五月十日わが町はB29による初の空襲を受けた爆弾は朝日町一帯を直撃し家も人も打ち砕き一瞬にして多数の人々の命を奪いその惨状は目をおおうばかりであったその後のたび重なる空襲による焼夷弾は火の雨となって降りそそぎまたたく間に街の大半を焼き尽くし逃げおくれ路上或は防空壕の中で焼死または火傷を負う人が出た焼野が原となった街には人や物の焼け焦げる異様な臭気が長くこもりその凄惨さは筆舌に尽し難い私たちは今宇和島空襲で亡くなられた三百人近い方々をしのび人の命の尊厳と平和の大切さを心に刻み二度と過ちを許さない決意をこめてこの碑を建立する

一九八九年五月一〇日
宇和島空襲死没者追悼平和祈念碑建立世話人会

【左側面】

宇和島空襲死没者氏名碑
(故人名)

10 宇和島市戦没者戦災死者合同追悼式



※写真提供 宇和島市

開催概要 (平成24年度)

歳事名：宇和島市戦没者戦災死者合同追悼式
 会場：宇和島市役所 2階大会議室
 (JR宇和島駅 徒歩10分)
 日時：平成24年10月16日(火) ※例年10月頃開催
 参列者数：244人
 連絡先：宇和島市 保健福祉部 福祉課 0895-24-1111 (代表)

式次第 (平成24年度)

1. 開式の辞：宇和島市副市長
2. 国歌斉唱
3. 黙とう
4. 式辞：宇和島市長
5. 追悼の辞：愛媛県知事、宇和島市議会議長、宇和島市遺族会会長
6. 追悼電報の披露
7. 追悼の歌：女性合唱団「コール・セリシア」
いのちの歌
この空よいつまでも
8. 献花：宇和島市長、愛媛県知事、宇和島市議会議長、宇和島市遺族会会長、
衆議院議員、愛媛県議会議員、宇和島市議会議員、遺族代表、
各界代表、各地区遺族会 他
9. 閉式の辞：宇和島市教育長

式辞 (平成24年度)

本日ここに、平成24年度宇和島市戦没者戦災死者合同追悼式が関係各位多数ご臨席のもと、おごそかに執り行うにあたりまして、宇和島市民を代表いたしまして、戦没者戦災死者の御霊に謹んで哀悼の誠を捧げます。

戦後、わが国は平和主義を掲げ、幾多の困難を乗り越えながらも、めざましい発展を遂げてまいりました。しかしながら、この平和で豊かな社会が、多くの尊い犠牲の上に築かれているものであることを、私たちは決して忘れてはなりません。

苛烈を極めた戦いの中で、祖国の平和と発展を思い、家族を案じつつ戦場に倒れた方々の無念に思いを馳せる時、尽きることのない深い悲しみが胸に込み上げてまいります。また、最愛の肉親を失った悲しみに耐え、苦難の道を歩んで来られましたご遺族の皆さまのご苦勞に対し、改めて心から深く敬意を表すものでございます。

終戦から67年もの歳月が過ぎようとしています。この長い年月で、戦争を知らない世代が増え、次第に戦争の惨禍の記憶が風化しつつありますが、尖閣諸島や竹島問題など近隣諸国との関係も決して平穏とは言えません。また、世界に目を向けますと、依然としてテロや紛争のニュースが後を絶たず、多くの人々が傷つき、苦しんでおり、世界平和への道のりは、いまだ遠いことを痛感せざるを得ません。

このような時代において、私たちすべての世代の人々が悲しみの歴史を繰り返さないとの決意を新たにするとともに、戦没者の方々がかけがえのない命をもって示された、戦争の悲惨さと平和の尊さを深く心に刻み、未来を担う次の世代にしっかりと引き継いでいかなければなりません。

宇和島市におきましても基本理念である「人と交わり、緑と話し、海と語らうきらめき空間都市」を実現させ、心豊かで暮らしやすい素晴らしい「まち」として、今後さらに大きく発展させていくことが、戦没された方々への慰霊に繋がるものと強く確信しております。

今ここに、ご列席の皆様方とともに、世界の恒久平和への決意を新たに、多くの御霊のこしえに安からんことをお祈り申し上げますとともに、ご遺族並びにご列席の皆様方がお元気でお幸せでありますよう祈念申し上げます、式辞といたします。

平成24年10月16日
 宇和島市長 石橋 寛久

高 知 県

1 高知市平和祈念の碑



基本情報

所 在：高知市大原町りょうまスタジアム入口
 住 所：高知県高知市大原町158
 (土佐電気鉄道「グランド通」停留場 徒歩10分)
 連絡先：高知市 総務課 国際平和係 088-823-9955 (直通)
 建 立 者：高知市
 建 立 年：平成16年7月4日

碑 文

【表】

PEACE MONUMENT
 平和祈念の碑
 高知市

【左】

高知空襲犠牲者名簿を納め、未来に向けて平和思想を継承することを目的に平和祈念碑を設置する。
 2004年7月4日 高知市
 デザイン 篠原孝彦
 題字 中平松鶴

2 高知市平和祈念式



※写真提供 高知市

開催概要 (平成24年度)

歳 事 名：高知市平和祈念式
 会 場：高知市平和祈念の碑前
 (土佐電気鉄道「グランド通」停留場 徒歩10分)
 日 時：平成24年7月4日(水) ※例年7月4日開催
 参 列 者 数：約80人
 連 絡 先：高知市 総務課 国際平和係 088-823-9955 (直通)

式 次 第 (平成24年度)

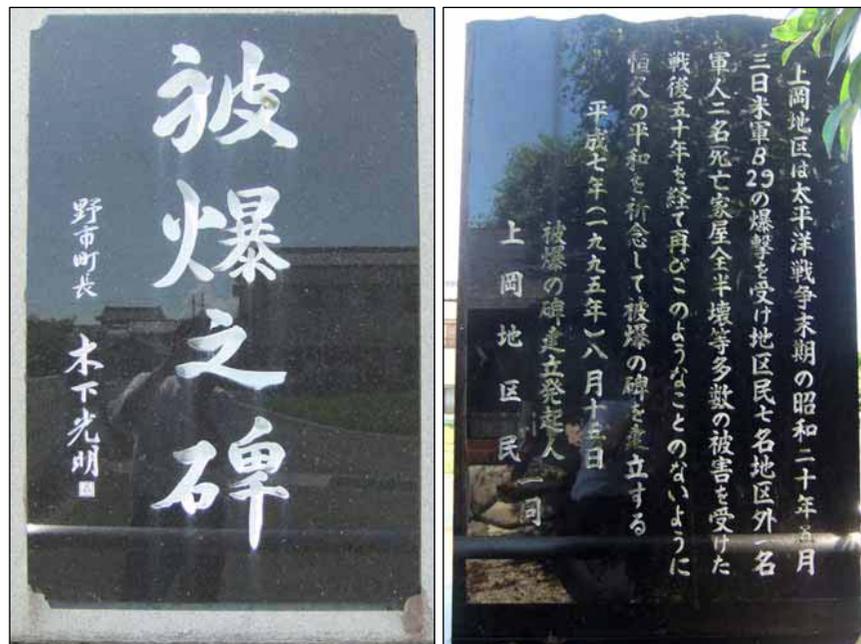
1. 合唱 (高知センター合唱団)
2. 黙 禱
3. 市長式辞
4. 市議会議長式辞
5. 「平和への思い」 作文朗読 (高知朗読奉仕者友の会)
6. 献 水
7. 献 花

式 辞 (平成24年度)

本日ここに、高知空襲の犠牲者のご遺族並びに市民の皆様、また、細木総務委員長をはじめ市議会の皆様方のご参列のもと、第8回高知市平和祈念式を開催するに当たり、高知空襲の犠牲となられました方々に対しまして、謹んで哀悼の意を表します。
 今から67年前、昭和20年7月4日の大空襲により、約1時間にわたって大量の焼夷弾が投下された市街地は火の海と化し400人以上の尊い命が犠牲となる甚大な被害を受けました。
 私たちは、空襲の悲惨な体験と、癒えることのないご遺族の方々の悲しみを決して忘れることのないよう、そして、再びあの惨禍を繰り返すことがないように、未来に向けて平和思想を継承するために、ここに「高知市平和祈念の碑」を設置し、高知空襲犠牲者名簿をお納めいたしました。
 本日、この「平和祈念の碑」前において「第8回高知市平和祈念式」を執り行い、高知空襲の犠牲となられました方々を追悼いたしますとともに、先の大戦から学びとった多くの教訓をあらためて深く心に刻み、ご参列の皆様とともに、戦争や紛争のない平和な世界への願いを発信いたしますことは、大変意義深いことと考えます。
 高知市では、核廃絶と世界の恒久平和を願う「広島原爆記念日」の8月6日を「高知市平和の日」と定め、毎年8月6日から15日までの期間、「高知市平和の日」記念事業を開催してまいりました。今年は敗戦後の「中国からの引き揚げ」と「高知空襲」をテーマとした平和資料展を企画しております。
 本日の平和祈念式や「高知市平和の日」記念事業を通じて、市民の皆様へ、戦争の悲惨さや人間の命の尊さ、平和の大切さについて改めて考えていただく契機としていただけることを祈念いたします。
 最後になりますが、高知空襲の多くの犠牲者の方々のご冥福と、本日ご参列の皆様のご健勝をお祈り申し上げまして、私の式辞といたします。

平成24年7月4日
 高知市長 岡崎 誠也

3 被爆之碑



基本情報

所在：上岡公民館前
 住所：高知県香南市野市町上岡
 (土佐くろしお鉄道 のいち駅 徒歩26分)
 連絡先：香南市福祉事務所 0887-57-8509
 建立者：被爆の碑建立発起人 上岡地区民 有志
 建立年：平成7年8月15日

碑文

【表】

被爆之碑

野市町長 木下光明

【裏】

上岡地区は太平洋戦争末期の昭和二十年五月三日米軍B29の爆撃を受け地区民七名地区外一名軍人二名死亡家屋全半壊等多数の被害を受けた戦後五十年を経て再びこのようなことのないように恒久の平和を祈念して被爆の碑を建立する

平成七年(一九九五年)八月十五日
 被爆の碑建立発起人 一同
 上岡地区民

説明文

平和への願いと犠牲者への供養の想いを形にし、爆弾が落とされた中心地に建立された祈念碑。裏面には「再びこのようなことのないように恒久の平和を祈念して被爆の碑を建立する」と記されています。

出典：広報こうなん. 2008. 8より

4 平和の碑



基本情報

所在：佐岡小学校前
 住所：高知県香美市土佐山田町本村355
 (JR土佐山田駅より ジェイアール四国バス「杉田」下車 徒歩4分)
 連絡先：個人であり記載せず
 建立者：佐岡地区民一同
 建立年：昭和62年4月12日

碑文

【表】

平和の碑

【裏】

太平洋戦争末期の昭和二十年七月二十二日未明に被爆によりこの地奥と周辺において地元民四名と軍人七名の若者が無念の最後を遂ぐ、ここに十一霊の平安を祈り永遠の平和を念願しこの碑を建つ

昭和六十二年四月十二日
 佐岡地区民一同

広島原爆関連

1 平和記念式典 (広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式)



※写真提供 広島市

開催概要 (平成24年度)

歳事名：平和記念式典 (広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式)
 会場：平和記念公園
 (広島電鉄「原爆ドーム前」電停 徒歩6分)
 日時：平成24年8月6日(月) ※例年8月6日開催
 参列者数：50,000人
 連絡先：広島市 市民局 市民活動推進課 082-504-2103 (直通)

式次第 (平成24年度)

- | | |
|--------------|------------------|
| 1. 開会 | 7. 放鳩 |
| 2. 原爆死没者名簿奉納 | 8. 平和への誓い |
| 3. 式辞 | 9. あいさつ |
| 4. 献花 | 10. ひろしま平和の歌(合唱) |
| 5. 黙とう・平和の鐘 | 11. 閉会 |
| 6. 平和宣言 | |

平和宣言 (平成24年度)

1945年8月6日8時15分、私たちの故郷は、一発の原子爆弾により灰じんに帰しました。帰る家や慣れ親しんだ暮らし、大切に守ってきた文化までもが失われてしまいました。——「広島が無くなった。何もかも無くなった。道も無い、辺り一面焼け野原。悲しいことに一日で遠くまで見えた。市電の線路であらう道に焼け落ちた電線を目安に歩いた。市電の道は熱かった。人々の死があらここにあった。」——それは、当時20歳の女性が見た街であり、被爆者の誰もが目にした広島の変です。川辺からは、賑やかな祭り、ゴード遊び、魚釣りや貝取り、手長えびを捕る子どもたちの姿も消えてしまいました。
 そして原爆は、かけがえのない人の命を簡単に破壊してしまいました。——「警防団の人と一緒にトラックで遺体の収容作業に出る。少年の私は、足音を持つように言われ、つかむが、ズレと皮がむけて剥れない。覚悟を決めて指先力を入ると、滴が重れた。臭い。背が腫れた。いちにのさんとトラックに積んだ。」——この当時13歳の少年の体験のように、辺り一面は、無数の屍が重なり、声にならない呻き声の中、息のない母親のお乳を吸い続ける幼児、死んだ赤子を抱き締める泣顔の母親など、正に生き地獄だったのです。
 当時16歳の少年は、大切な家族を次々と失いました。——「7歳だった弟は、被爆直後に全身火傷で亡くなり、ひと月後には、父と母、そして13歳の弟と11歳の妹が亡くなりました。唯一生き残った当時3歳の弟も、その後、癌で亡くなりました。」——広島では、幼子からお年寄りまで、その年の暮れまでに14万人もの尊い命が失われました。

内閣総理大臣あいさつ (平成24年度)

67年の今日、原子爆弾が広島を襲い、約14万人もの尊い命が一瞬にして奪われ、多くの市民の方々が重傷を負ったままに、研究・教育機関、NGO、広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式に当たり、原爆犠牲者の犠牲となられた方々の御霊に対し、謹んで哀悼の誠を捧げます。
 そして今なお原子爆弾の後遺症に苦しめられている方々に、心よりお見舞いを申し上げます。

人類は、核兵器の惨禍を決して忘れてはなりません。そして、人類史に刻まれたこの悲劇を二度と繰り返してはなりません。
 唯一の戦争被爆国として核兵器の惨禍を体験した我が国は、人類全体に対して、地球の未来に対して、崇高な責任を負っています。それは、この悲惨な体験の「記憶」を次の世代に伝承していくことです。そして、「核兵器のない世界」を目指して「行動」する情熱を、世界中に広めていくことです。

被爆から67年を迎える本日、私は、日本政府を代表し、核兵器の廃絶と世界の恒久平和の実現に向けて、日本国憲法を遵守し、非核三原則を堅持していくことを、ここに改めてお誓いいたします。
 67年の歳月を経て、被爆体験を肉声で語っていただける方もかたや少なくはなされています。被爆体験の伝承は、歴史的に極めて重要な局面を迎えつつあります。

「記憶」を新たにする社会基盤として何よりも重要なのは、軍縮・不拡散教育です。その担い手は、公的部門だけではなく、民間・教育機関、NGO、メディアなど、幅広い主体が既に熱心に取り組んでおられます。そして、何よりも、市民自らの取組が大きな原動力となることを忘れはなりません。被爆体験を世界に伝える、世界49カ所での「非核特使」の活動に、改めて感謝を申し上げます。政府としては、これからも、「核兵器のない世界」の重要性を訴え、被爆体験の「記憶」を、国境を越え、世代を超えて確実に伝承する取組を様々な形で後押ししてまいります。

「核兵器のない世界」の実現に向けて、国際社会も確かな歩みを進めています。核兵器保有国の間で、昨年、米露の「新START」が発効し、我が国が国連総会に提出した核軍縮決議が圧倒的な賛成多数で採択されました。こうした動きを進展させ、世界全体の大きなねらいとしていかなければなりません。
 我が国は、志を同じくする国々とも連携しながら、核軍縮・不拡散分野での国際的議論を主導し、「行動への情熱」を世界に広めてまいります。再来年では、ここ広島で、我が国が主導する非核兵器国のグループである軍縮・不拡散イニシアティブ(NPT1)の外相会合を開催いたします。

原子爆弾の後遺症により、現在苦しんでいる方々に目を向けることも忘れてはなりません。認定制度あり方については、有識者や被爆者団体など関係者に熱心にご議論いただき、本年6月に「中間とりまとめ」をいただきました。原爆犠牲者の認定を待たれる方々を一日でも早く認定できるように改善を尽くします。これからも、被爆者の方々の声に耳を傾けながら、よりよい制度への改善を進め、総合的な援護策を進めてまいります。

東日本大震災、そして東京電力福島第一原子力発電所の事故から、一年以上が経過しました。ここ広島からも、福島に心を寄せ、様々な支援を寄せていただいています。今なお不自由な生活を余儀なくされている方々が一日も早く普通の日常生活を取り戻せるよう、除染などの生活基盤の再建に全力を尽くします。また、脱原発依存の基本方針の下、中長期的に国民が安心できるエネルギー構成の確立を目指します。

結びに、原子爆弾の犠牲となられた方々のご冥福と、被爆された方々、ご遺族の皆様のご今後のご多幸をお祈りするとともに、参列者並びに広島市民の皆様のご健勝を祈念申し上げ、私のあいさつといたします。

平成24年(2012年)8月6日
 広島市長 松井一貴

平成24年8月6日
 内閣総理大臣 野田佳彦

2 原爆死没者慰霊碑（広島平和都市記念碑）



基本情報

所 在： 平和記念公園
住 所： 広島市中区中島町
（広島電鉄「原爆ドーム前」電停 徒歩6分）
連 絡 先： 広島市 市民局 国際平和推進部 平和推進課 082-242-7815（直通）
建 立 者： 広島市
建 立 年： 昭和27年8月6日

碑 文

安らかに眠って下さい
過ちは
繰返しませぬから

説 明 文

広島平和都市記念碑（原爆死没者慰霊碑）
昭和27年（1952年）8月6日設立

この碑は 昭和20(1945)年8月6日 世界最初の原子爆弾によって壊滅した広島市を 平和都市として再建することを念願して設立したものである

碑文はすべての人びとが 原爆犠牲者の冥福を祈り 戦争という過ちを再び繰り返さないことを誓う言葉である 過去の悲しみに耐え 憎しみを乗り越えて 全人類の共存と繁栄を願い 真の世界平和の実現を祈念するヒロシマの心がここに刻まれている

中央の石室には 原爆死没者名簿が納められており この碑はまた原爆死没者慰霊碑とも呼ばれている

3 原爆供養塔



基本情報

所在地：平和記念公園
 住所：広島市中区中島町
 (広島電鉄「原爆ドーム前」電停 徒歩4分)
 連絡先：広島市 健康福祉局 原爆被害対策部 調査課 082-504-2191 (直通)
 建立者：広島戦災供養会
 建立年：昭和30年8月5日

碑文

原爆供養塔

説明文

世界最初の原子爆弾（昭和20年8月6日午前8時15分）による犠牲者数万柱の遺骨をここに納める。

爆心地に近いこの地では、多数の遺体が収容され、火葬が行われた。

昭和21年1月広島戦災供養会が創立され、同5月仮供養塔、同7月仮納骨堂・礼拝堂が市民の喜捨により建立された。昭和30年7月被爆10周年を期して、広島市が中心となって地下に納骨堂を有する現供養塔が建立され、各所に散在していた遺骨をここに納めた。

毎年8月6日を中心に、広島戦災供養会を始め広島県宗教連盟及び各宗派による慰霊行事が執り行われている。

広島県戦災供養会

4 原爆死没者慰霊行事



※写真提供 広島市

開催概要（平成24年度）

歳事名：原爆死没者慰霊行事
 会場：平和記念公園内 原爆供養塔前
 (広島電鉄「原爆ドーム前」電停 徒歩4分)
 日時：平成24年8月6日(月) ※例年8月6日開催
 参列者数：約150人
 連絡先：広島市 健康福祉局 原爆被害対策部 調査課 082-504-2191 (直通)

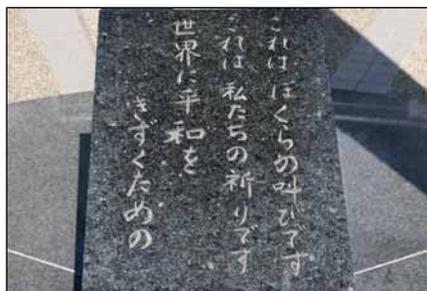
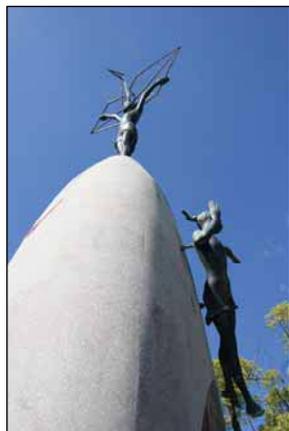
式次第（平成24年度）

1. 献水：広島戦災供養会 副会長
 2. 修祓・諄詞：神社庁
 3. 献花・祈祷・鎮魂歌：キリスト教
 4. 敬白・読経・回向文：仏教
 5. 献花：広島戦災供養会 会長/遺族代表
 6. 玉串奉天：広島戦災供養会 理事
 7. 焼香：来賓一同
 8. あいさつ：広島戦災供養会 会長
- ※終了後 一般焼香

式辞（平成24年度）

なし

5 原爆の子の像



基本情報

所 在：平和記念公園
住 所：広島市中区中島町
(広島電鉄「原爆ドーム前」電停 徒歩5分)
連絡先：広島市 都市整備局 緑化推進部 082-504-2390 (直通)
建 立 者：広島平和をきずく児童・生徒の会
建 立 年：昭和33年5月5日

碑 文

【表】

これはぼくらの叫びです
これは私たちの祈りです
世界に平和を
きずくための

【裏】

原爆で亡くなった兄弟
の霊をなぐさめ世界
に平和を呼びかける
ために広島市小・中
高校の子供が結集し
全国の友達の支援の
もとにこれをつくる

一九五八年五月五日
広島平和をきずく児童生徒の会

説 明 文

原爆の子の像

建立者：広島平和をきずく児童・生徒の会
制作者：東京芸術大学教授 菊池一雄氏

この像は、2歳のときに被爆した佐々木禎子さんが、10年後に白血病で亡くなったことをきっかけに、同級生たちが「原爆で亡くなったすべての子どもたちのために慰霊碑をつくろう」と呼びかけ、全国の3,200余りの学校や世界9か国からの寄付などにより、1958年5月5日に完成したものです。

像の高さは9メートルで、その頂上には折鶴を捧げ持つ少女のブロンズ像が立ち、平和な未来への夢を託しています。側面には少年と少女の二体の像が配されています。

像の下に置かれた石像には、「これはぼくらの叫びです これは私たちの祈りです 世界に平和をきずくための」という碑文が刻まれています。内部につるされた鐘には、ノーベル物理学賞受賞者である湯川秀樹博士の筆による「千羽鶴」、「地に空に平和」の文字が彫られています。この鐘と金色の鶴は、2003年に複製されたものです。

6 平和記念公園・周辺ガイドMAP



提供: 広島観光コンベンションビューロー
 レイアウト制作: cooltiger Ltd.
 マップ制作: SHIRA CO-OP 白佐木 和馬

平成24年度
全国の戦災の追悼施設・追悼式
中部・中国・四国

発行日
平成24年11月30日

非売品

編集・発行
株式会社NHKグローバルメディアサービス
〒150-0047 東京都渋谷区神山町9-2
電話 03-5454-3851
FAX 03-5454-2911

印刷
株式会社文英堂

製本
東群製本株式会社

本書の収容内容の無断転載、複写、引用等を禁じます。

